向日市
こども・子育てに関する
実態調査結果報告書

令和６年３月

向　　日　　市

目　次

Ⅰ　調査の概要 1
1　調査の目的 1
2　調査対象 1
3　調査期間 1
4　調査方法 1
5　回収状況 1
6　調査結果の表示方法 1
Ⅱ　調査結果 2
1　就学前児童保護者 2
（1）封筒の宛名のお子さんとご家族の状況について 2
（2）こどもの育ちをめぐる環境について 7
（3）お子さんの保護者の就労状況について 18
（4）現在の生活状況について 28
（5）お子さんの平日に定期的な教育・保育の利用状況について 34
（6）「こども誰でも通園制度（仮称）について 42
（7）お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について 45
（8）お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育の利用希望について 52
(10) 宛名のお子さんが５歳以上である方に、放課後の過ごし方について 67
(11) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について 72
(12) こどもの権利等について 90
2　小学校児童保護者 95
（1）封筒の宛名のお子さんとご家族の状況について 95
（2）こどもの育ちをめぐる環境について 100
（3）お子さんの保護者の就労状況について 110
（4）宛名のお子さんの放課後の様子について 128
（5）お子さんの病気の際の対応について 140
（6）宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かり等の利用について 146
（7）こどもの権利等について 148

Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的

「向日市こども計画（こども・子育て支援事業計画を内包）」の策定にあたり、子育てに関する支援サービスの利用状況や利用意向を把握し、計画策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

２　調査対象

就学前児童保護者：向日市在住の小学校入学するまでのお子さんがいらっしゃるご家庭
小学校児童保護者：向日市在住の小学生がいらっしゃるご家庭

３　調査期間

令和６年２月５日から令和６年２月29日

４　調査方法

郵送による配布・回収

５　回収状況

	配　布　数	有効回答数	有効回答率
就学前児童保護者	1,500通	667通	44.5%
小学校児童保護者	1,000通	417通	41.7%

６　調査結果の表示方法

・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを　で網かけをしています。（無回答を除く）
・回答者数が１桁の場合、回答件数による表記としています。

Ⅱ　調査結果

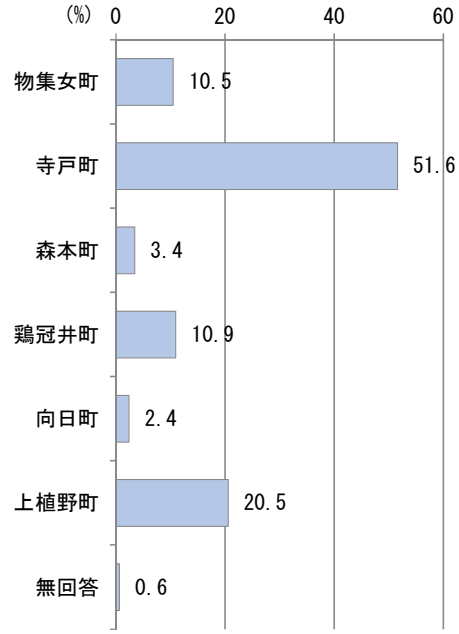
１　就学前児童保護者

（１）封筒の宛名のお子さんとご家族の状況について

問１　お住まいの住所に○をつけてください。（○は1つ）

「寺戸町」の割合が51.6％と最も高く、次いで「上植野町」の割合が20.5％、「鶏冠井町」の割合が10.9％となっています。

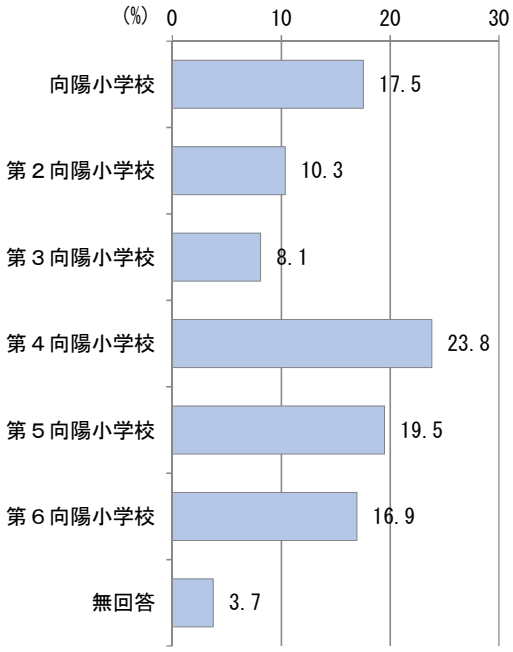
（回答者数=667）



問１－１　お住まいの地区はどの小学校区にあたりますか。（○は１つ）

「第４向陽小学校」の割合が23.8％と最も高く、次いで「第５向陽小学校」の割合が19.5％、「向陽小学校」の割合が17.5％となっています。

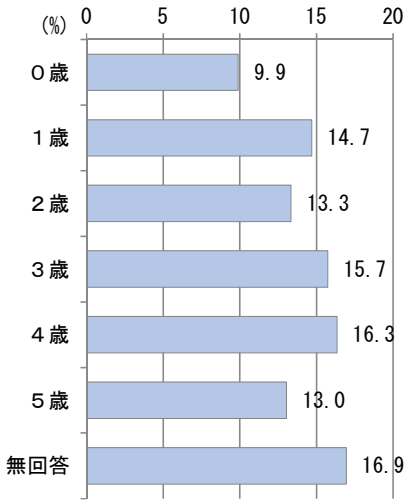
（回答者数=667）



問２　宛名のお子さんの生年月をご記入ください。
（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

「４歳」の割合が16.3%と最も高く、次いで「３歳」の割合が15.7%、「１歳」の割合が14.7%となっています。

（回答者数=667）

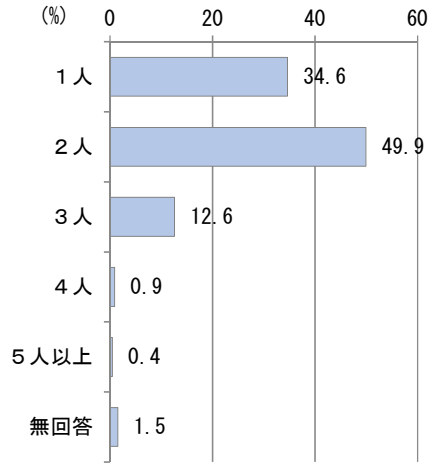


問３　お子さんは何人ですか。人数を数字でご記入ください。２人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

ア　こどもの数

「２人」の割合が49.9%と最も高く、次いで「１人」の割合が34.6%、「３人」の割合が12.6%となっています。

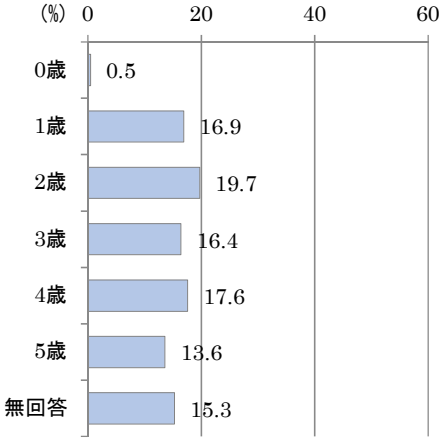
（回答者数＝667）



イ　末子の年齢

「２歳」の割合が19.7%と最も高く、次いで「４歳」の割合が17.6%、「１歳」の割合が16.9%となっています。

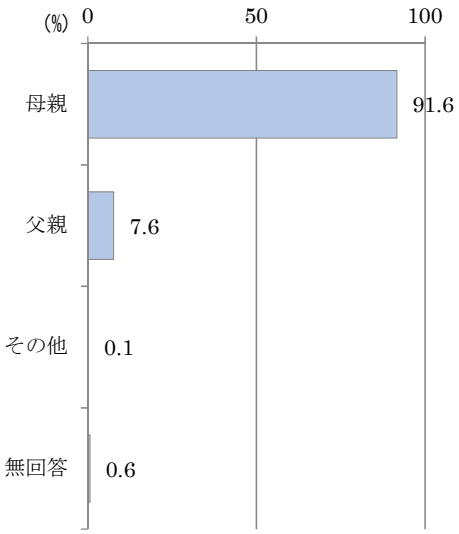
回答者数＝426



問４　調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。あてはまる番号に〇をつけてください。

「母親」の割合が91.6%、「父親」の割合が7.6%となっています。

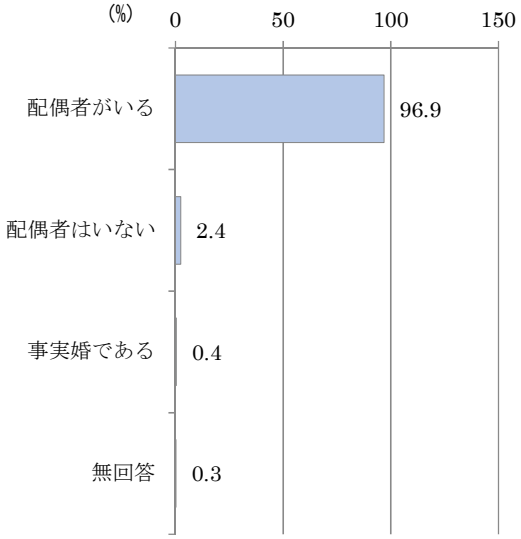
（回答者数=667）



問５　調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。あてはまる番号に〇をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が96.6%と最も高くなっています。

（回答者数=667）

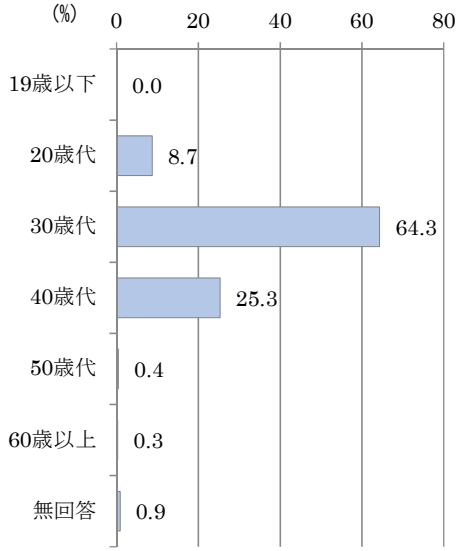


問５－１　母親、父親の該当する年齢階層に○をつけてください。（ひとり親家庭の方は、母親又は父親のみお答えください）

ア　母親

「30歳代」の割合が64.3％と最も高く、次いで「40歳代」の割合が25.3％となっています。

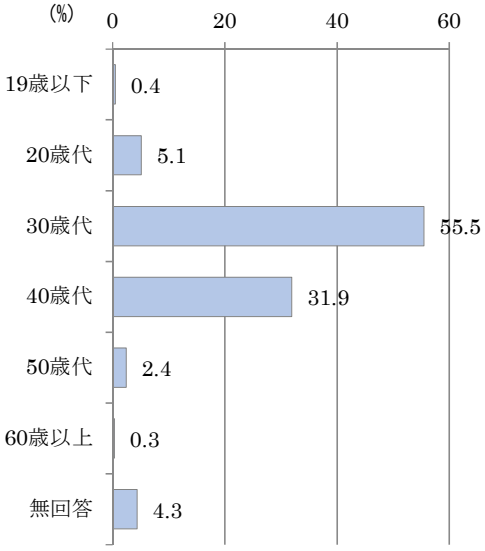
（回答者数=667）



イ　父親

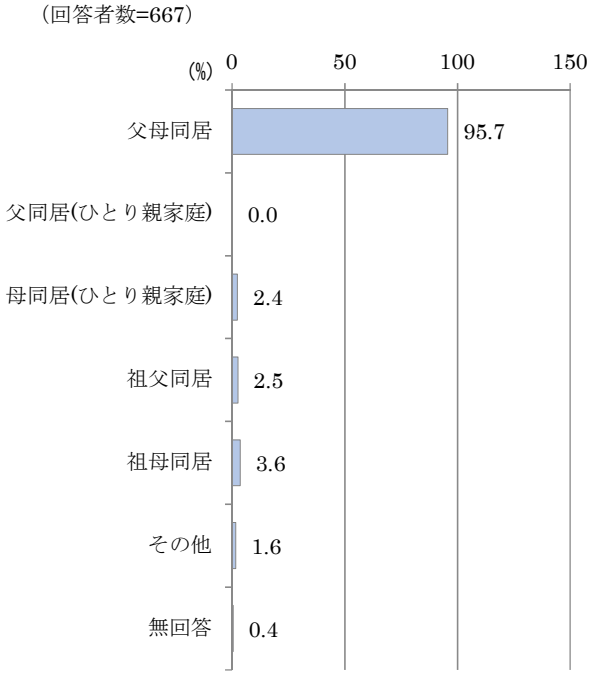
「30歳代」の割合が55.5％と最も高く、次いで「40歳代」の割合が31.9％となっています。

（回答者数=667）



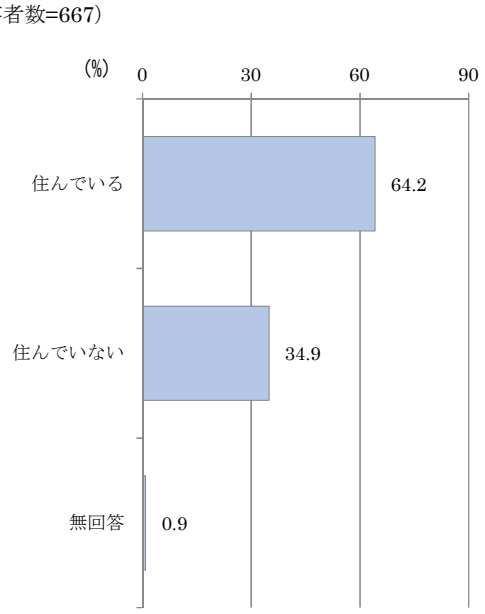
問５－２　お子さんとの同居の状況についてあてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）続柄はお子さんからみた関係です。

「父母同居」の割合が95.7%と最も高くなっています。



問５－３　お子さんの祖父母が近くにお住まいですか。あてはまる番号に○をつけてください。近くとは、概ね30分程度に行き来できる範囲です。

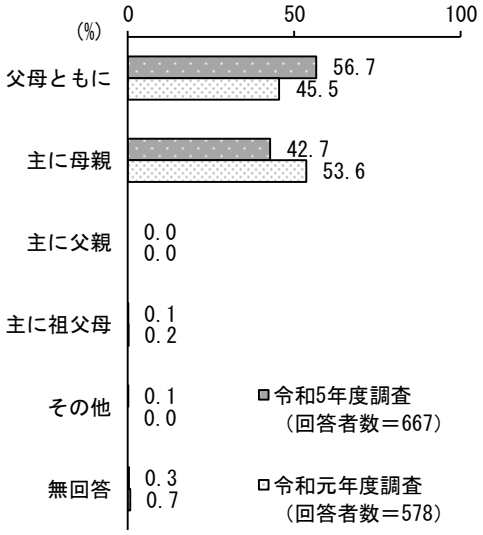
「住んでいる」の割合が64.2%、「住んでいない」の割合が34.9%となっています。



問６　お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係であてはまる番号に○をつけてください。

「父母ともに」の割合が56.7%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が42.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると「父母ともに」の割合が増加しています。

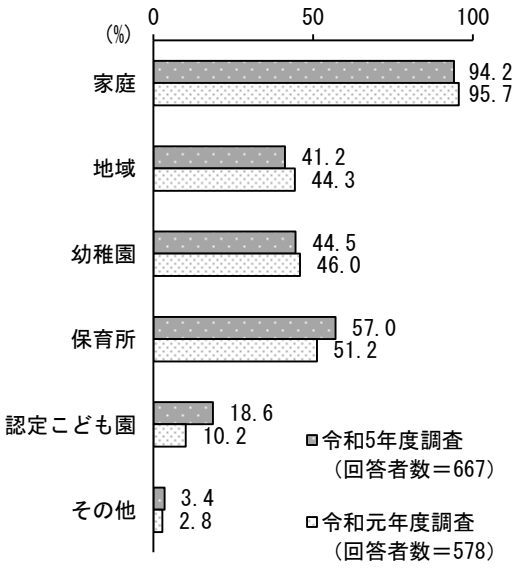


（２）こどもの育ちをめぐる環境について

問７　お子さんの子育てに、大きく影響すると思われる環境に○をつけてください。（複数回答可）

「家庭」の割合が94.2%と最も高く、次いで「保育所」の割合が57.0%、「幼稚園」の割合が44.5%となっています。

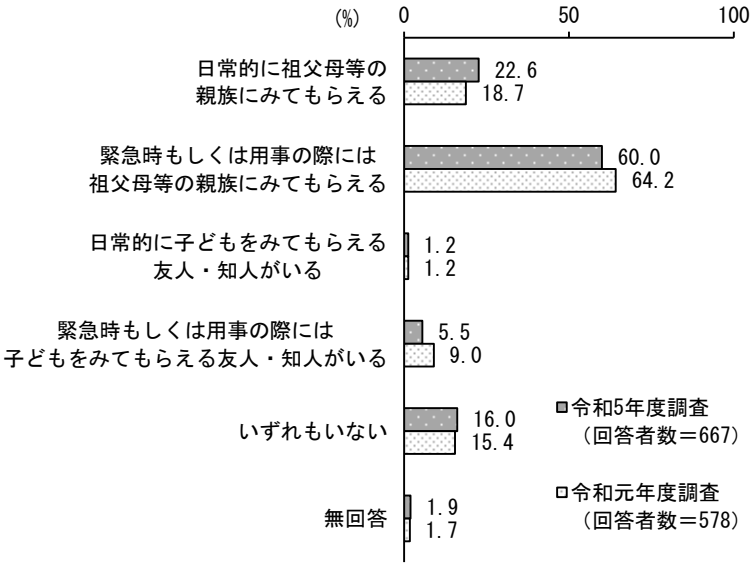
令和元年度調査と比較すると、「認定こども園」の割合が増加しています。



問８　日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が60.0％と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が22.6％、「いずれもいない」の割合が16.0％となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

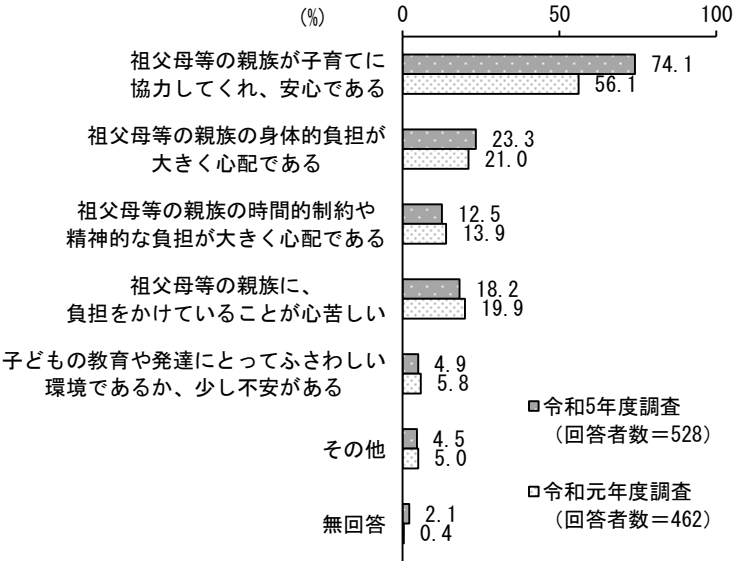


問８で「１」または「２」に○をつけた方にうかがいます。

問８－１　祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

「祖父母等の親族が子育てに協力してくれ、安心である」の割合が74.1％と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が23.3％、「祖父母等の親族に、負担をかけていることが心苦しい」の割合が18.2％となっています。

令和元年度調査と比較すると、「祖父母等の親族が子育てに協力してくれ、安心である」の割合が増加しています。

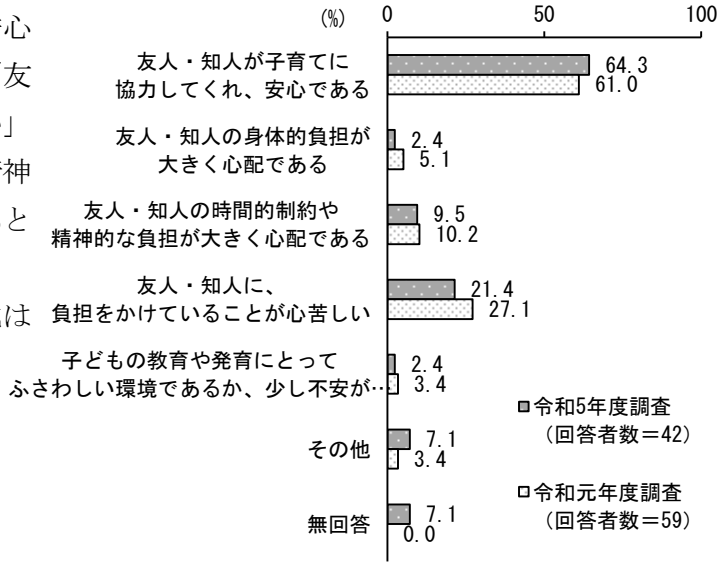


問８で「３」または「４」に○をつけた方にうかがいます。

問８－２　友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

「友人・知人が子育てに協力してくれ、安心である」の割合が64.3%と最も高く、次いで「友人・知人に、負担をかけていることが心苦しい」の割合が21.4%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が9.5%となっています。

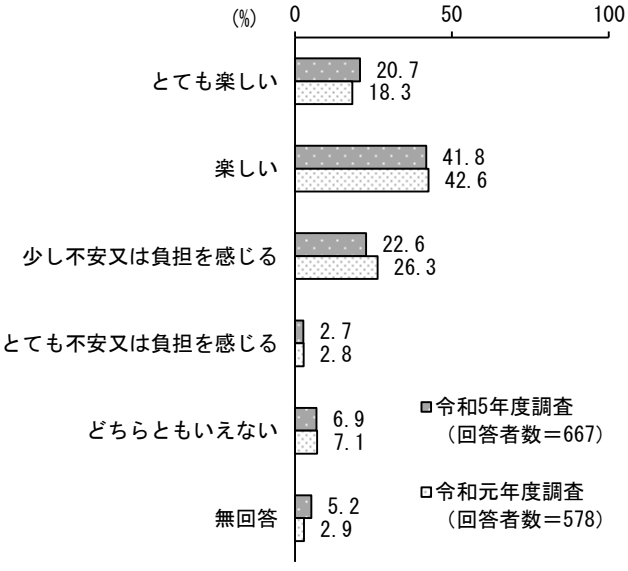
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問９　子育ては、楽しいときもあれば、つらいときもありますが、お気持ちに一番近いものに○をつけてください。

「楽しい」の割合が41.8%と最も高く、次いで「少し不安又は負担を感じる」の割合が22.6%、「とても楽しい」の割合が20.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



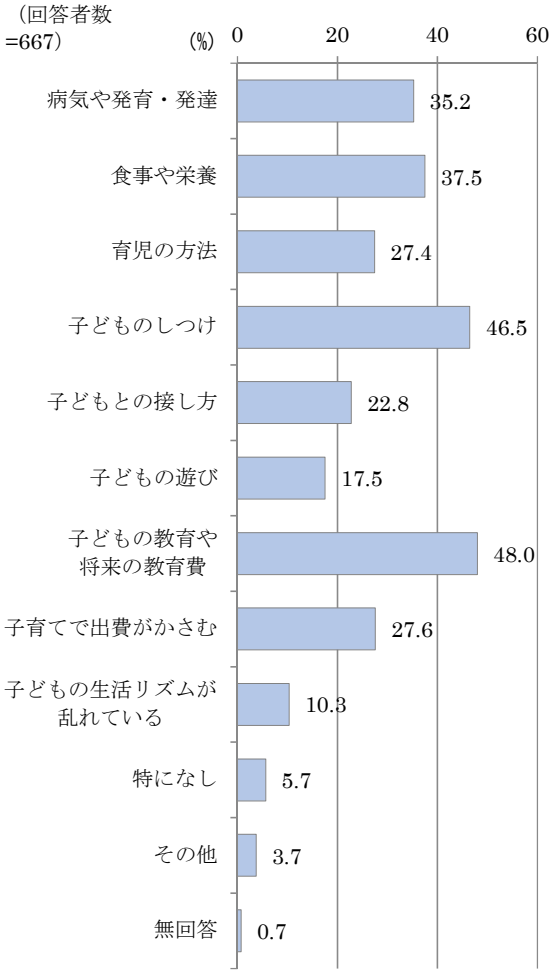
問10　お子さんを育てていて、日頃悩んでいること、不安に感じることはどのようなことですか。お子さんのこと、保護者のこと、その他のことについてそれぞれあてはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

お子さんのことでは、「こどもの教育や将来の教育費」の割合が48.0％と最も高く、次いで「こどものしつけ」の割合が46.5％、「食事や栄養」の割合が37.5％となっています。

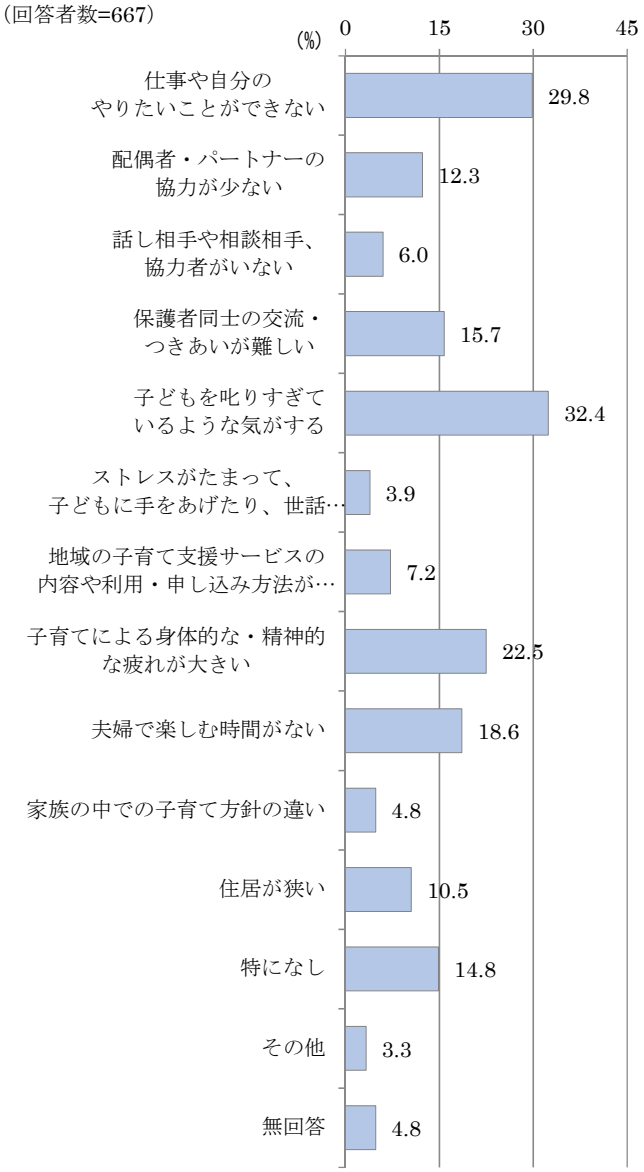
保護者のことでは、「こどもを叱りすぎているような気がする」の割合が32.4％と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことができない」の割合が29.8％、「子育てによる身体的な・精神的な疲れが大きい」の割合が22.5％となっています。

その他のことでは、「交通事故」の割合が25.0％と最も高く、次いで「不審者などによる犯罪」の割合が22.5％、「自然災害」の割合が21.9％となっています。

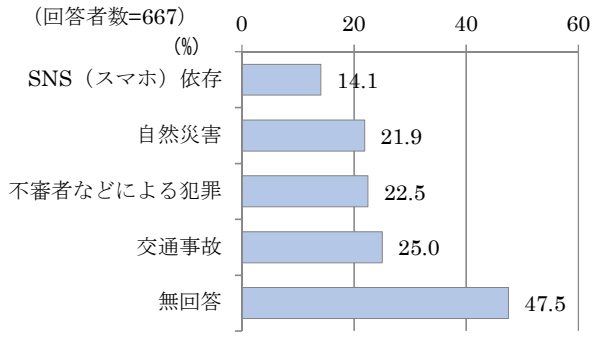
【お子さんのこと】



【保護者のこと】



・【その他のこと】

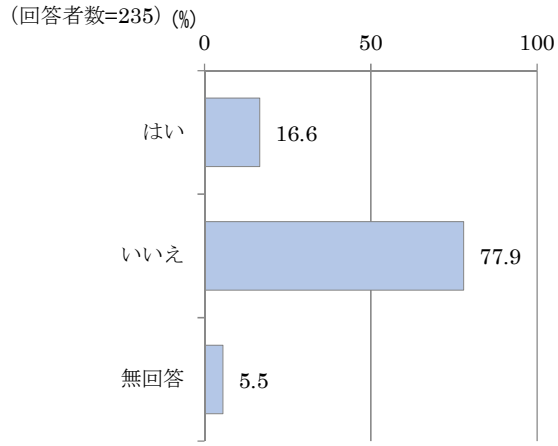


問 10 で「１　病気や発育・発達」に〇を付けた方にうかがいます。

問10－１　お子さんは療育（児童発達支援等）※を受けていらっしゃいますか。

※発達のさまざまな面で遅れやつまずきが心配されるお子さんを対象とした支援制度

「はい」の割合が16.6%、「いいえ」の割合が77.9%となっています。



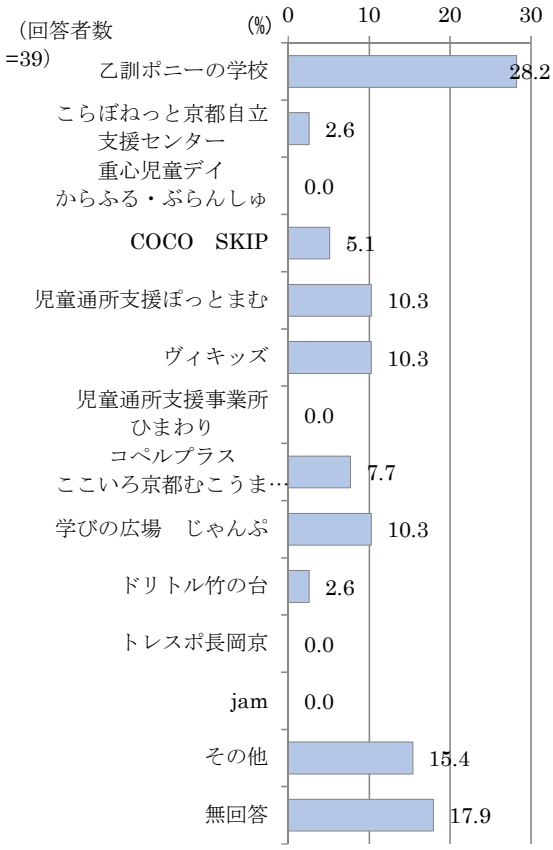
問10－２　（問10－１ではいと答えた方）ご利用されている施設には◎を、ご存知の療育施設には○をつけてください。（複数回答可）また、利用している日数を□内に数字でご記入し、満足している点や困っていることがあればご自由にお書きください。

利用している施設では、「乙訓ポニーの学校」の割合が28.2％と最も高く、次いで「児童通所支援ぽっとまむ」、「ヴィキッズ」、「学びの広場　じゃんぷ」の割合がそれぞれ10.3％、「コペルプラス　ここいろ京都むこうまち教室」の割合が7.7％となっています。

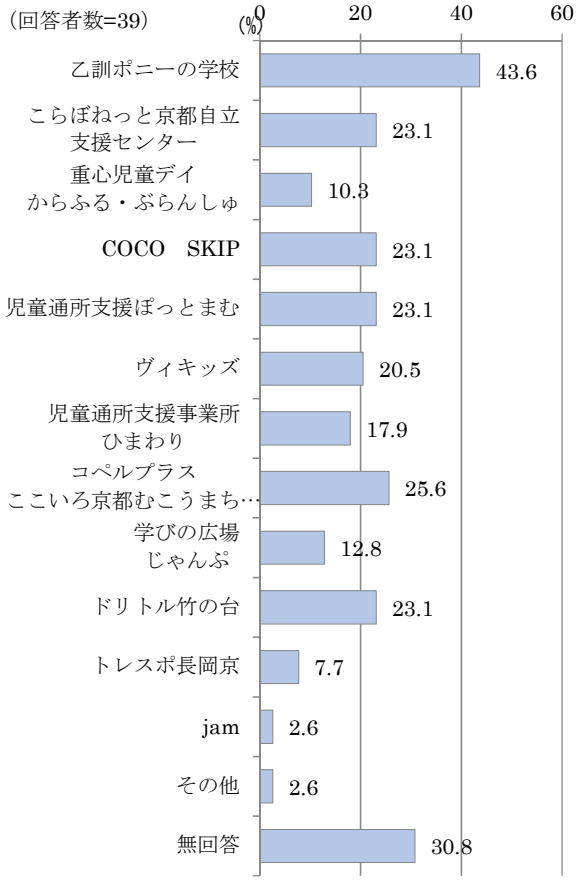
施設の認知度では、「乙訓ポニーの学校」の割合が43.6％で最も高く、次いで「コペルプラス　ここいろ京都むこうまち教室」の割合が25.6％、「こらぼねっと京都自立支援センター」、「COCO SKIP」、「児童通所支援ぽっとまむ」、「ドリトル竹の台」の割合がそれぞれ23.1％となっています。

施設を利用している日数では「1日」の割合が66.7％と最も高いです。

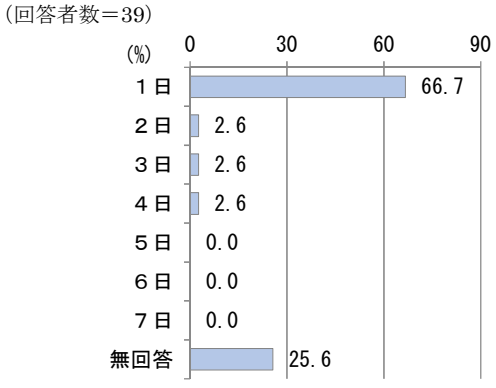
【利用している施設】



【ご存知の療育施設】

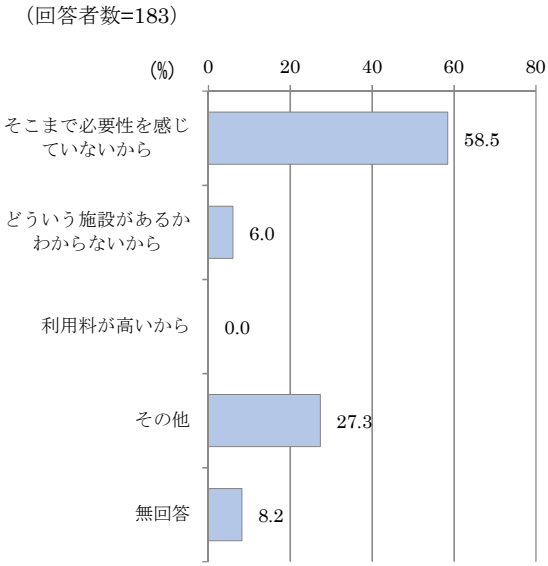


【施設を利用している日数】



問10－３　（問10－１でいいえと答えた方）療育を受けておられない理由は何ですか。もっともあてはまるものに○をつけてください。

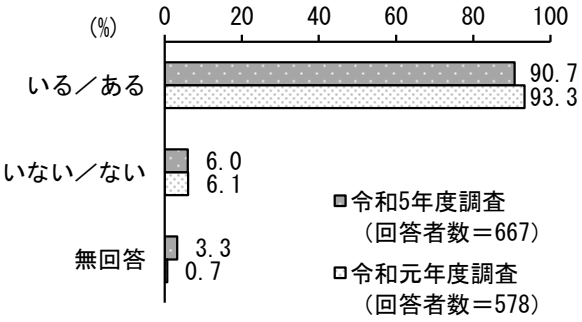
「そこまで必要性を感じていないから」の割合が58.5％と最も高くなっています。



問11　お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

「いる／ある」の割合が90.7％、「いない／ない」の割合が6.0％となっています。

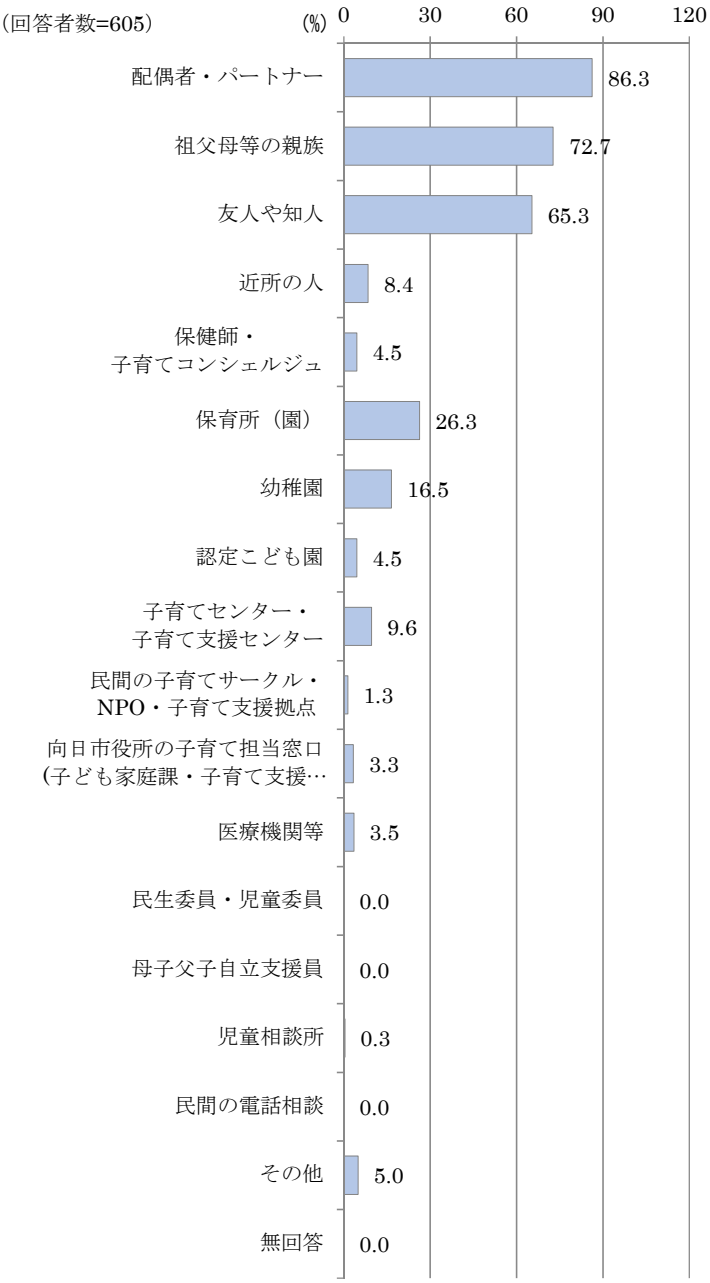
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問11で「１　いる／ある」に○をつけた方におうかがいします。

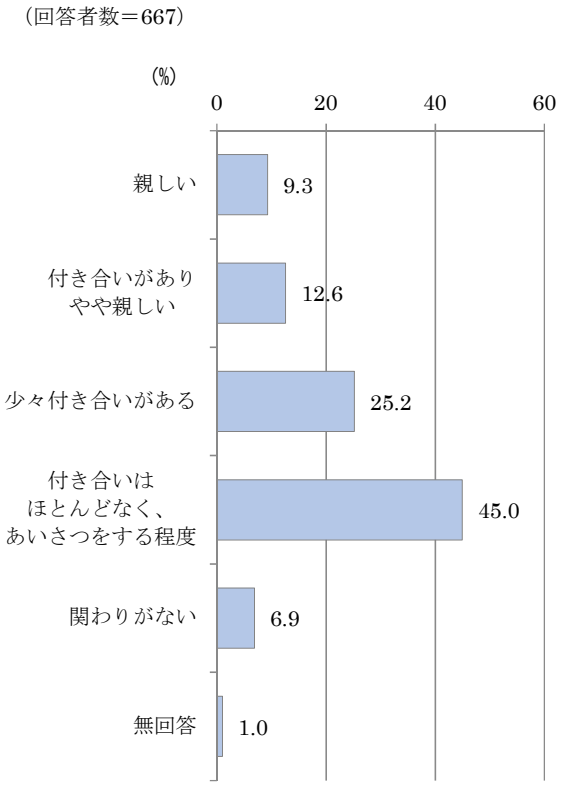
問11－１　お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

「配偶者・パートナー」の割合が86.3%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が72.7%、「友人や知人」の割合が65.3%となっています。



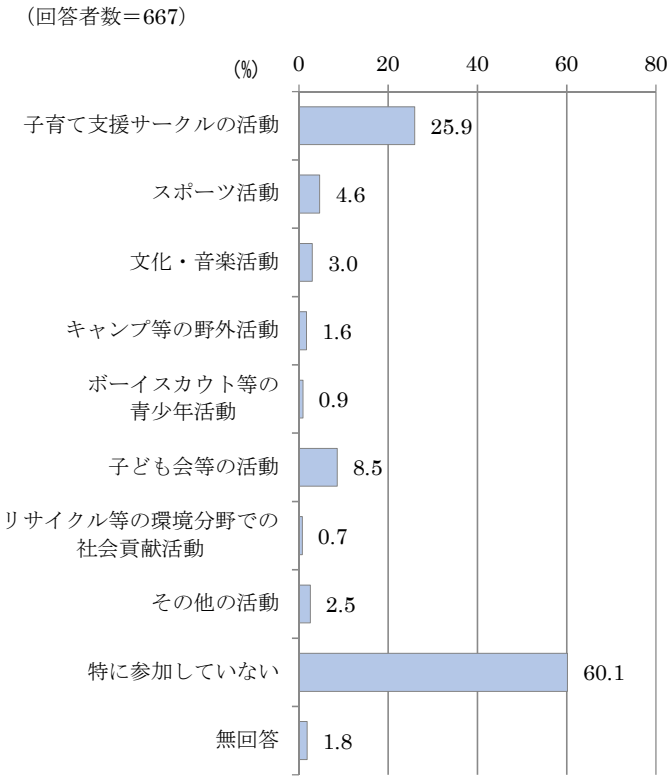
問12　ご近所や地域の人々とのお付き合いはどうですか。あてはまるものに○をつけてください。

「付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」の割合が45.0%と最も高く、次いで「少々付き合いがある」の割合が25.2%、「付き合いがありやや親しい」の割合が12.6%となっています。



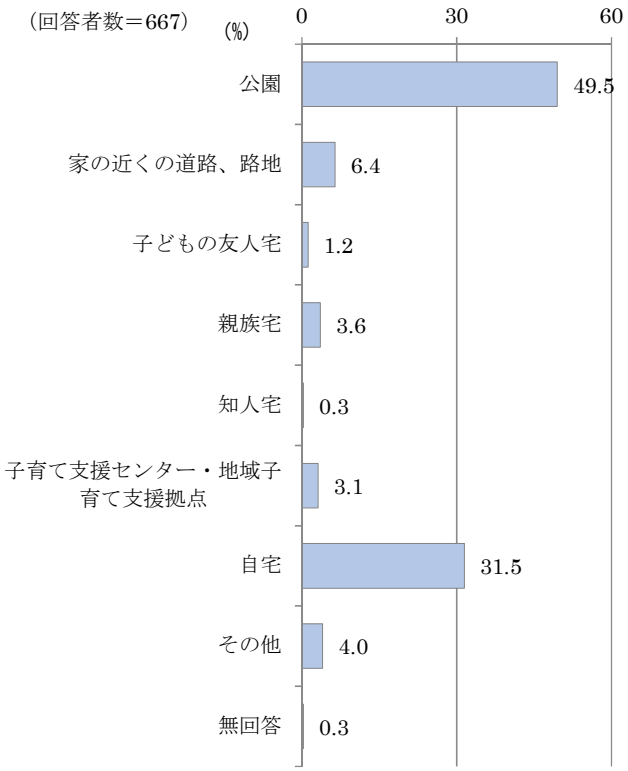
問13　お子さんが次の地域での催しへ参加したことがありますか。あてはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

「特に参加していない」の割合が60.1%と最も高く、次いで「子育て支援サークルの活動」の割合が25.9%となっています。



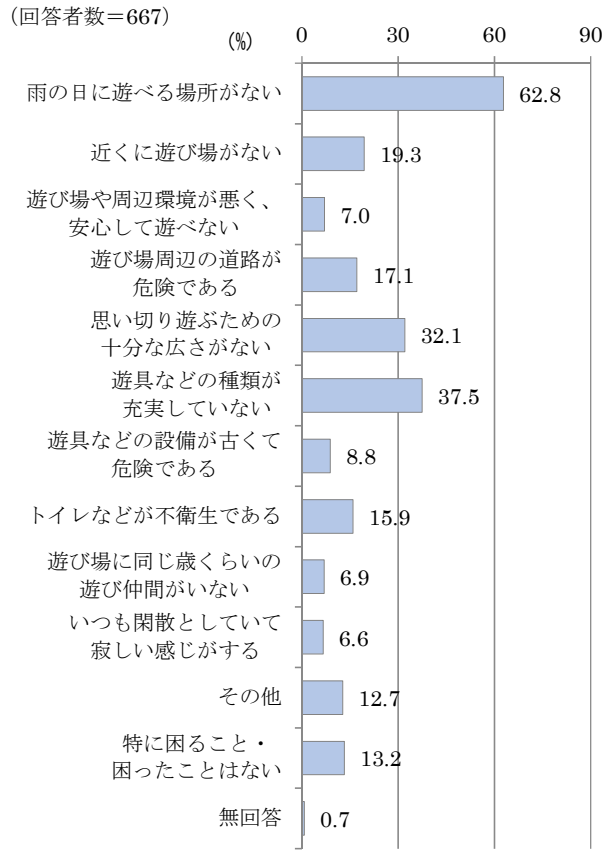
問14　お子さんは日中にどこで遊ぶことが多いですか。主なものに○をつけてください。

「公園」の割合が49.5%と最も高く、次いで「自宅」の割合が31.5%となっています。



問15　遊び場で困ること・困ったことは何ですか。あてはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

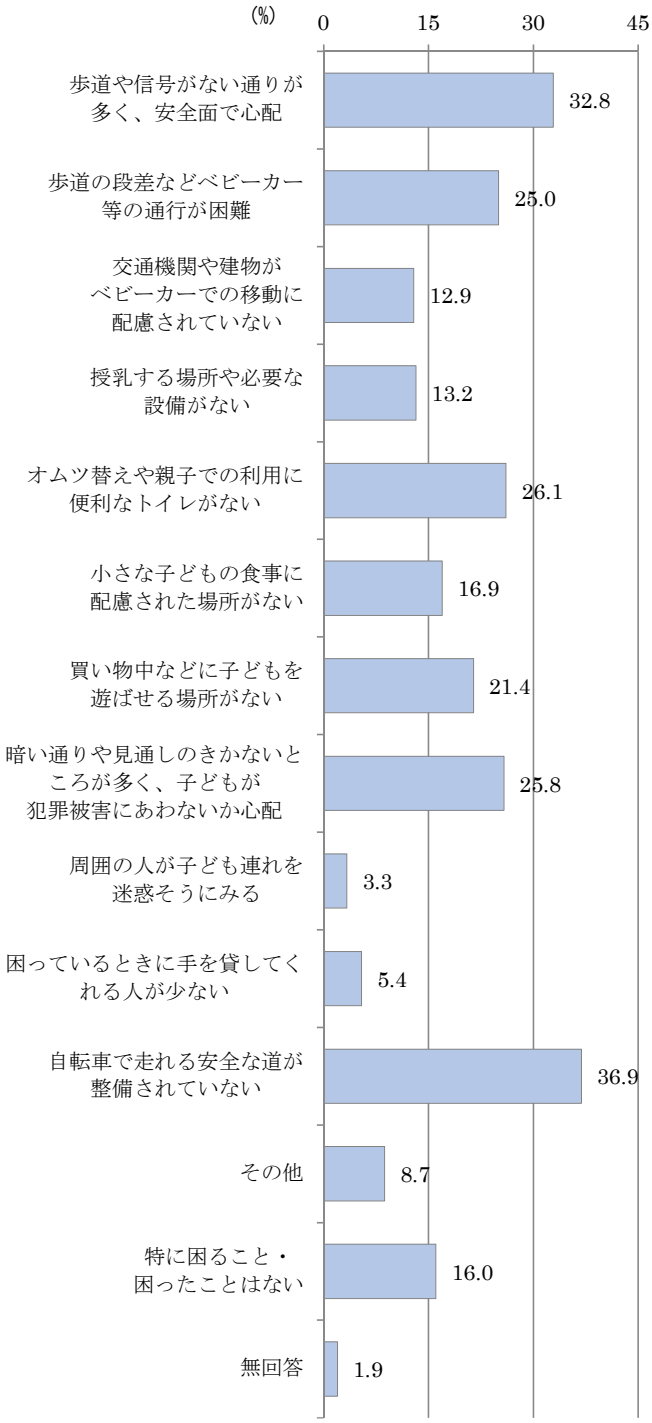
「雨の日に遊べる場所がない」の割合が62.8%と最も高く、次いで「遊具などの種類が充実していない」の割合が37.5%、「思い切り遊ぶための十分な広さがない」の割合が32.1%となっています。



問16　お子さんと外出する際に、困ること・困ったことは何ですか。あてはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

「自転車で走れる安全な道が整備されていない」の割合が36.9%と最も高く、次いで「歩道や信号がない通りが多く、安全面で心配」の割合が32.8%、「オムツ替えや親子での利用に便利なトイレがない」の割合が26.1%となっています。

（回答者数＝667）



（３）お子さんの保護者の就労状況について

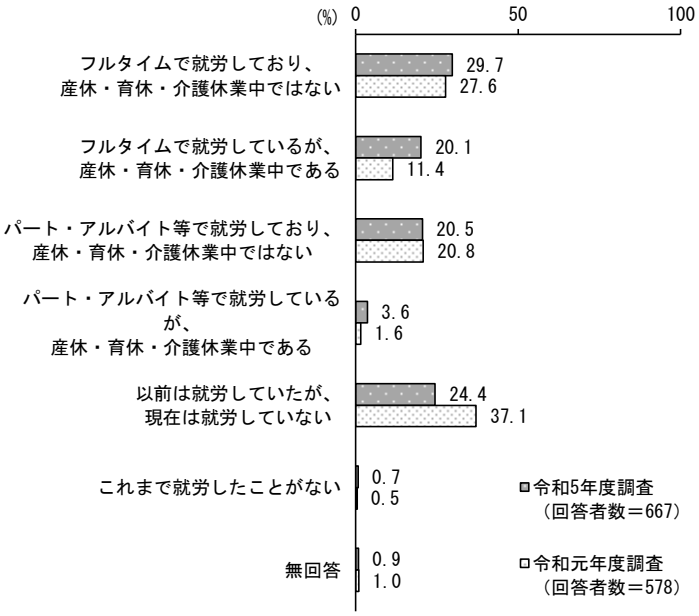
ひとり親家庭の場合は、母親又は父親のみお答えください。

問19　お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。あてはまる番号に○をつけてください。

ア　母親

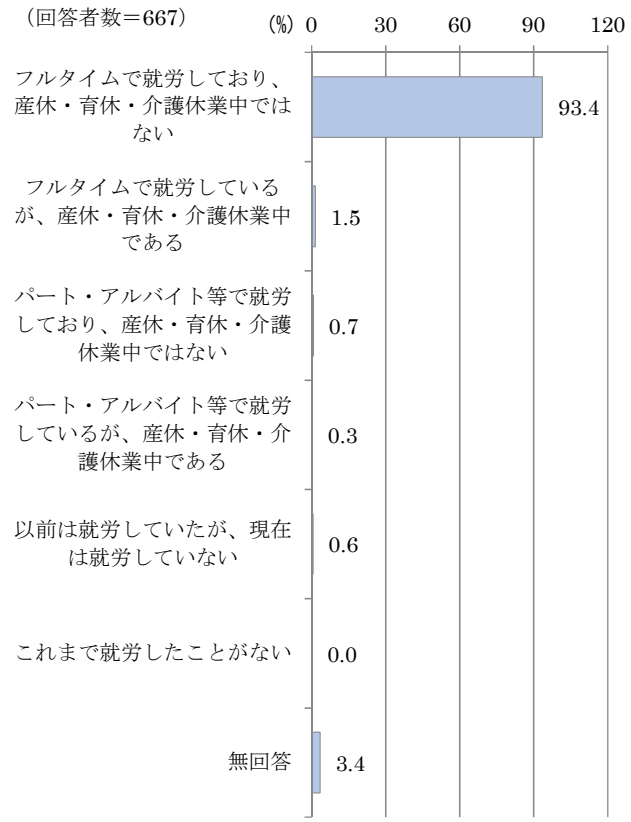
「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が29.7%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が24.4%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が20.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。



イ　父親

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が93.4%と最も高くなっています。



就労している方（１～４に○を付けた方）にうかがいます。
就労パターンが一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

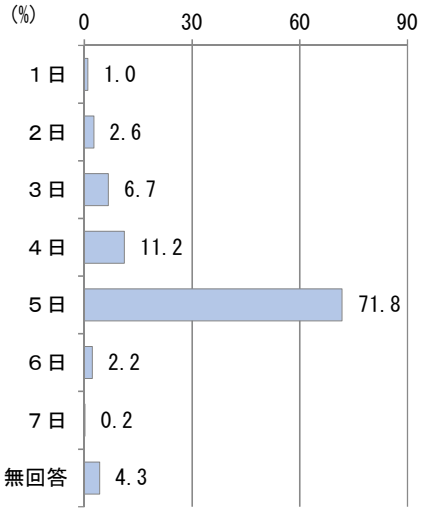
（１）－１　週当たりの「就労日数」、１日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

ア　母親

（回答者数＝493）

（ア）１週あたり就労日数

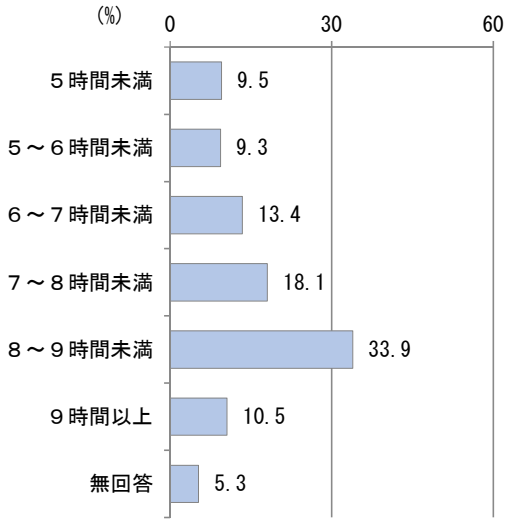
「５日」の割合が71.8％と最も高く、次いで「４日」の割合が11.2％となっています。



（イ）１日あたり就労時間

（回答者数＝493）

「８～９時間未満」の割合が33.9％と最も高く、次いで「７～８時間未満」の割合が18.1％、「６～７時間未満」の割合が13.4％となっています。

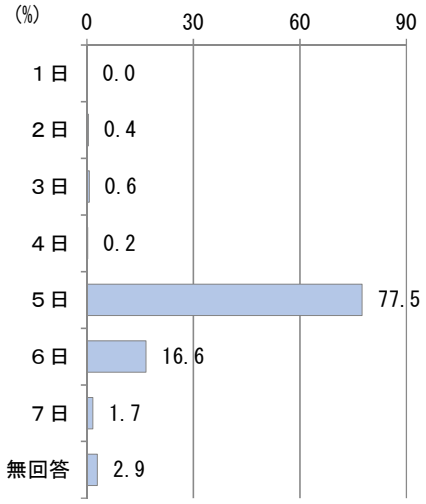


イ　父親

（ア）１週あたり就労日数

「５日」の割合が77.5％と最も高く、次いで「６日」の割合が16.6％となっています。

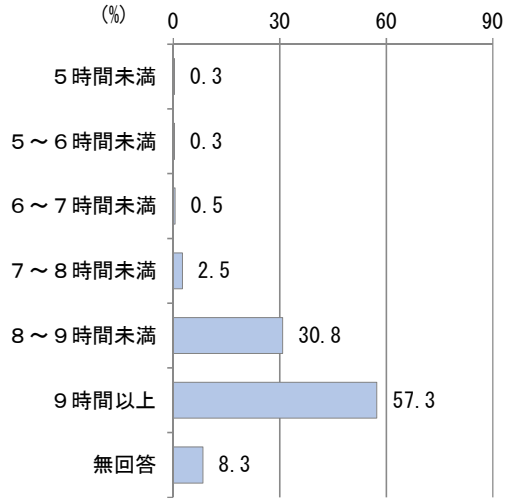
（回答者数＝476）



（イ）１日あたり就労時間

「９時間以上」の割合が57.3％と最も高く、次いで「８～９時間未満」の割合が30.8％となっています。

（回答者数＝640）



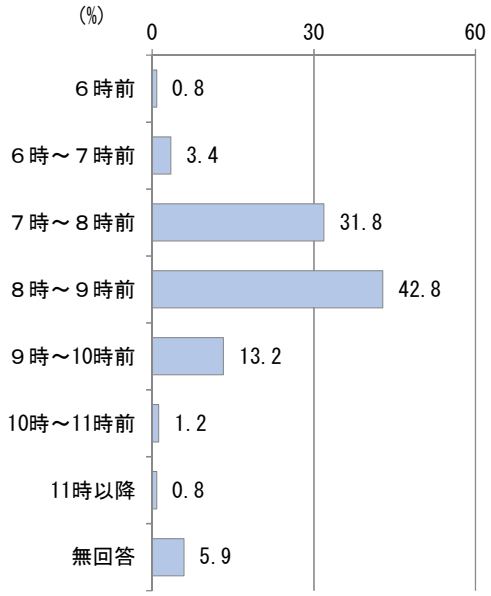
（１）－２　家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間は、必ず（例）08時～17時のように、24時間制(30分単位)でお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

ア　母親

（ア）家を出る時刻

「８時～９時前」の割合が42.8%と最も高く、次いで「７時～８時前」の割合が31.8%、「９時～10時前」の割合が13.2%となっています。

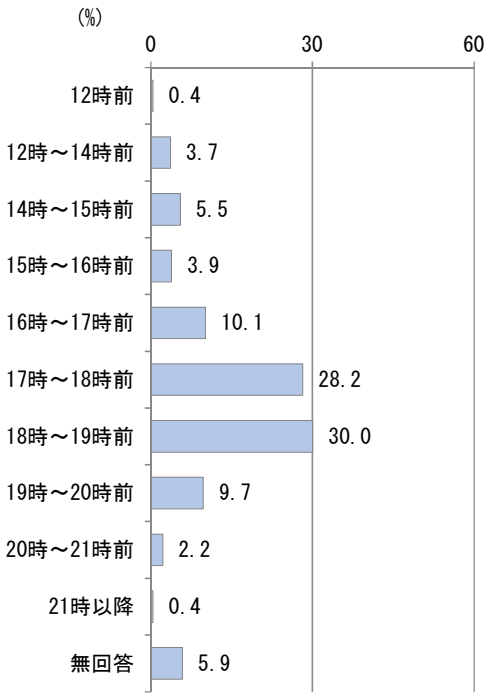
（回答者数＝493）



（イ）帰宅時刻

「18時～19時前」の割合が30.0%と最も高く、次いで「17時～18時前」の割合が28.2%、「16時～17時前」の割合が10.1%となっています。

（回答者数＝493）

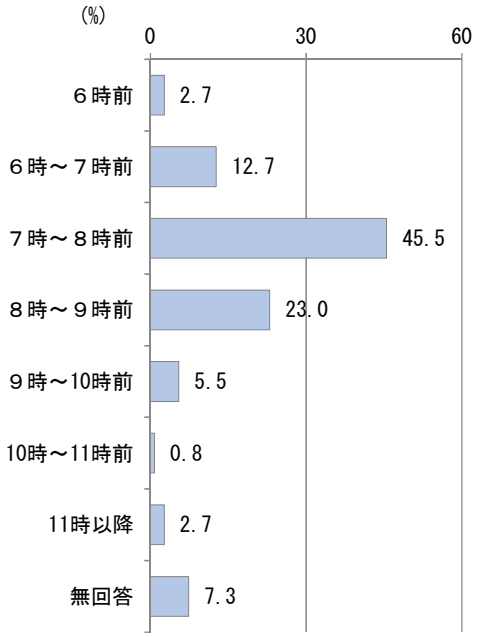


イ　父親

（ア）家を出る時刻

「７時～８時前」の割合が45.5％と最も高く、次いで「８時～９時前」の割合が23.0％、「６時～７時前」の割合が12.7％となっています。

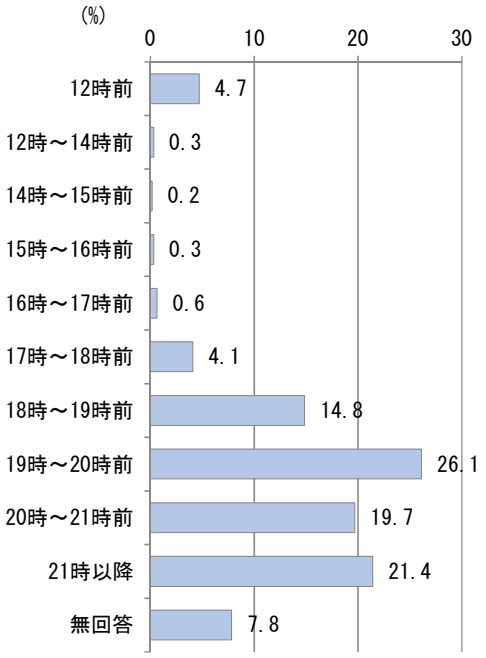
（回答者数＝640）



（イ）帰宅時刻

「19時～20時前」の割合が26.1％と最も高く、次いで「21時以降」の割合が21.4％、「20時～21時前」の割合が19.7％となっています。

（回答者数＝640）



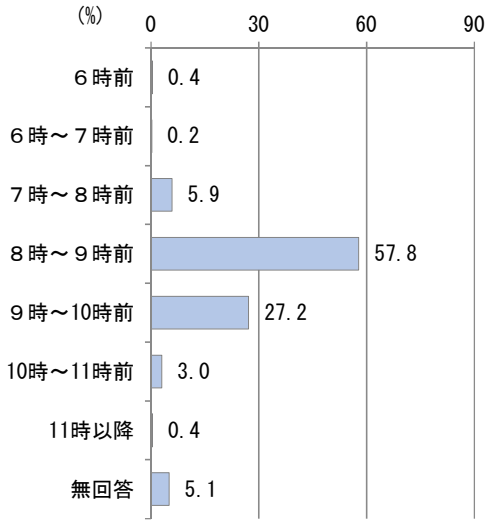
（１）－３　育児と仕事を両立するうえで望ましいと考えられる家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間は、必ず（例）08時～17時のように、24時間制(30分単位)でお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

ア　母親

（ア）理想の家を出る時刻

「８時～９時前」の割合が57.8％と最も高く、次いで「９時～10時前」の割合が27.2％となっています。

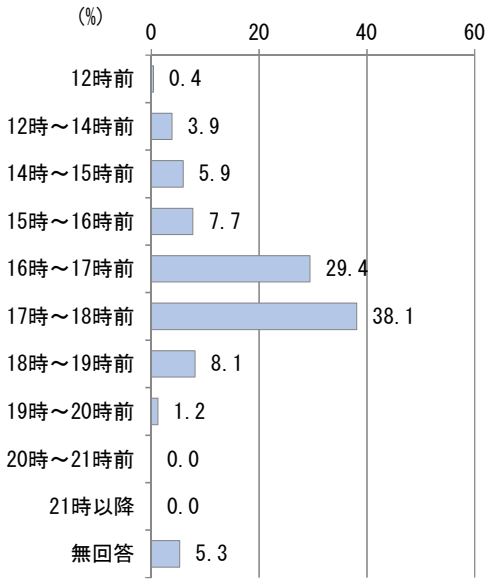
（回答者数＝493）



（イ）理想の帰宅時刻

「17時～18時前」の割合が38.1％と最も高く、次いで「16時～17時前」の割合が29.4％となっています。

（回答者数＝493）

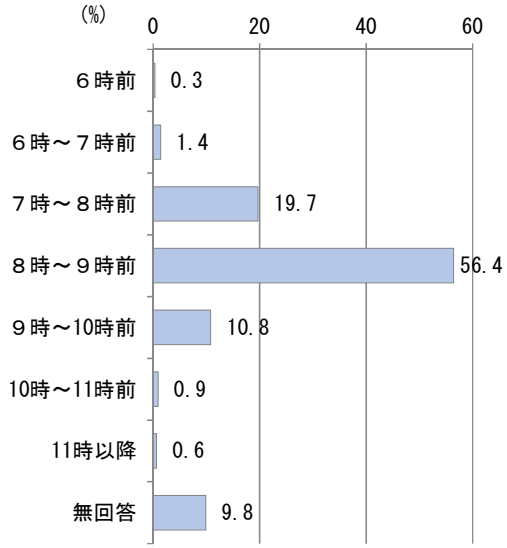


イ　父親

（ア）理想の家を出る時刻

「８時～９時前」の割合が56.4％と最も高く、次いで「７時～８時前」の割合が19.7％となっています。

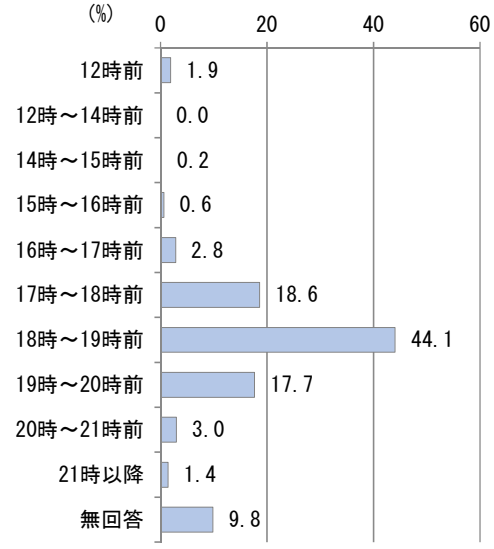
（回答者数＝640）



（イ）理想の帰宅時刻

「18時～19時前」の割合が44.1％と最も高く、次いで「17時～18時前」の割合が18.6％、「19時～20時前」の割合が17.7％となっています。

（回答者数＝640）

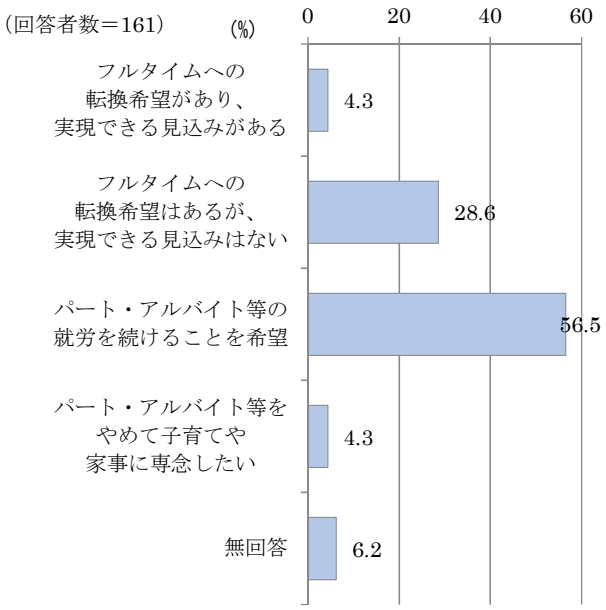


パート・アルバイト等で就労している方(問19で「３、４」に○をつけた方)にうかがいます。

問19－１　フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度以上の就労）への転換希望はありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

ア　母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が56.5%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が28.6%となっています。



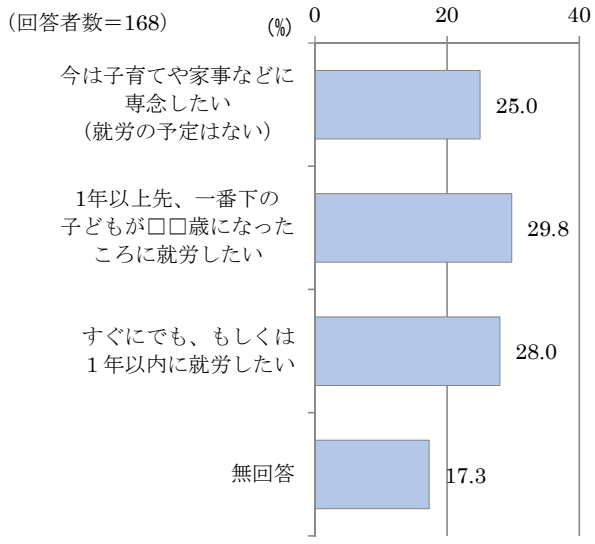
イ　父親

「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」がそれぞれ1件となっています。

問19－２　就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号に○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。（数字は一枠に一字）

（１）母親

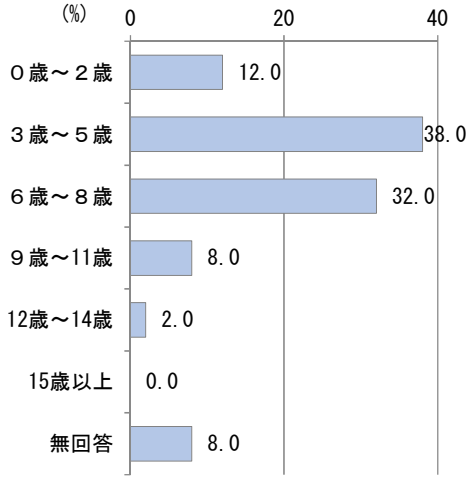
「１年以上先、一番下のこどもが□□歳になったころに就労したい」の割合が29.8%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」の割合が28.0%、「今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が25.0%となっています。



２　１年以上先、一番下のこどもが　□□歳になったころに就労したい

「３歳～５歳」の割合が38.0％と最も高く、次いで「６歳～８歳」の割合が32.0％、「０歳～２歳」の割合が12.0％となっています。

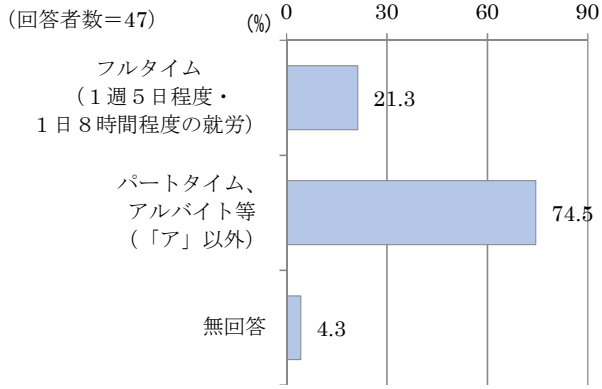
（回答者数＝50）



ア　希望する就労形態

「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）」の割合が21.3％、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」の割合が74.5％となっています。

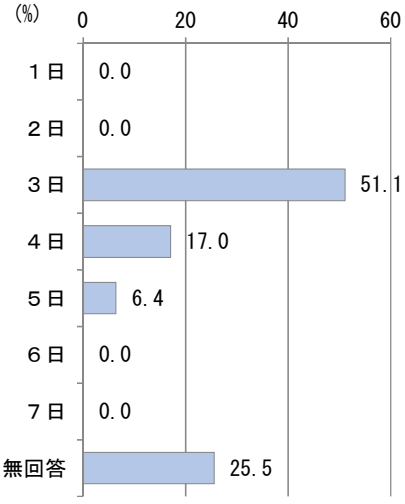
（回答者数＝47）



（ア）パートタイム、アルバイト等　１週あたり希望就労日数

「３日」の割合が51.1％と最も高く、次いで「４日」の割合が17.0％となっています。

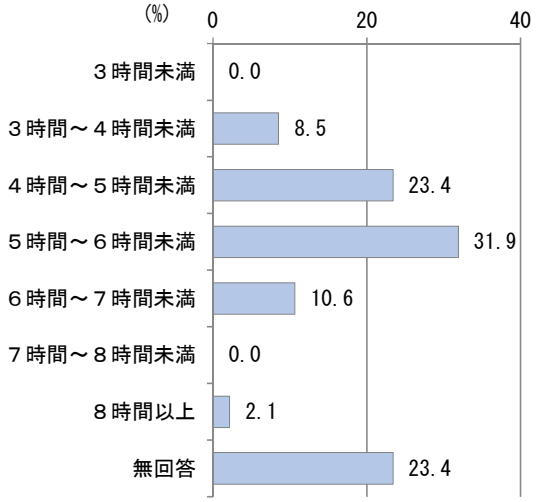
（回答者数＝47）



（イ）パートタイム、アルバイト等　１日あたり希望就労時間

「５時間～６時間未満」の割合が31.9％と最も高く、次いで「４時間～５時間未満」の割合が23.4％、「６時間～７時間未満」の割合が10.6％となっています。

（回答者数＝47）



（２）父親

「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が２件、「今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」、「無回答」がそれぞれ1件となっています。

２　１年以上先、一番下のこどもが　□□歳になったころに就労したい

有効回答がありませんでした。

ア　希望する就労形態

「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）」が１件、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」が１件となっています。

（ア）パートタイム、アルバイト等　１週あたり希望就労日数

「５日」が1件となっています。

（イ）パートタイム、アルバイト等　１日あたり希望就労時間

「５時間～６時間未満」が1件となっています。

（４）現在の生活状況について

※２０２２年の年間収入についてお答えください。

※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

・勤め先収入（定期収入、賞与等）

・事業所得（原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く）、内職収入（材料費等を除く）

・公的年金・恩給、その他の社会保障給付金（生活保護、児童手当、児童扶養手当等）

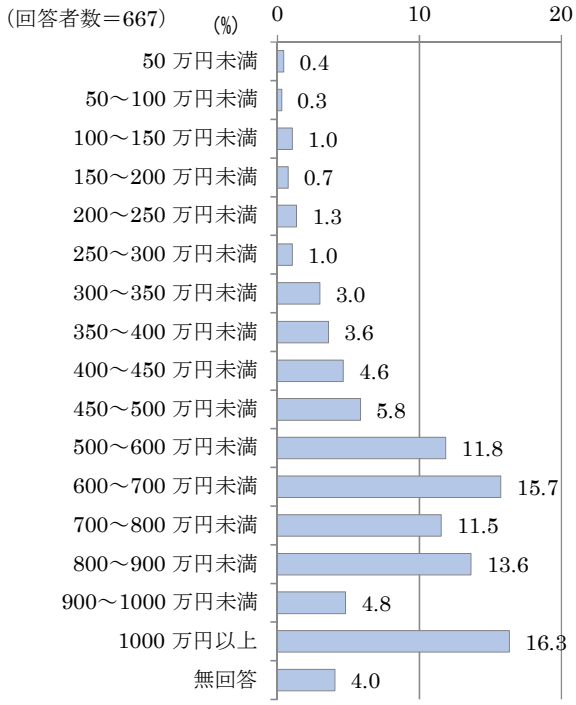
・農林漁業収入（農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く）

・財産所得（預貯金利子、家賃収入等）

・その他の収入（仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等）

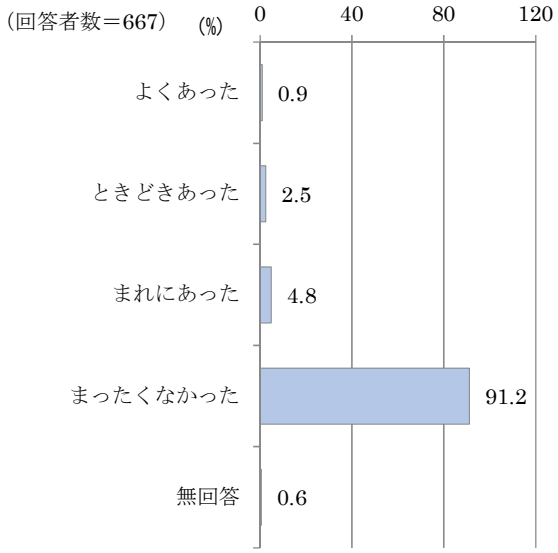
問20　世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。あてはまる番号に○をつけてください。

「1000万円以上」の割合が16.3%、次いで「600～700万円未満」の割合が15.7%、「800～900万円未満」の割合が13.6%となっています。



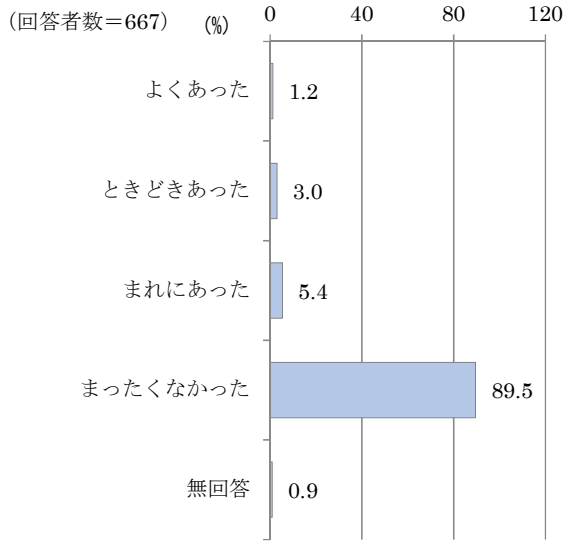
問21　あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。あてはまる番号に○をつけてください。

「まれにあった」の割合が 4.8%、「ときどきあった」の割合が 2.5%、「よくあった」の割合が 0.9%となっています。



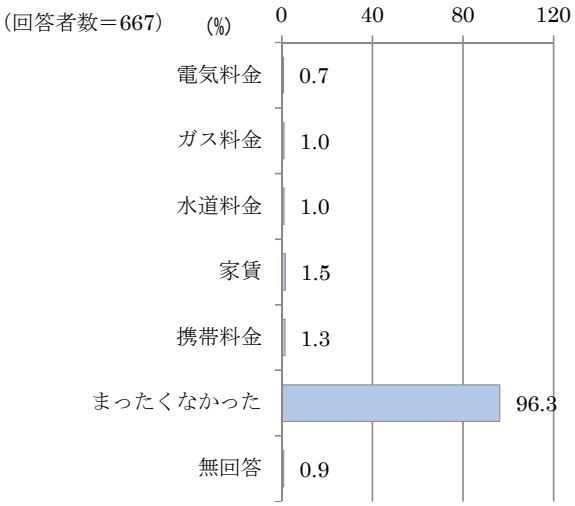
問22　あなたの世帯では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。あてはまる番号に○をつけてください。

「まれにあった」の割合が5.4%、「ときどきあった」の割合が3.0%、「よくあった」の割合が1.2%となっています。



問23　あなたの世帯では、過去１年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

「家賃」の割合が1.5%、「携帯料金」の割合が1.3%、「ガス料金」、「水道料金」の割合がそれぞれ1.0%となっています。

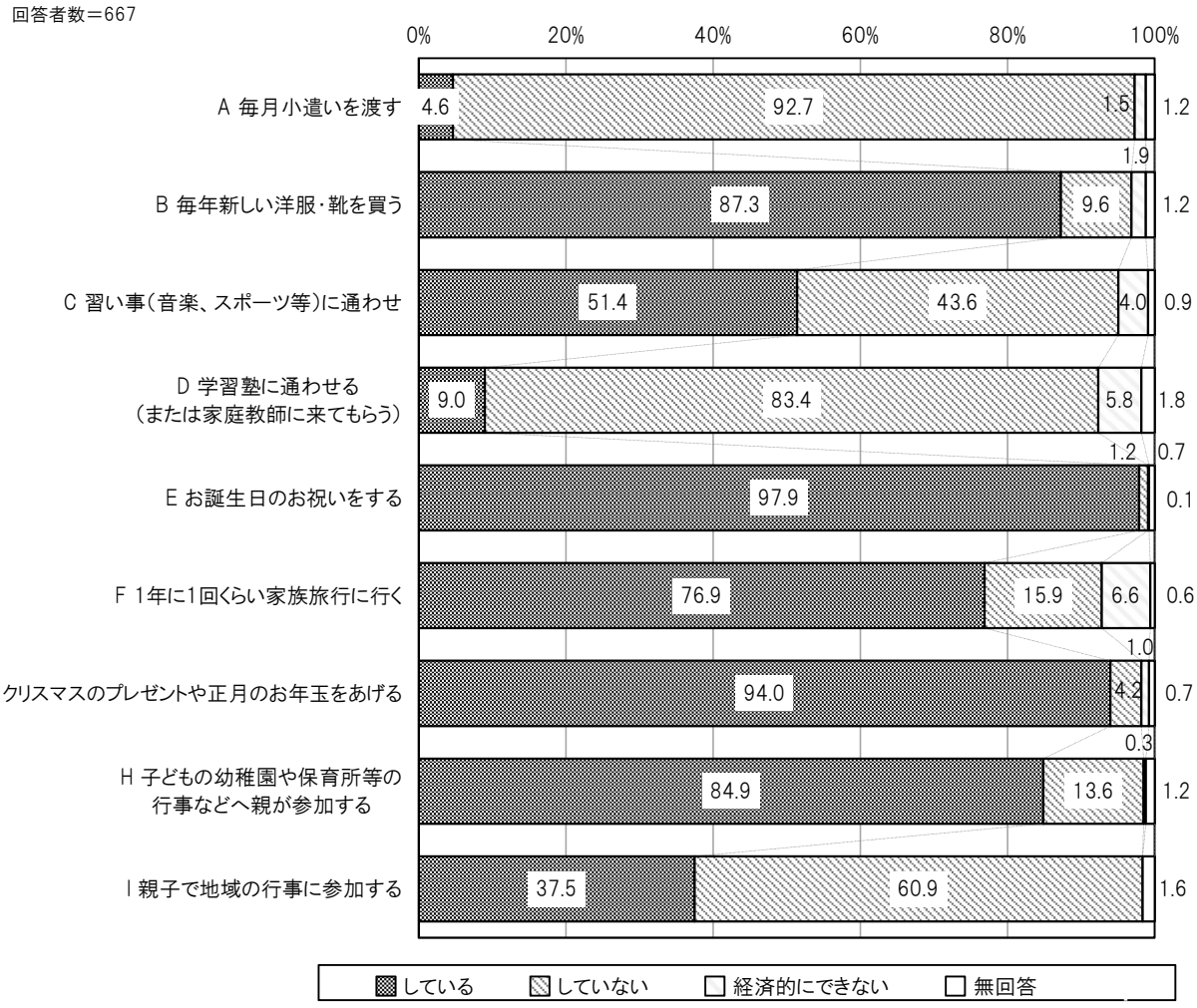


問24　あなたの世帯では、お子さんに次のＡ～Ｈのようなことをしていますか。それぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけてください。

「している」では「E お誕生日のお祝いをする」の割合が最も高く、次いで「G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」の割合が高くなっています。

一方、「していない」では「A 毎月小遣いを渡す」の割合が最も高く、次いで「D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう)」の割合が高くなっています。

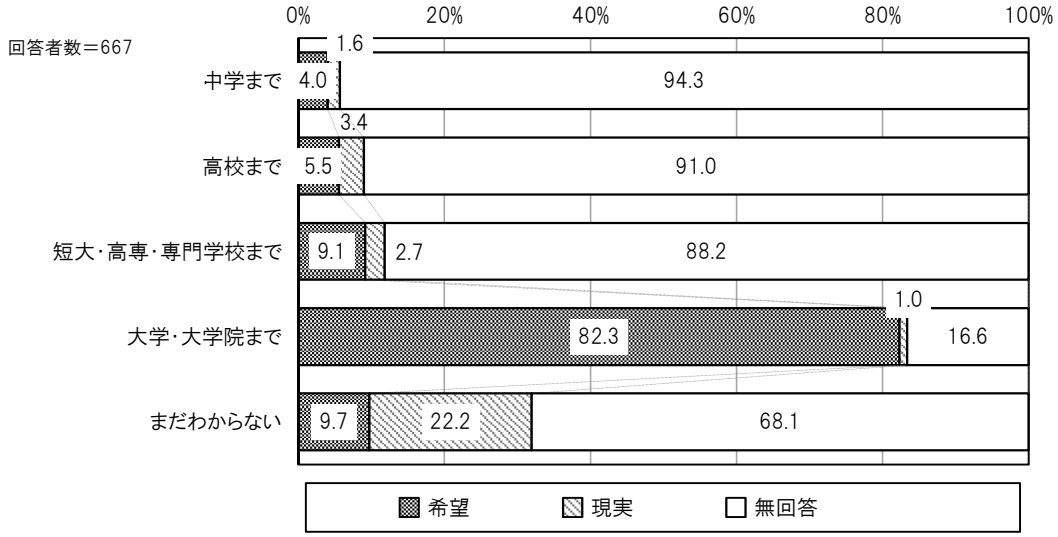
また、「経済的にできない」では、「F 1年に1回くらい家族旅行に行く」の割合が最も高く、次いで「D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう)」の割合が高くなっています。



問25　お子さんについて、どの段階まで進学すると思いますか。あなたの希望と、現実的にみた場合、それぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけてください。

希望では、「大学・大学院まで」の割合が82.3％と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が9.7％となっています。

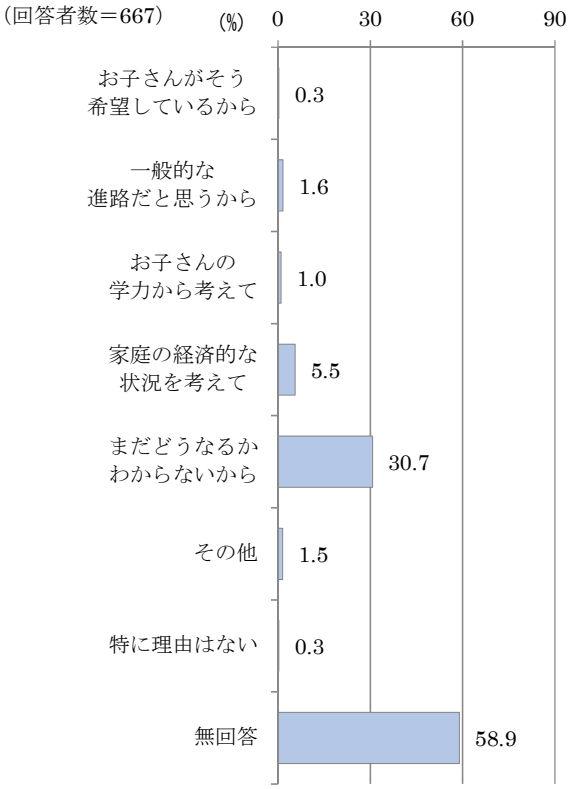
現実では、「まだわからない」の割合が22.2％と最も高く、次いで「高校まで」の割合が3.4％となっています。



問 25 で「希望」と「現実」で異なる回答をした方にうかがいます。

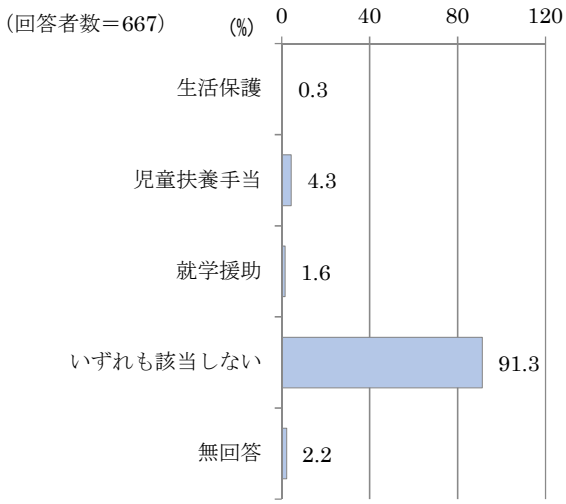
問25－１　希望」と「現実」が異なると考えたのはなぜですか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

「まだどうなるかわからないから」の割合が30.7％と最も高く、次いで「家庭の経済的な状況を考えて」の割合が5.5％、「一般的な進路だと思うから」の割合が1.6％となっています。



問26　あなたの世帯では、現在、次の制度を利用していますか。あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

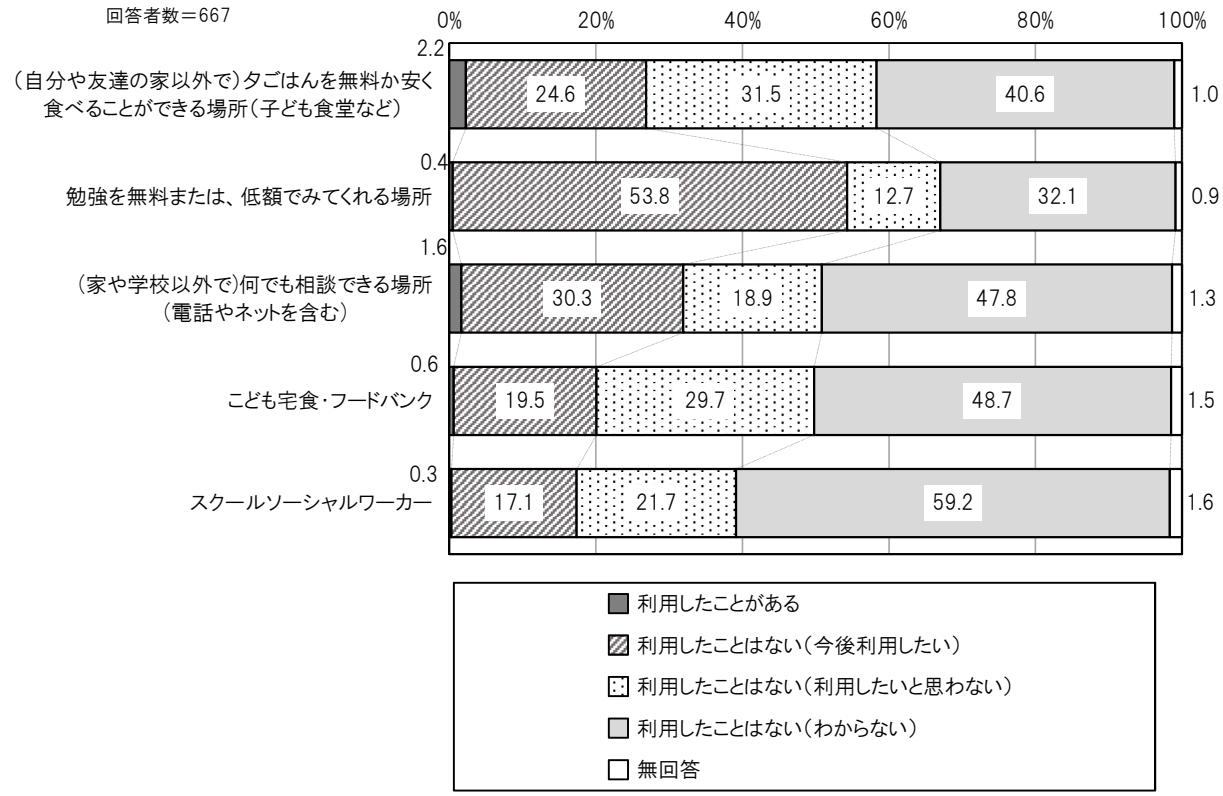
「児童扶養手当」の割合が4.3%、「就学援助」の割合が1.6%、「生活保護」の割合が0.3%となっています。



問27　お子さんは、次のような場所などを利用したことがありますか。また利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。それぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけてください。

利用したことがあるでは、「(自分や友達の家以外で）夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（こども食堂など)」の割合が2.2%、「(家や学校以外で）何でも相談できる場所（電話やネットを含む)」の割合が1.6%となっています。

利用したことがないひとのうち今後の利用希望では、「勉強を無料または、低額でみてくれる場所」の割合が53.8%と最も高く、次いで「(家や学校以外で）何でも相談できる場所（電話やネットを含む)」の割合が30.3%となっています。

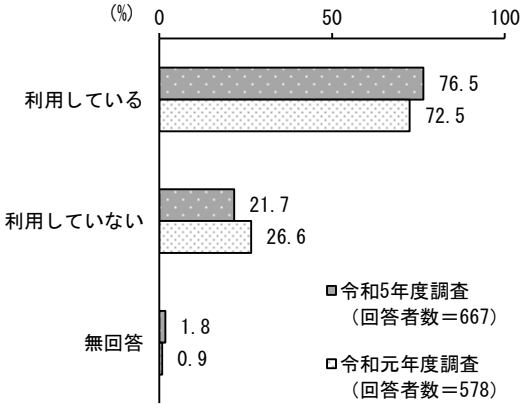


（５）お子さんの平日に定期的な教育・保育の利用状況について

問28　お子さんは現在、幼稚園や保育所などを利用されていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

「利用している」の割合が76.5％と最も高く、次いで「利用していない」の割合が21.7％となっています。

令和元年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。



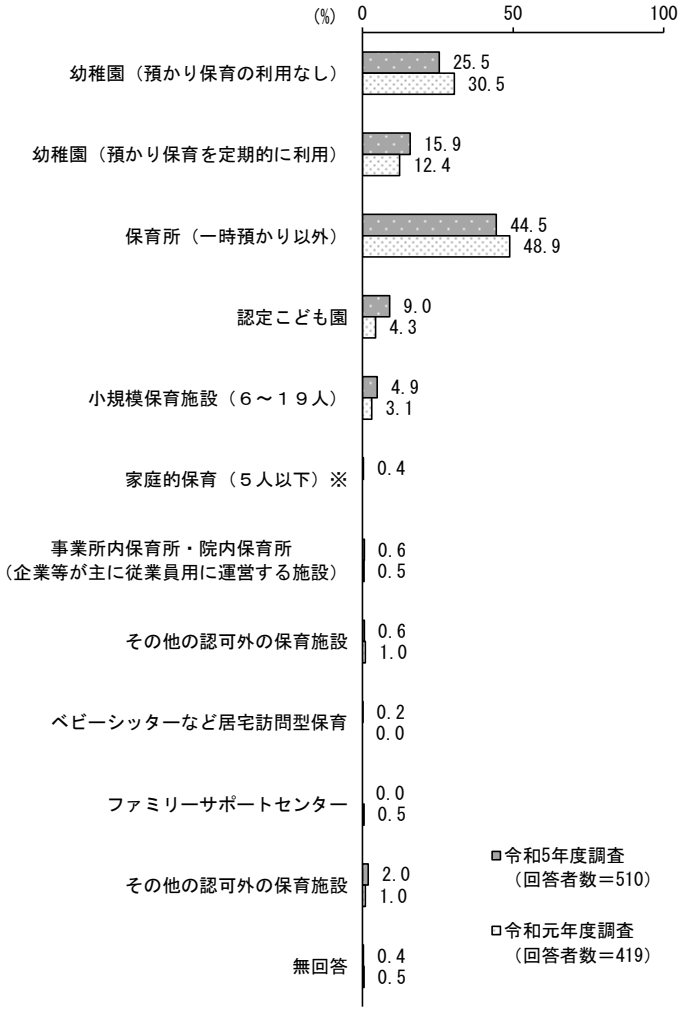
問 28-1～問 28-5 は、問 28 で「1 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問28－１　お子さんは、平日どのような教育・保育を定期的に利用していますか。あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

「保育所（一時預かり以外）」の割合が44.5％と最も高く、次いで「幼稚園（預かり保育の利用なし）」が25.5％、「幼稚園（預かり保育を定期的に利用）」の割合が15.9％となっています。

令和元年度調査と比較すると、「認定こども園」、「幼稚園（預かり保育を定期的に利用）」の割合が増加しています。

一方、「幼稚園（預かり保育の利用なし）」、「保育所（一時預かり以外）」の割合が減少しています。



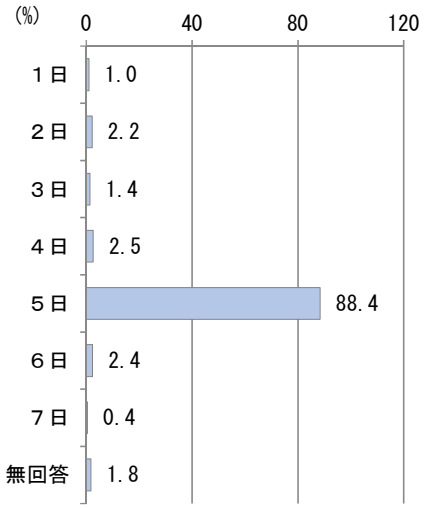
※前回調査では選択肢がありません

問28－２　平日に定期的に利用している教育・保育について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）時間は必ず　(例)09時～17時のように24時間制でご記入ください。なお、利用時間に応じた負担が発生します。

ア）１週あたり利用日数

「５日」の割合が88.4％と最も高くなっています。

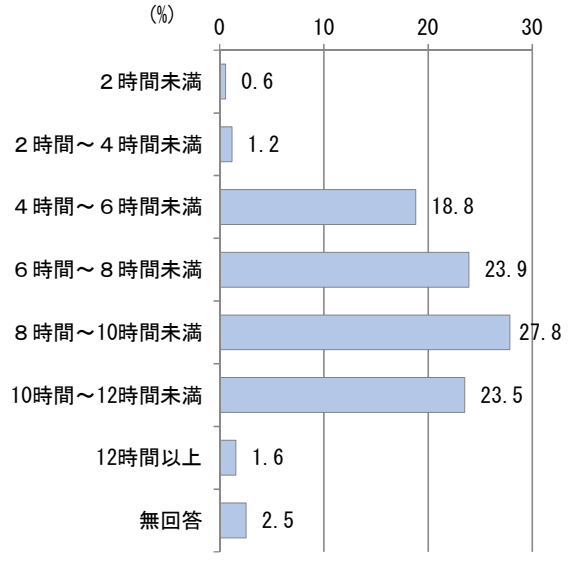
（回答者数＝510）



イ）１日あたり利用時間

「８時間～10時間未満」の割合が27.8％と最も高く、次いで「６時間～８時間未満」の割合が23.9％、「10時間～12時間未満」の割合が23.5％となっています。

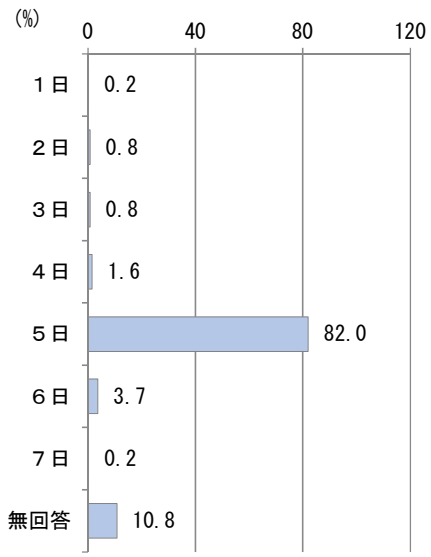
（回答者数＝510）



ア） １週あたり利用希望日数

「５日」の割合が82.0%と最も高くなっています。

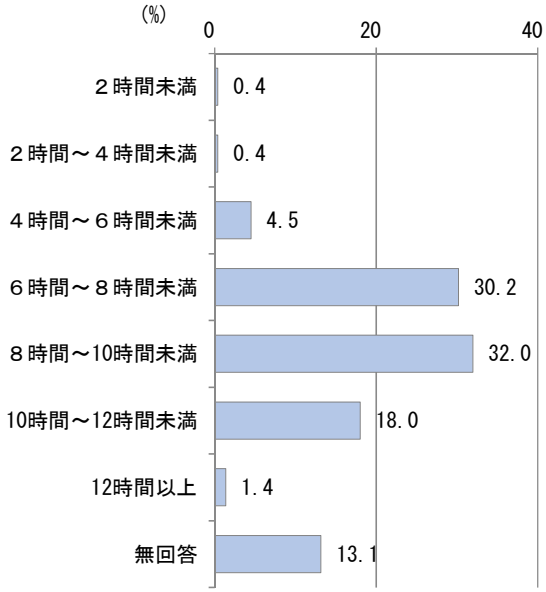
（回答者数＝510）



イ） １日あたり利用希望時間

「８時間～10時間未満」の割合が32.0%と最も高く、次いで「６時間～８時間未満」の割合が30.2%、「10時間～12時間未満満」の割合が18.0%となっています。

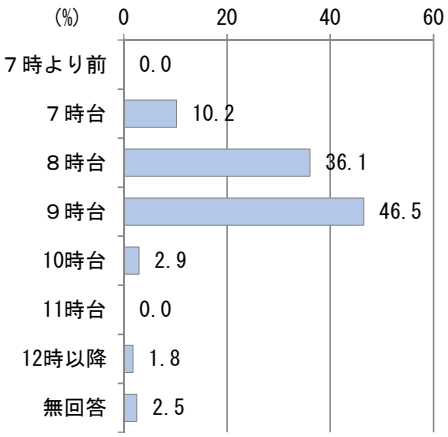
（回答者数＝510）



ウ） 利用開始時刻

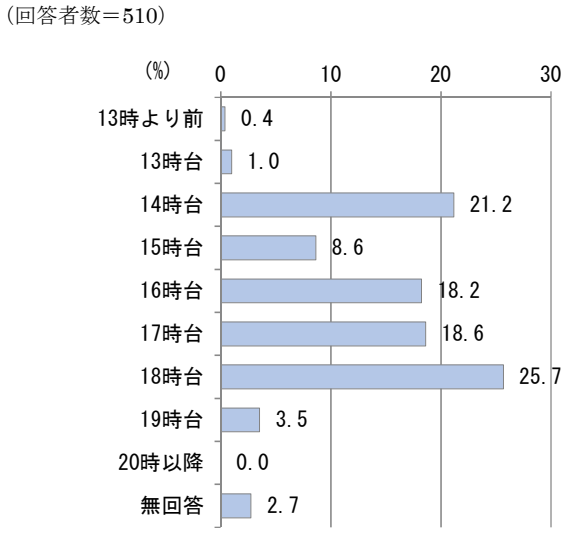
「９時台」の割合が46.5%と最も高く、次いで「８時台」の割合が36.1%となっています。

（回答者数＝510）



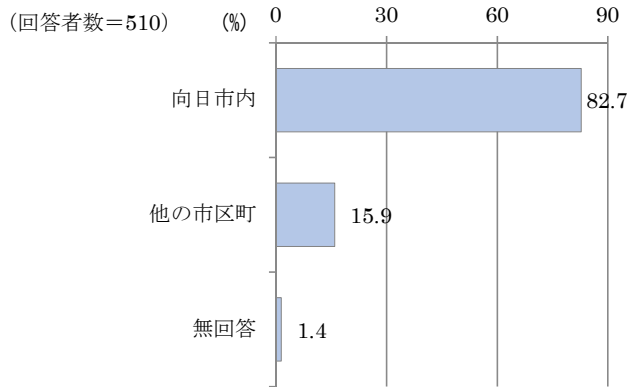
エ）利用終了時刻

「18時台」の割合が25.7%と最も高く、次いで「14時台」の割合が21.2%となっています。



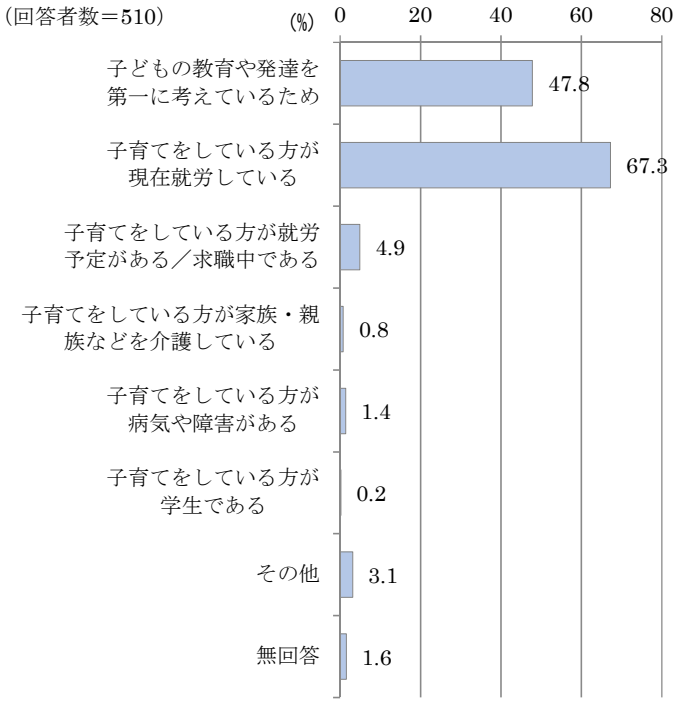
問28－３　現在、利用している教育・保育の場所について、あてはまる番号に○をつけてください。

「向日市内」の割合が82.7%、次いで「他の市区町」の割合が15.9%となっています。



問28－４　平日に定期的に教育・保育を利用されている理由として、あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

「子育てをしている方が現在就労している」の割合が 67.3%と最も高く、次いで「こどもの教育や発達を第一に考えているため」の割合が 47.8%、「子育てをしている方が就労予定がある／求職中である」の割合が 4.9%となっています。

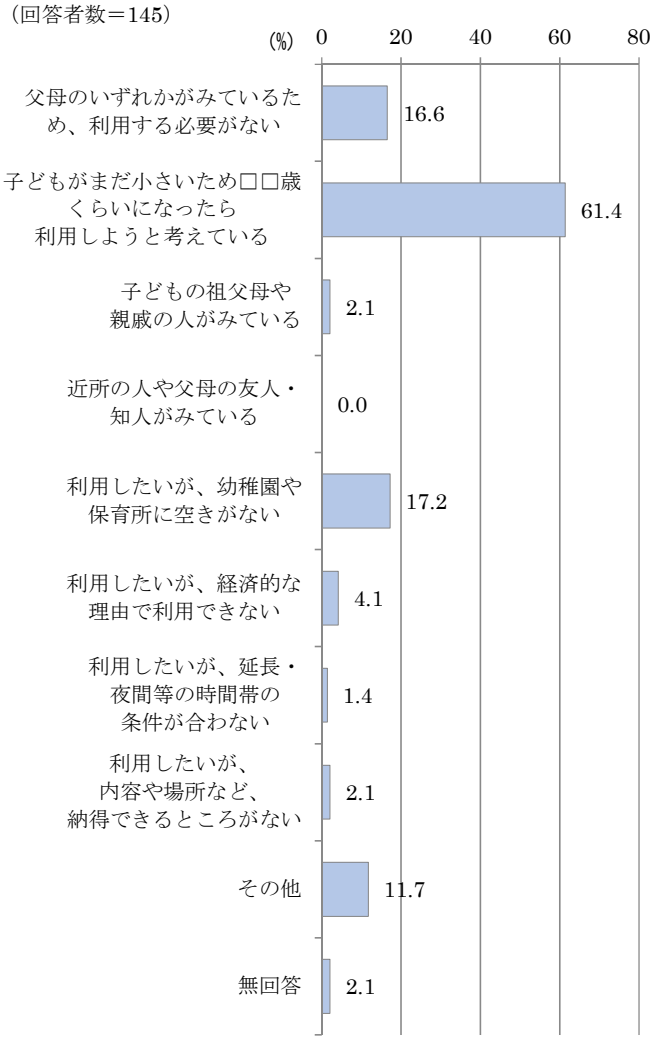


問 28 で「２　利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問28－６　利用していない理由は何ですか。理由としてもっともあてはまる番号に○をつけてください。また、「２」を選んだ方は□の中に年齢（数字）をご記入ください。（複数回答可）

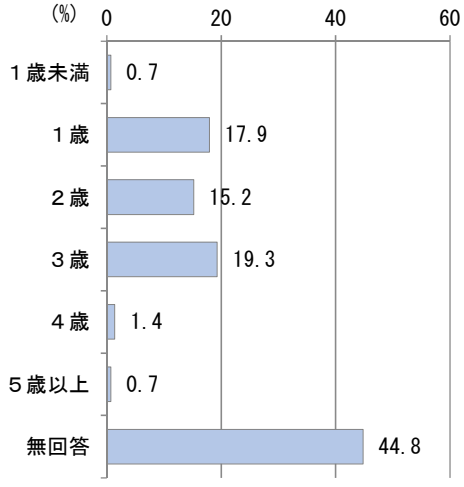
「こどもがまだ小さいため□□歳くらいになったら利用しようと考えている」の割合が61.4％と最も高く、次いで「利用したいが、幼稚園や保育所に空きがない」の割合が17.2％、「父母のいずれかがみているため、利用する必要がない」の割合が16.6％となっています。

（回答者数＝145）



利用予定のこどもの年齢について、「３歳」の割合が19.3％と最も高く、次いで「１歳」の割合が17.9％となっています。

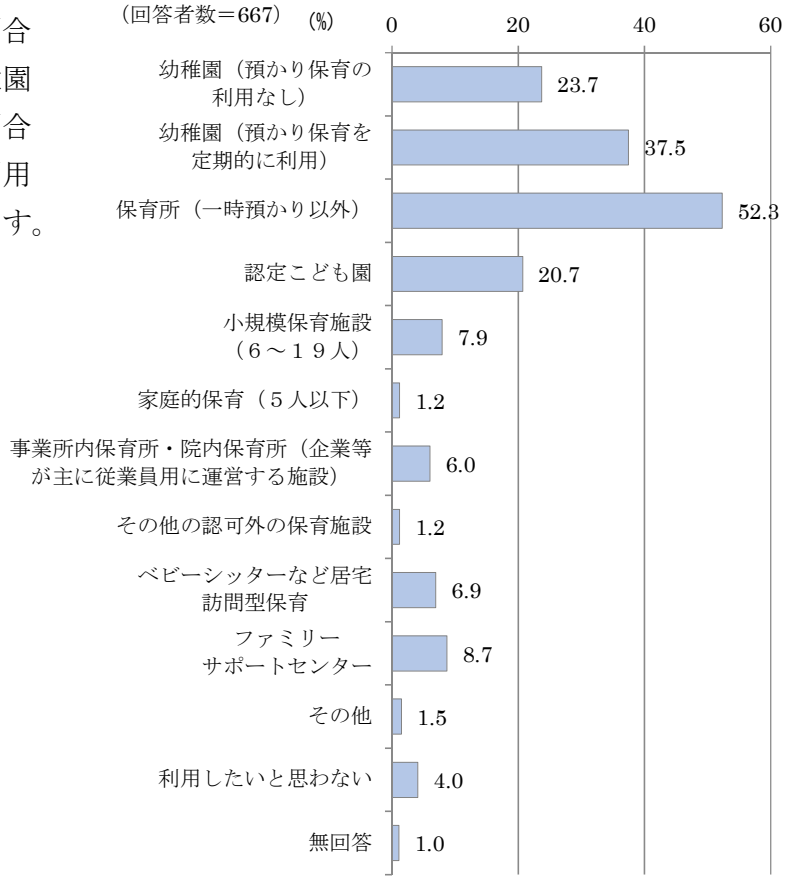
（回答者数＝145）



すべての方にうかがいます。

問29　現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）なお、これらの事業の利用には、利用者負担と実費が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

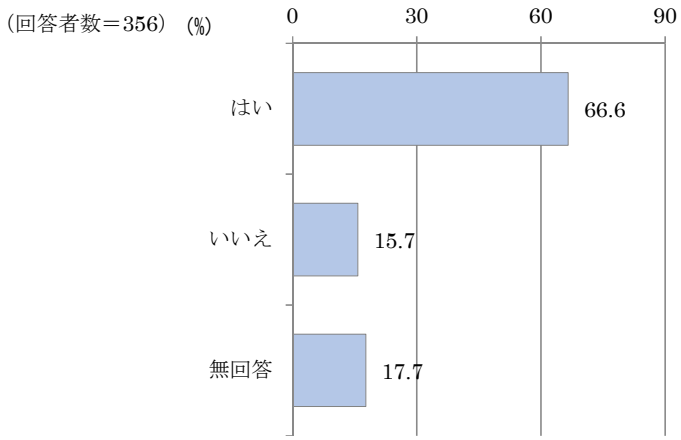
「保育所（一時預かり以外）」の割合が52.3％と最も高く、次いで「幼稚園（預かり保育を定期的に利用）」の割合が37.5％、「幼稚園（預かり保育の利用なし）」の割合が23.7％となっています。



問29で「１」または「２」に○をつけ、かつ　３～12にも○をつけた方にうかがいます。

問29－１　幼稚園を利用することが理想ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

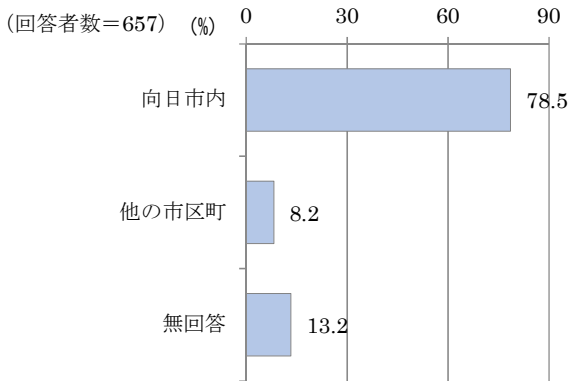
「はい」の割合が66.6％、「いいえ」の割合が15.7％となっています。



問29-２～問29-４は、問29で１～１２に○をつけた方にうかがいます。

問29－２　教育・保育を利用したい場所について、あてはまる番号に○をつけてください。

「向日市内」が78.5%、「他の市区町」が8.2%となっています。

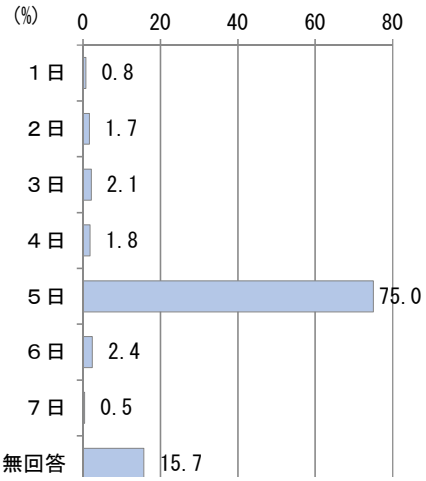


問29－３　平日に定期的に利用したい教育・保育について、希望としてはどのくらい利用したいですか。１週あたり何日、１日あたり何時間（何時から何時まで）かを、□内におおよその数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）時間は、必ず（例）０９時～１７時のように２４時間制でご記入ください。なお、利用時間に応じた負担が発生します。

ア）１週あたり利用希望日数

「５日」の割合が75.0%と最も高くなっています。

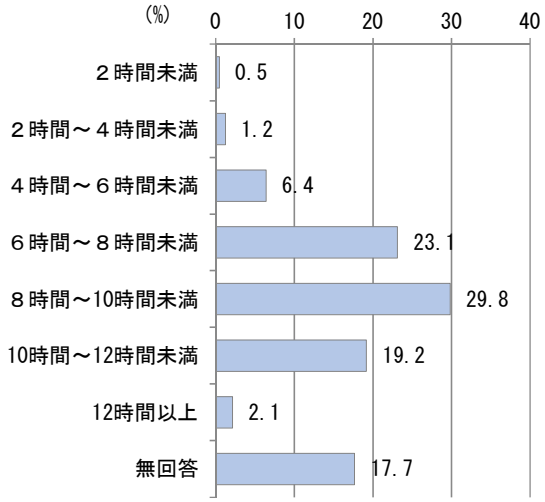
（回答者数＝657）



イ）１日あたり利用希望時間

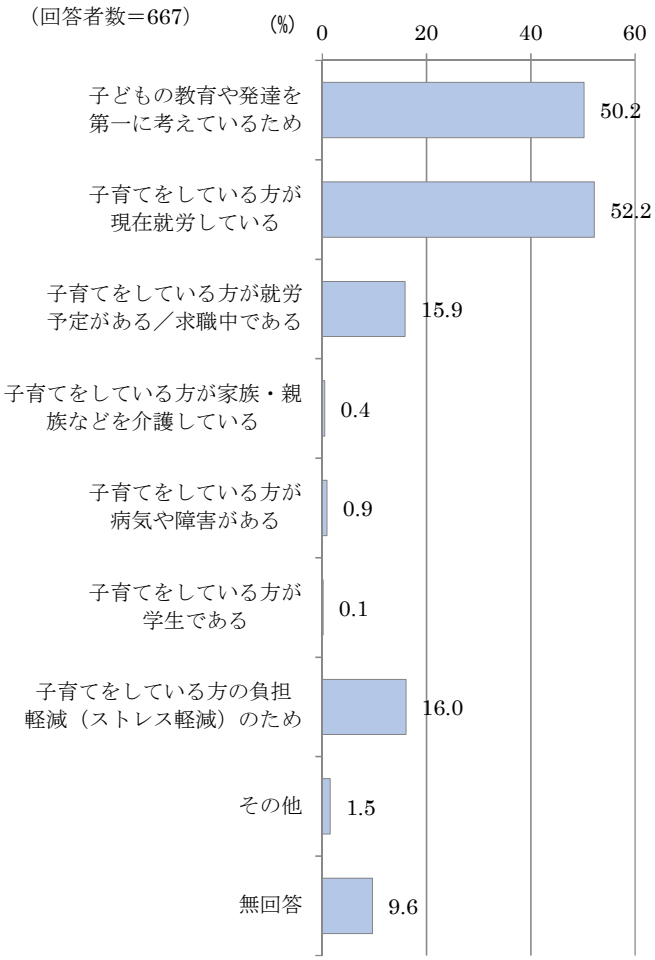
「８時間～10時間未満」の割合が29.8%と最も高く、次いで「６時間～８時間未満」の割合が23.1%、「10時間～12時間未満」の割合が19.2%となっています。

（回答者数＝657）



問29－４　平日に定期的に教育・保育を利用したいとお考えになる理由として、あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

「子育てをしている方が現在就労している」の割合が52.2%と最も高く、次いで「こどもの教育や発達を第一に考えているため」の割合が50.2%、「子育てをしている方の負担軽減（ストレス軽減）のため」の割合が16.0%となっています。

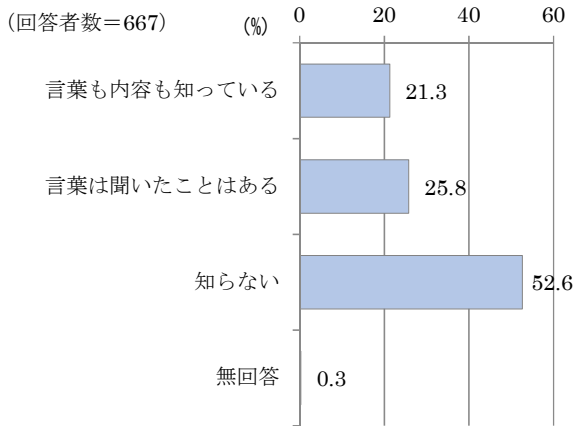


（６）「こども誰でも通園制度（仮称）について

問30　あなたは国が検討している「こども誰でも通園制度（仮称）（※）を知っていますか。あてはまるものに○をつけてください。

※「こども誰でも通園制度（仮称）」とは、親が就労しているなどの要件を満たしていなくても、こどもを保育所等に預けることができる新たな通園制度。生後６か月から２歳のすべての未就学児が対象で、令和6年度の試行実施では、こども一人あたり「月10時間」を上限として行うことを想定。詳細は現在、国において検討中。

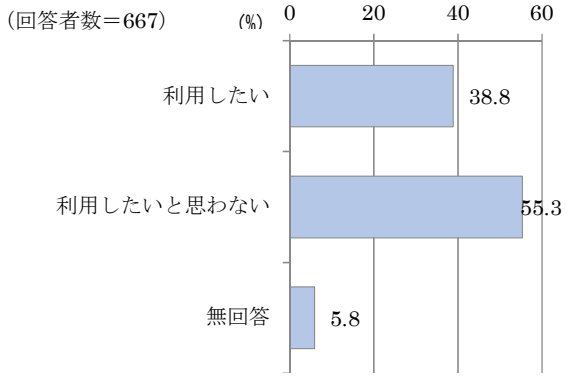
「知らない」の割合が52.6％と最も高く、次いで「言葉は聞いたことはある」の割合が25.8％、「言葉も内容も知っている」の割合が21.3％となっています。



問31　国が検討している「こども誰でも通園制度（仮称）」が創設された場合、利用したいと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。

「利用したい」の場合は、１週あたり何日、１回あたり何時間（何時から何時まで）かを、□内におおよその数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）時間は、必ず（例）09時～17時のように24時間制でご記入ください。なお、サービスの利用にあたっては一定の利用料が発生する場合があります。

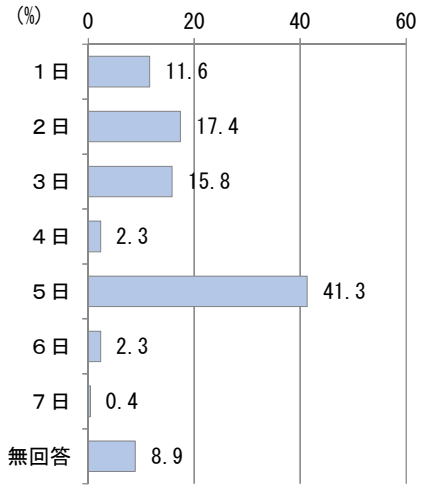
「利用したい」の割合は 38.8％、「利用したいと思わない」の割合は 55.3％となっています。



ア） １週あたり利用希望日数

「５日」の割合が41.3%と最も高くなっています。

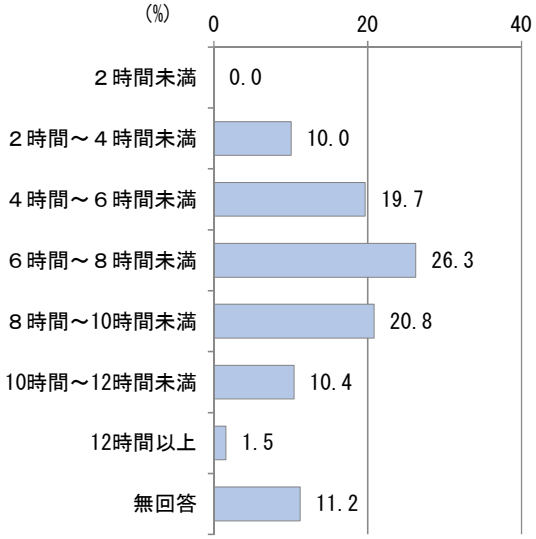
（回答者数＝259）



イ） １日あたり利用希望時間

「６時間～８時間未満」の割合が26.3%と最も高く、次いで「８時間～10時間未満」の割合が20.8%、「４時間～６時間未満」の割合が19.7%となっています。

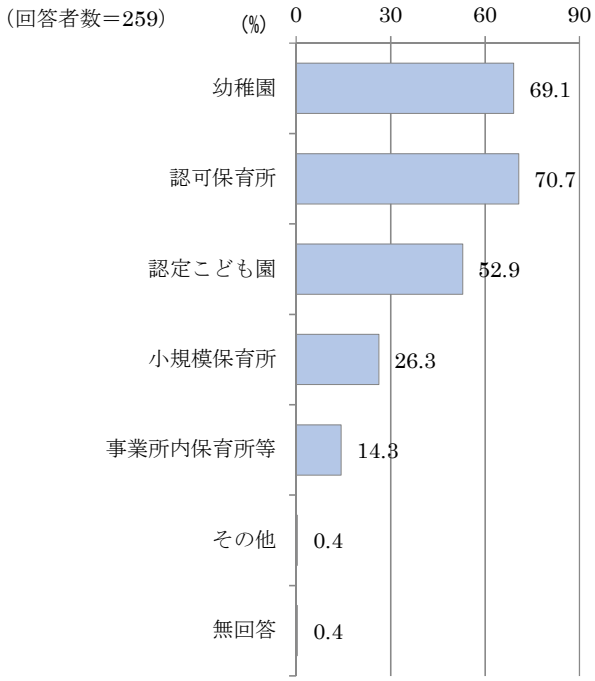
（回答者数＝259）



問 31 で「１　利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問31－１　利用したい施設として、あてはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

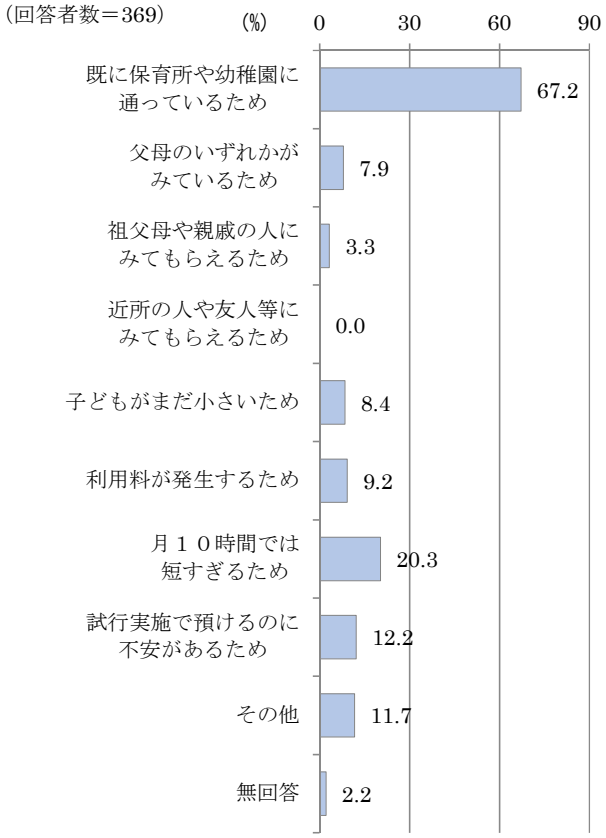
「認可保育所」の割合が70.7％と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が69.1％、「認定こども園」の割合が52.9％となっています。



問31で「2 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問31－２　利用したいと思わない理由は何ですか。あてはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

「既に保育所や幼稚園に通っているため」の割合が67.2％と最も高く、次いで「月10時間では短すぎるため」の割合が20.3％、「施行実施で預けるのに不安があるため」の割合が12.2％となっています。

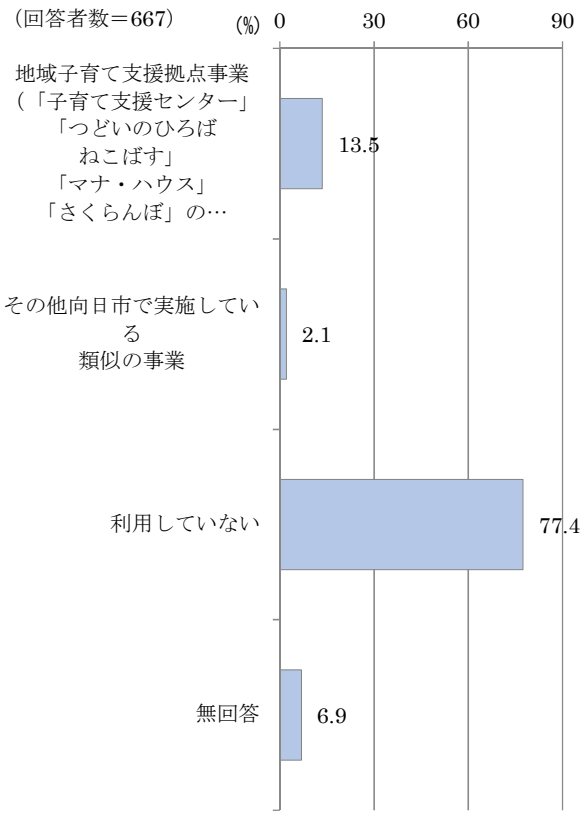


（７）お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問32　お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（※）を利用していますか。次の中から、利用されているものに○をつけてください（複数回答可）。利用されている場合は、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。利用しておられない場合は、その理由に○をつけてください（複数回答可）。

※親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報を受けたりする場で「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています。

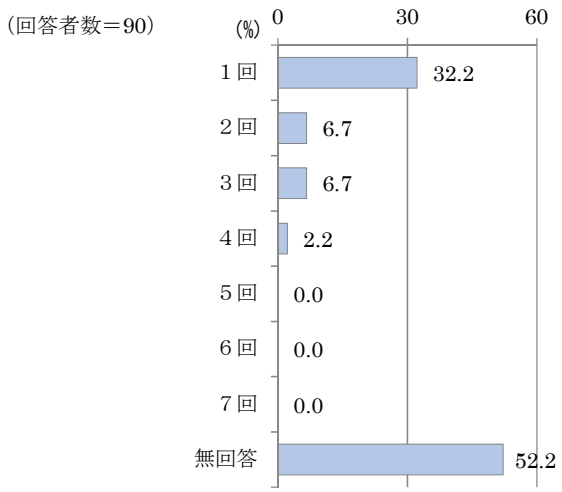
「地域子育て支援拠点事業（「子育て支援センター」「つどいのひろば ねこばす」「マナ・ハウス」「さくらんぼ」など）」の割合が13.5%、「その他向日市で実施している類似の事業」の割合が2.1%となっています。「利用していない」の割合は77.4%となっています。



ア）地域子育て支援拠点事業（「子育て支援センター」「つどいのひろば ねこばす」「マナ・ハウス」「さくらんぼ」など）

①１週あたり利用回数

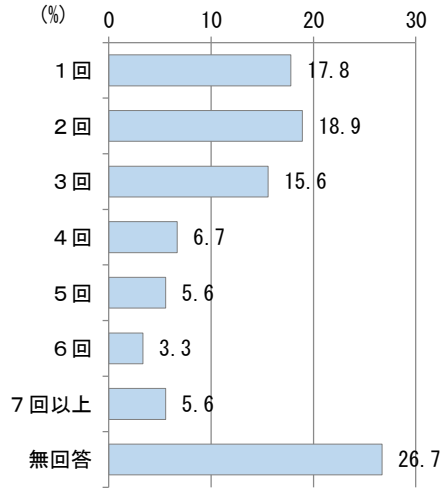
「１回」の割合が32.2%と最も高くなっています。



（回答者数＝90）

②１か月あたり利用回数

「２回」の割合が18.9％と最も高く、次いで「１回」の割合17.8％となっています。

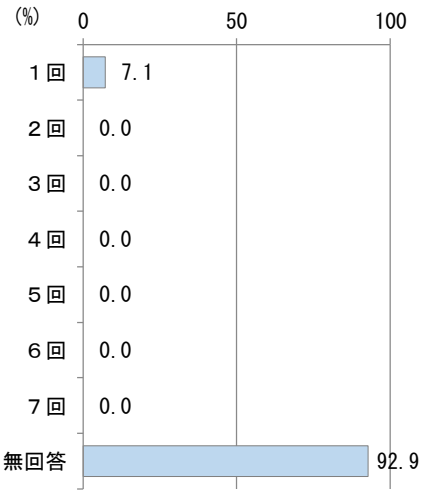


イ）その他向日市で実施している類似の事業

（回答者数＝14）

①１週あたり利用回数

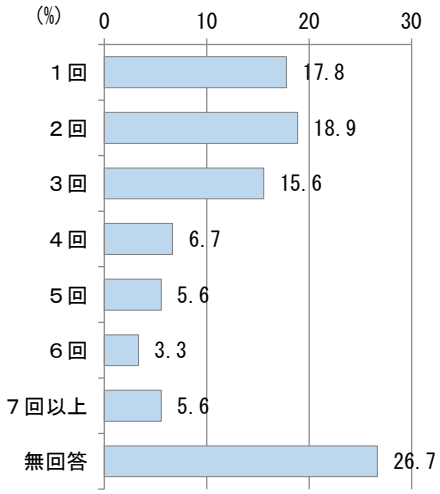
「１回」の割合が7.1％と最も高くなっています。



（回答者数＝90）

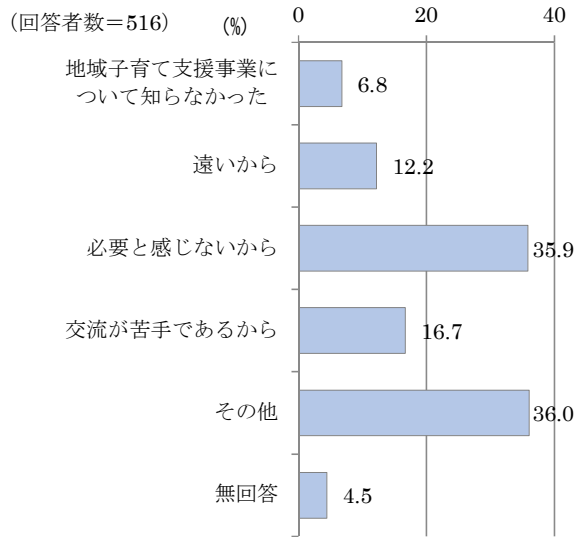
②１か月あたり利用回数

「２回」の割合が18.9％と最も高く、次いで「１回」の割合17.8％となっています。



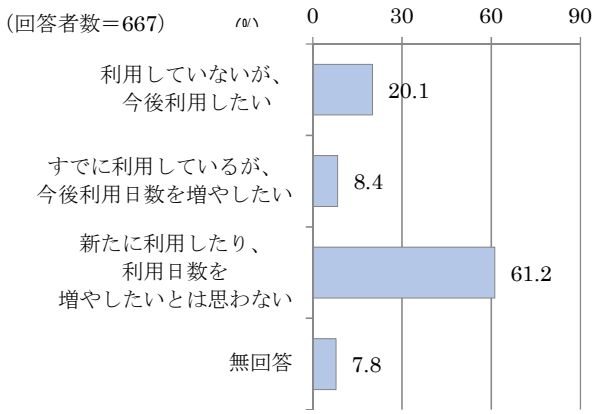
ウ）利用していない理由

「必要と感じないから」の割合が35.9%と最も高く、次いで「交流が苦手であるから」の割合が16.7%となっています。



問33　問32のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。あてはまる番号に○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

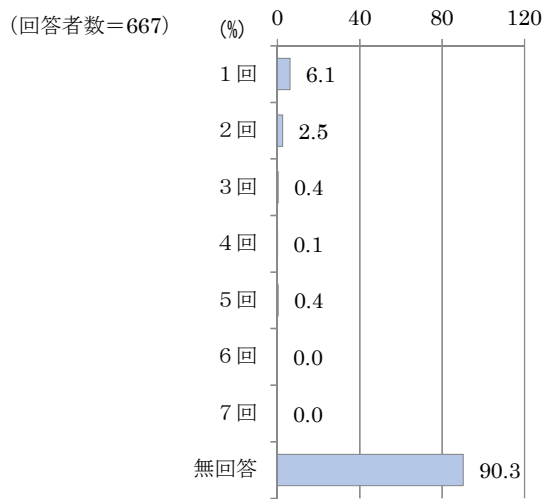
「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が61.2%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が20.1%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が8.4%となっています。



１　利用していないが、今後利用したい

ア　１週あたりでの希望利用回数

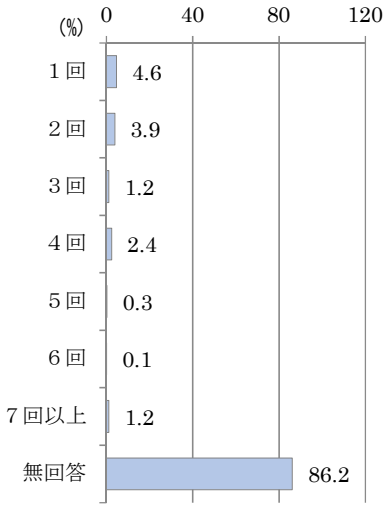
「1回」の割合が6.1%と最も高くなっています。



イ　１か月あたりでの希望利用回数

「1回」の割合が4.6％と最も高くなっています。

（回答者数＝667）

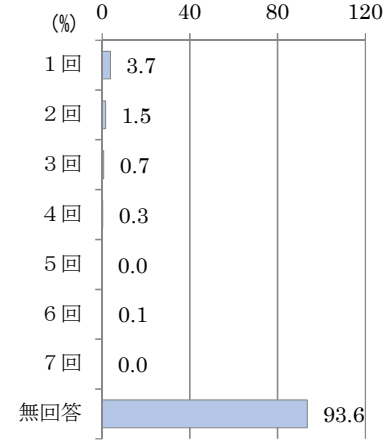


２　すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

ア　１週あたりでの希望利用回数

「1回」の割合が3.7％と最も高くなっています。

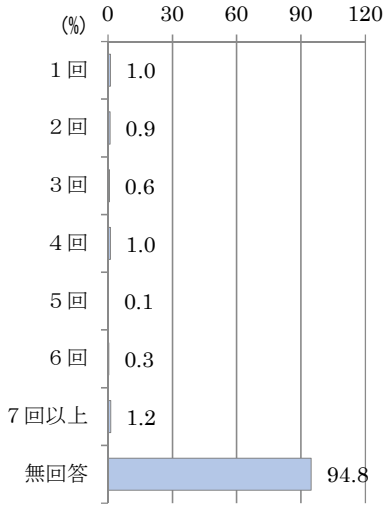
（回答者数＝667）



イ　１か月あたりでの希望利用回数

「７回以上」の割合が1.2％と最も高くなっています。

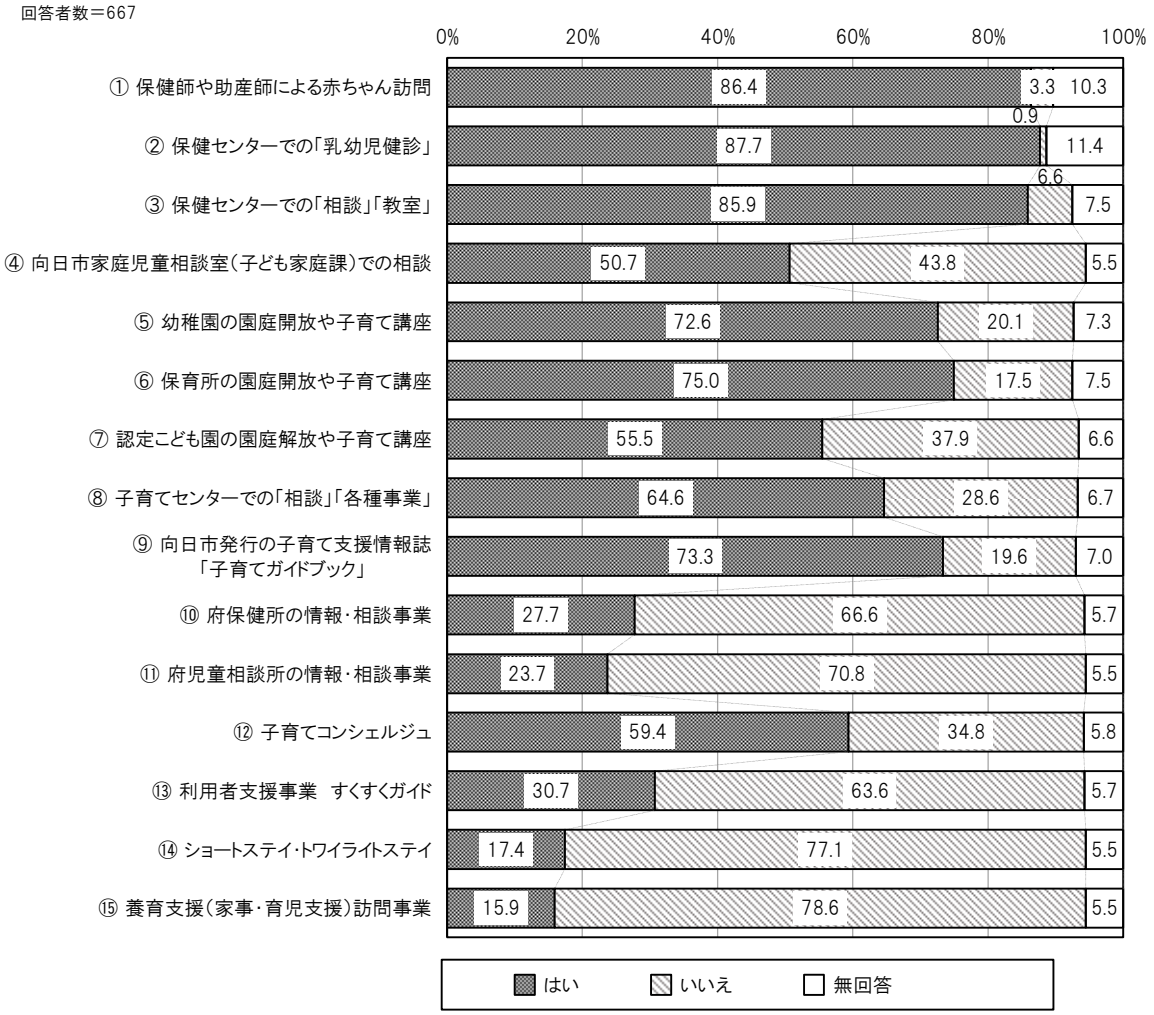
（回答者数＝667）



問34　下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑮の事業ごとに、Ａ～Ｃのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

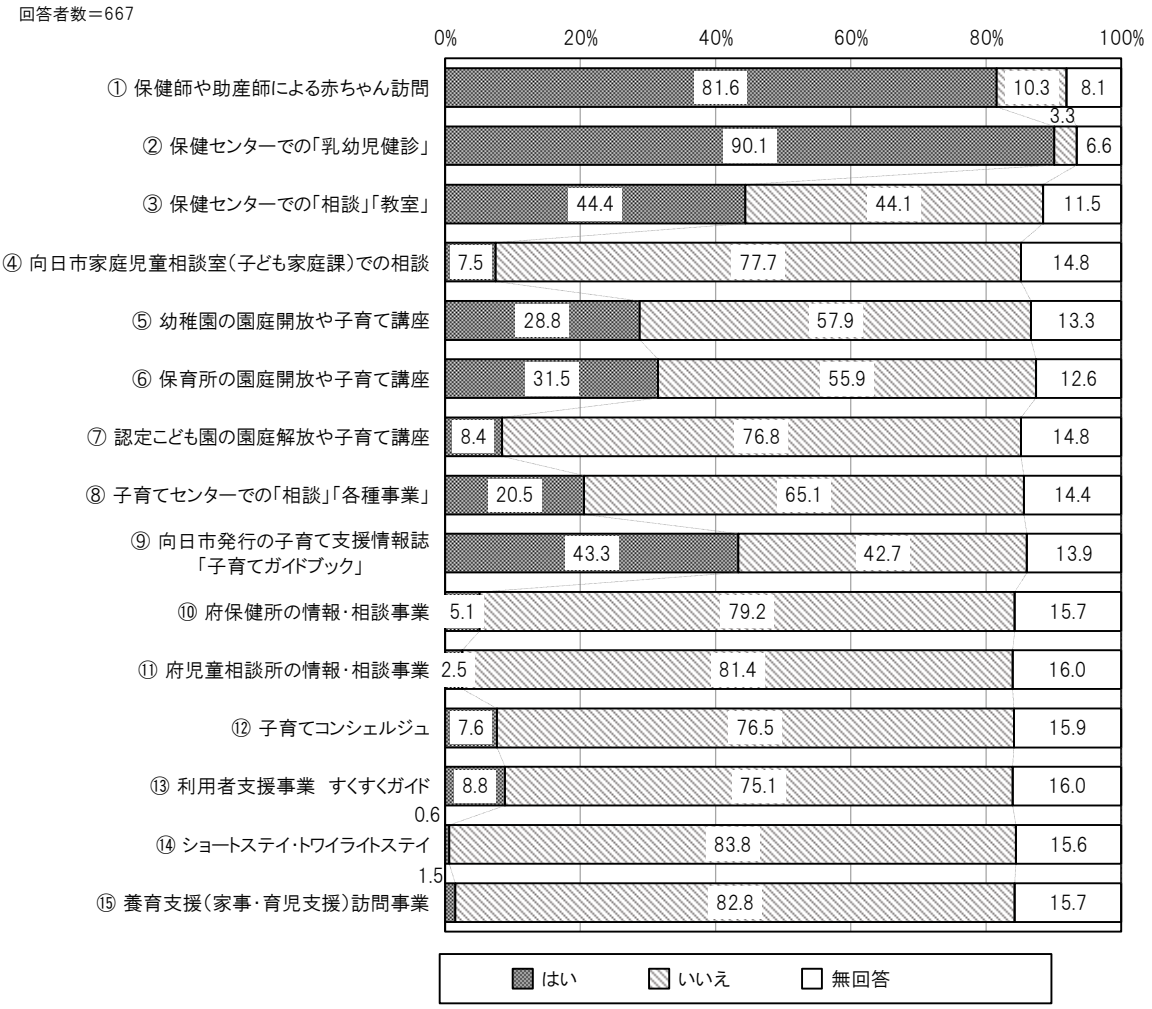
A　知っている

事業の認知度について、知っている人の割合が「②保健センターでの「乳幼児健診」」で 87.7%と最も高く、次いで「①保健師や助産師による赤ちゃん訪問」の割合が 86.4%、「③保健センターでの「相談」「教室」」の割合が 85.9%となっています。



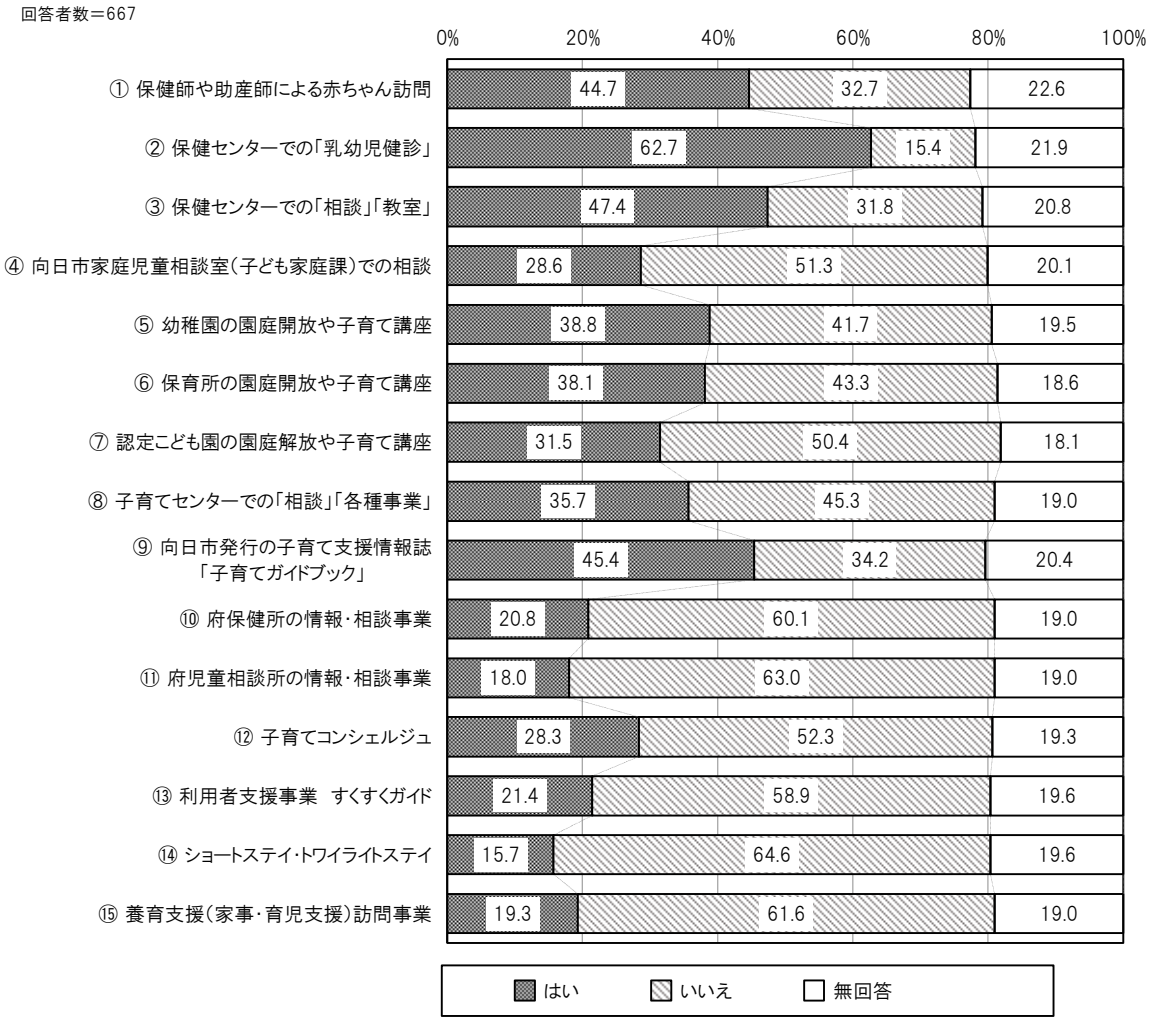
B　これまで利用したことがある

事業の利用状況について、これまでに利用したことがある人の割合が「②保健センターでの「乳幼児健診」」で90.1%と最も高く、次いで「①保健師や助産師による赤ちゃん訪問」の割合が81.6%、「③保健センターでの「相談」「教室」」の割合が44.4%となっています。



C　今後利用したい

事業の今後の利用希望について、今後利用したい人の割合が「②保健センターでの「乳幼児健診」」で 62.7%と最も高く、次いで「③保健センターでの「相談」「教室」」の割合が 47.4%、「⑨向日市発行の子育て支援情報誌「子育てガイドブック」の割合が 45.4%となっています。



（８）お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育の利用希望について

問35　お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の利用希望はありますか。（一時的な利用は除きます）希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）０９時～１７時のように２４時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）
なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

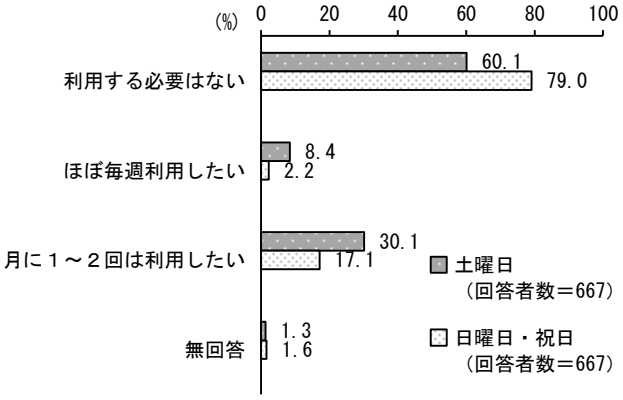
※教育・保育とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指し、親族・知人による預かりは含みません。

①　土曜日

「利用する必要はない」の割合が60.1％と最も高く、次いで「月に１～２回は利用したい」の割合が30.1％、「ほぼ毎週利用したい」の割合が8.4％となっています。

②　日曜・祝日

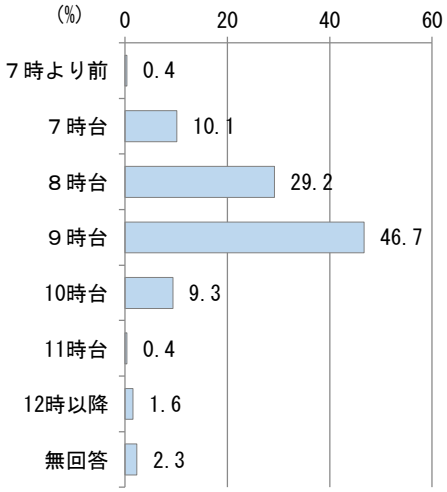
「利用する必要はない」の割合が79.0％と最も高く、次いで「月に１～２回は利用したい」の割合が17.1％、「ほぼ毎週利用したい」の割合が2.2％となっています。



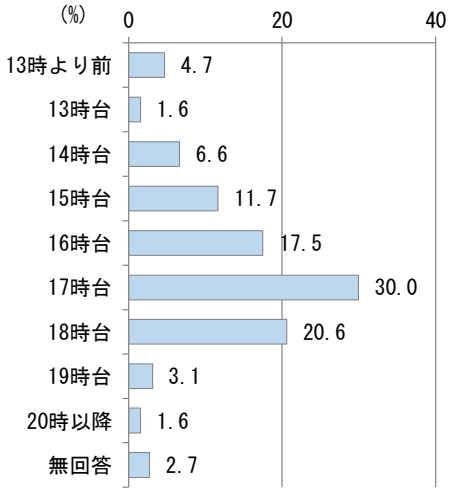
①土曜日　利用したい時間帯（開始時刻・終了時刻）

土曜日の開始時刻については、「９時台」の割合が46.7％と最も高くなっています。
終了時刻については、「17時台」の割合が30.0％と最も高くなっています。

（回答者数＝257）開始時刻



（回答者数＝257）終了時刻

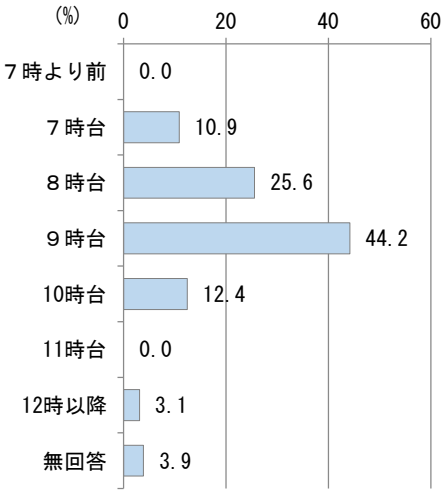


②日曜・祝日　利用したい時間帯（開始時刻・終了時刻）

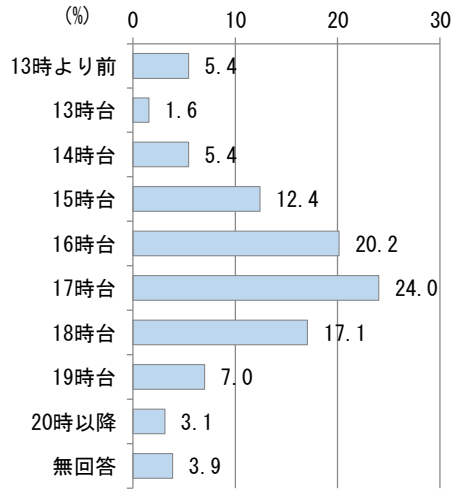
日曜日の開始時刻については、「９時台」の割合が44.2%と最も高くなっています。

終了時刻については、「17時台」の割合が24.0%と最も高くなっています。

（回答者数＝129）開始時刻



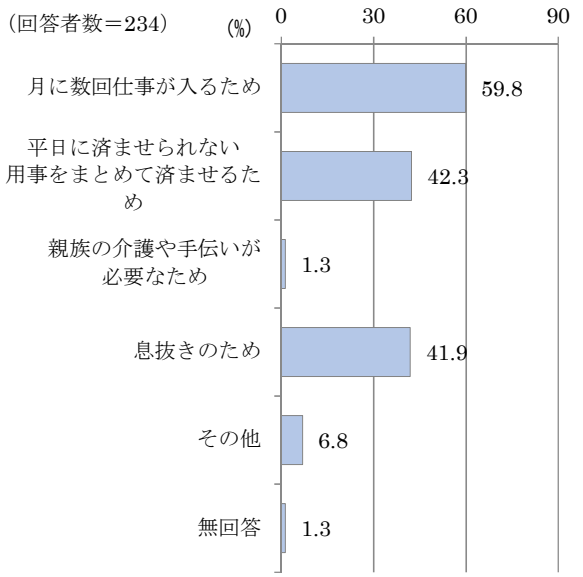
（回答者数＝129）終了時刻



問 35 の（１）または（２）で、「3　月に１～２回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問35－１　毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

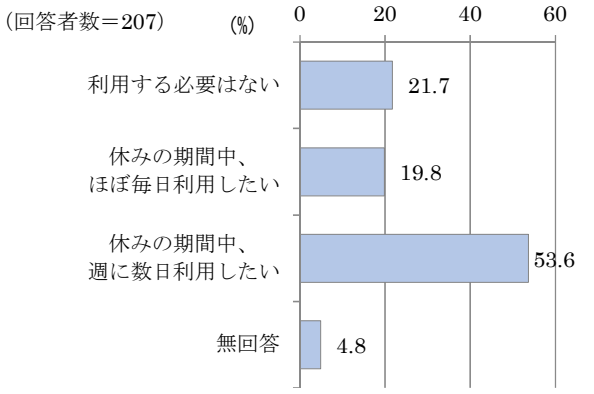
「月に数回仕事が入るため」の割合が59.8％と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が42.3％、「息抜きのため」の割合が41.9％となっています。



「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問36　お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）０９時～１７時のように２４時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）なお、これらの事業の利用には、利用者負担と実費が発生します。

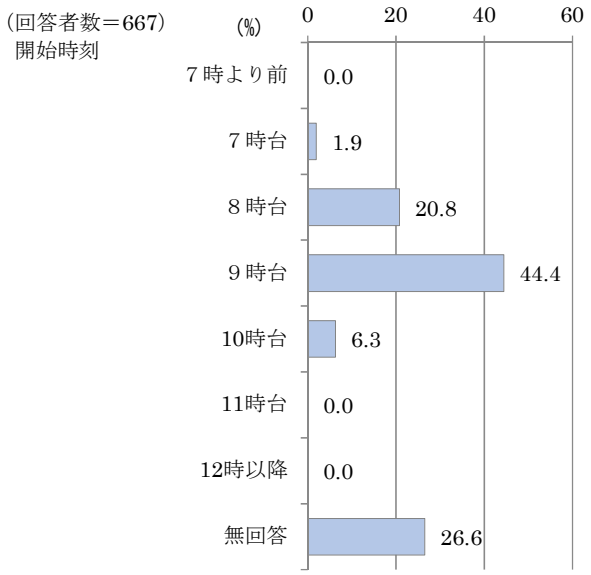
「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が53.6％と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が21.7％、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が19.8％となっています。

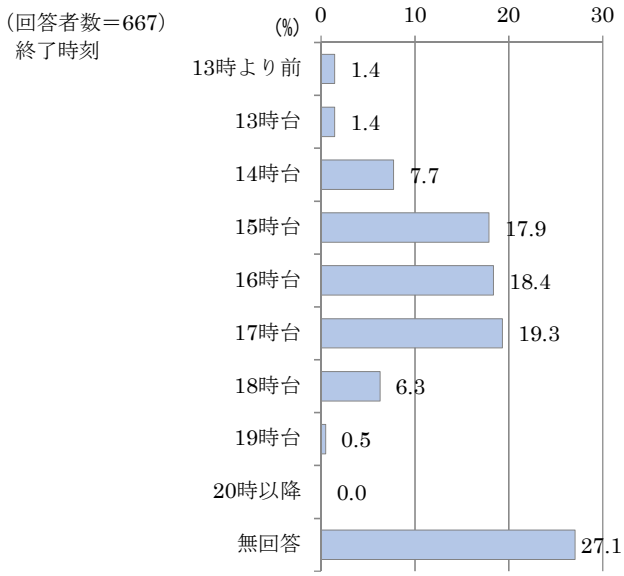


①「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」（開始時刻・終了時刻）

開始時刻については「９時台」の割合が44.4%と最も高くなっています。

終了時刻については、「17時台」の割合が19.3%と最も高く、次いで「16時台」の割合が18.4%、「15時台」の割合が17.9%となっています。

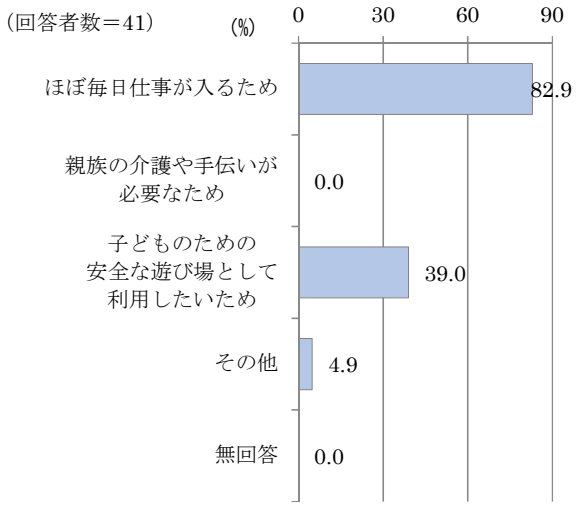




問36で、「２　ほぼ毎日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問36－１　ほぼ毎日利用したい理由は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

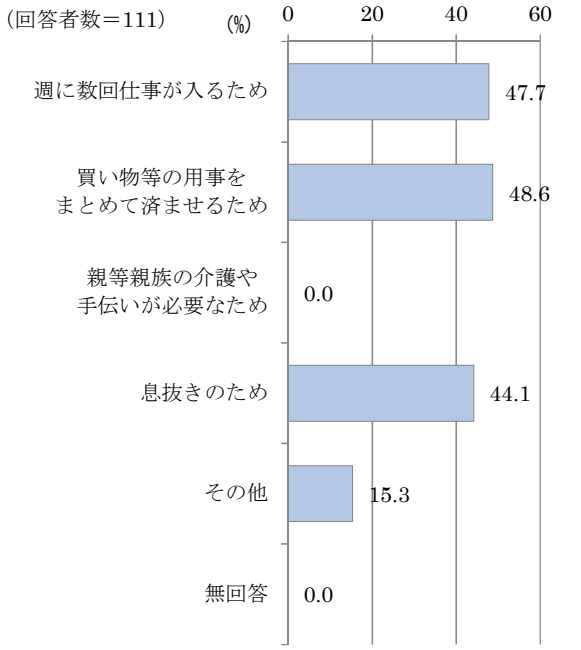
「ほぼ毎日仕事が入るため」の割合が82.9%と最も高く、次いで「こどものための安全な遊び場として利用したいため」の割合が39.0%、「その他」の割合が4.9%となっています。



問36で、「３　週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問36－２　毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

「買い物等の用事をまとめて済ませるため」の割合が 48.6%と最も高く、次いで「週に数回仕事が入るため」の割合が47.7%、「息抜きのため」の割合が 44.1%となっています。

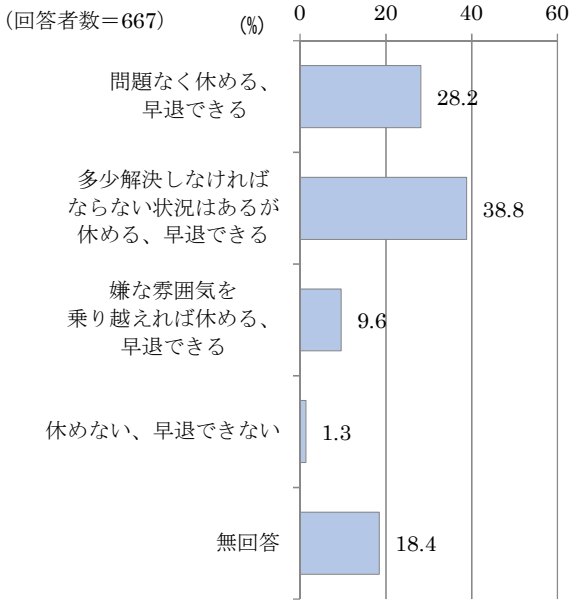


（９）お子さんの病気の際の対応について
（平日の教育・保育を利用する方のみ）

平日に幼稚園、保育所等に通っていると答えた保護者の方（問 18 で１に○をつけた方）にうかがいます。

問37　こどもが病気の際、それを理由に仕事を休めたり、早退できますか。あてはまる番号に○をつけてください。

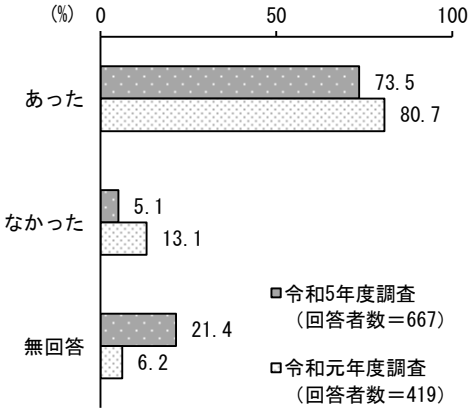
「多少解決しなければならない状況はあるが休める、早退できる」の割合が38.8%と最も高く、次いで「問題なく休める、早退できる」の割合が28.2%、「嫌な雰囲気を乗り越えれば休める、早退できる」の割合が9.6%となっています。



問38　この１年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園、保育所などを休んだことはありますか。

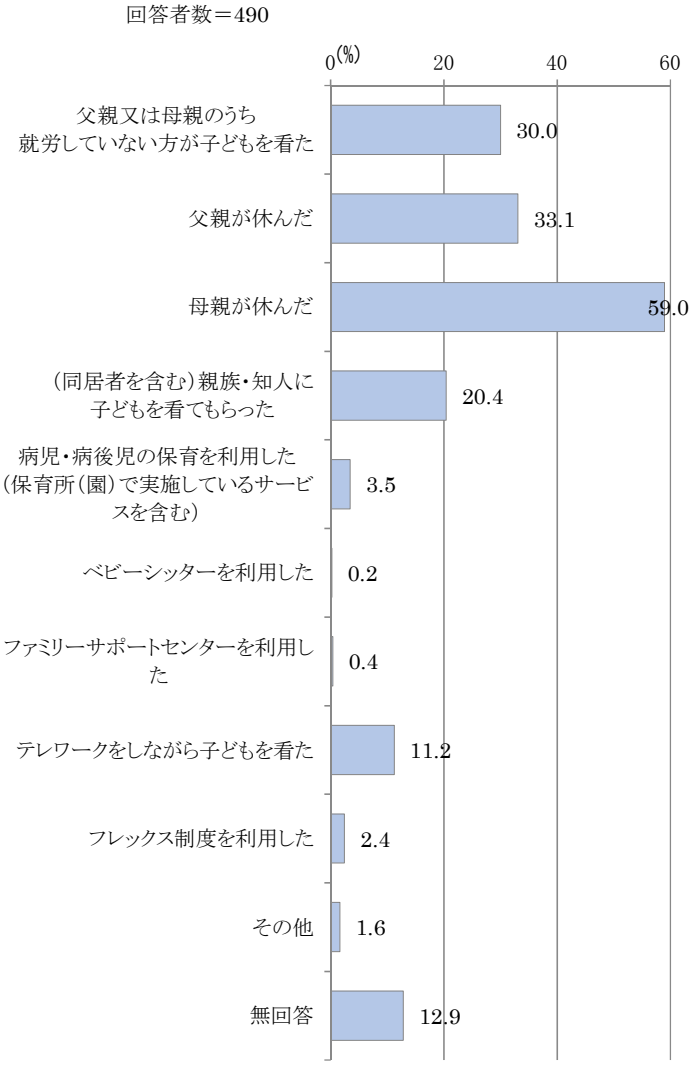
「あった」の割合が73.5%、「なかった」の割合が5.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「あった」の割合が減少しています。



問38－１　お子さんが病気やけがで幼稚園、保育所などを休んだ場合に、この１年間に行った対応としてあてはまる記号に○をつけ、それぞれのおおよその日数も□内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。数字は一枠に一字。）（複数回答可）

「母親が休んだ」の割合が59.0％と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が33.1％、「父親又は母親のうち就労していない方がこどもを看た」の割合が30.0％となっています。



【対応日数】

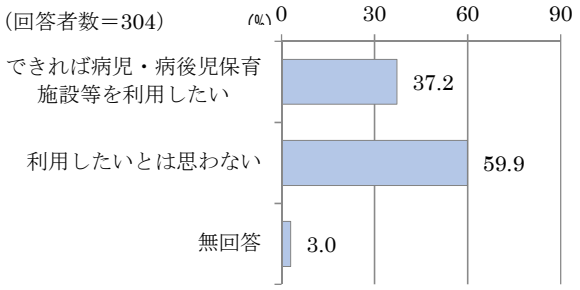
単位（%）

区分	回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日～10日	11日～15日	16日～20日	21日以上	無回答
(ｱ)父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た	147	0.7	2.0	8.2	0.7	9.5	31.3	6.8	15.6	13.6	11.6
(ｲ)父親が休んだ	162	9.9	16.7	19.1	1.2	21.6	17.3	3.1	1.2	0.6	9.3
(ｳ)母親が休んだ	289	2.8	3.8	6.9	2.1	14.9	32.9	11.1	7.3	9.0	9.3
(ｴ)(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった	100	10.0	12.0	15.0	4.0	23.0	18.0	4.0	5.0	2.0	7.0
(ｵ)病児・病後児の保育を利用した（保育所(園)で実施しているサービスを含む）	17	5.9	11.8	5.9	11.8	23.5	17.6	5.9	0.0	5.9	11.8
(ｶ)ベビーシッターを利用した	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
(ｷ)ファミリーサポートセンターを利用した	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
(ｸ)テレワークをしながら子どもを看た	55	1.8	14.5	7.3	3.6	29.1	20.0	5.5	1.8	1.8	14.5
(ｹ)フレックス制度を利用した	12	0.0	8.3	16.7	8.3	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0	41.7
(ｺ)その他	8	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5

問38－１で「イ」「ウ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

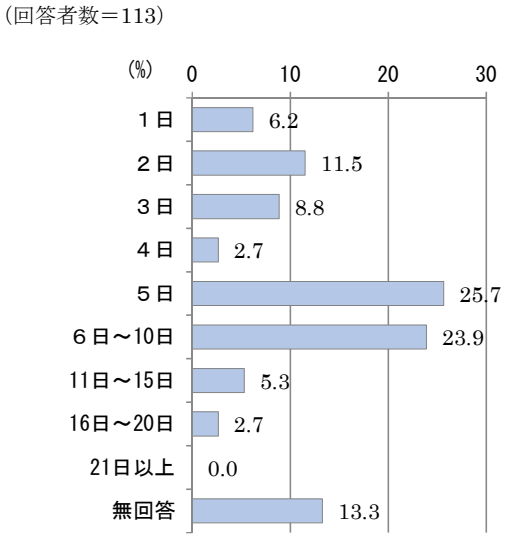
問38－２　その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号に○をつけ、日数においても□内に数字でご記入下さい。（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合は37.2%となっています。また、「利用したいと思わない」の割合は59.9%となっています。



病児・病後児保育施設等を利用したい日数

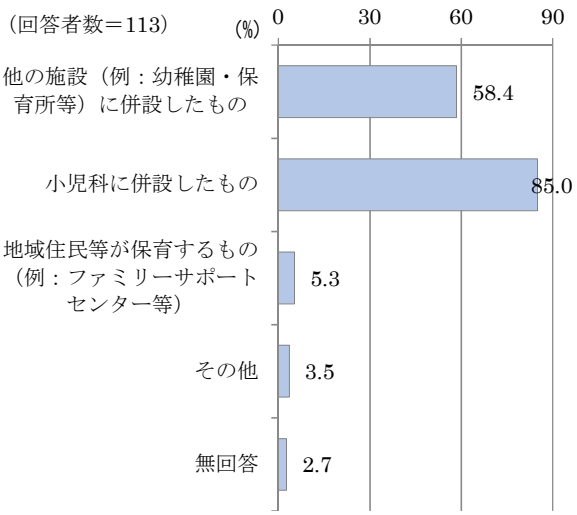
「５日」の割合が25.7%と最も高く、次いで「６日～10日」の割合が23.9%、「２日」の割合が11.5%となっています。



問38－２で「1できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問38－３　上記の目的でこどもを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

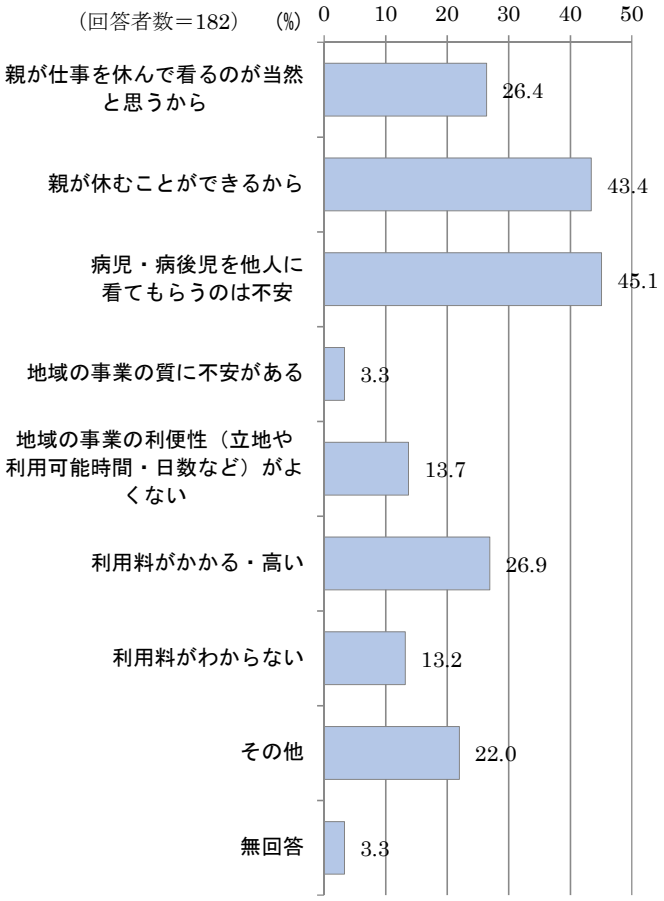
「小児科に併設したもの」の割合が85.0%と最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設したもの」の割合が58.4%、「地域住民等が保育するもの（例：ファミリーサポートセンター等）」の割合が5.3%となっています。



問38－２で「利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問38－４　そう思われる理由についてあてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

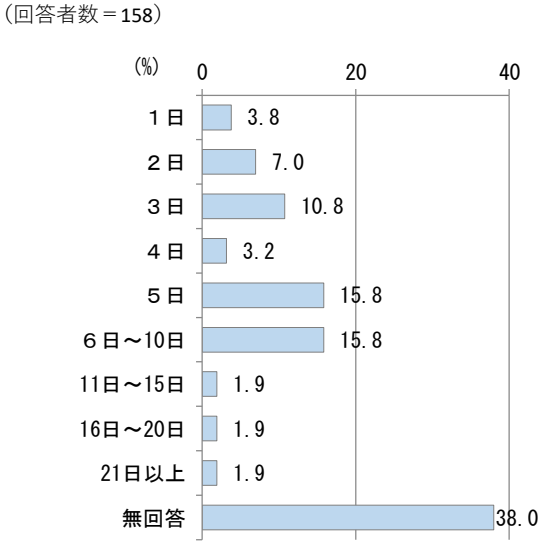
「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が45.1％と最も高く、次いで「親が休むことができるから」の割合が43.4％、「利用料がかかる・高い」の割合が26.9％となっています。



問38－１で「エ」から「コ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

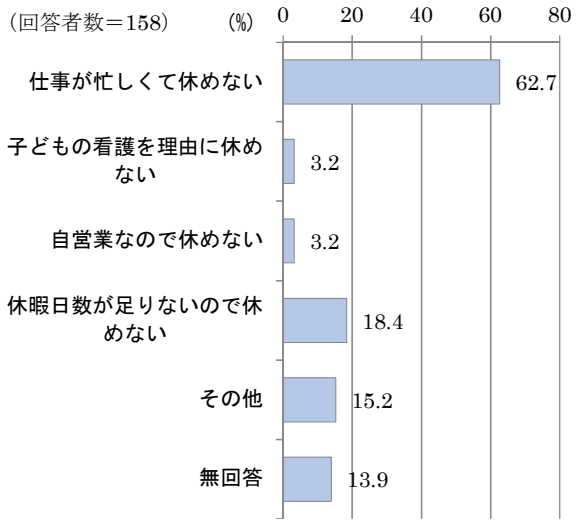
問38－５　その際、仕事が休めたら、何日仕事を休んで看たいと思われましたか。「エ」から「コ」の日数のうち仕事を休んで看たかったおおよその日数について数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「５日」、「６日～10日」の割合が15.8％と最も高く、次いで「３日」の割合が10.8％となっています。



問38－６　休んで看ることができなかった理由についてあてはまる番号に〇をつけてください。（複数回答可）

「仕事が忙しくて休めない」の割合が62.7％と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」の割合が18.4％、「その他」の割合が15.2％となっています。

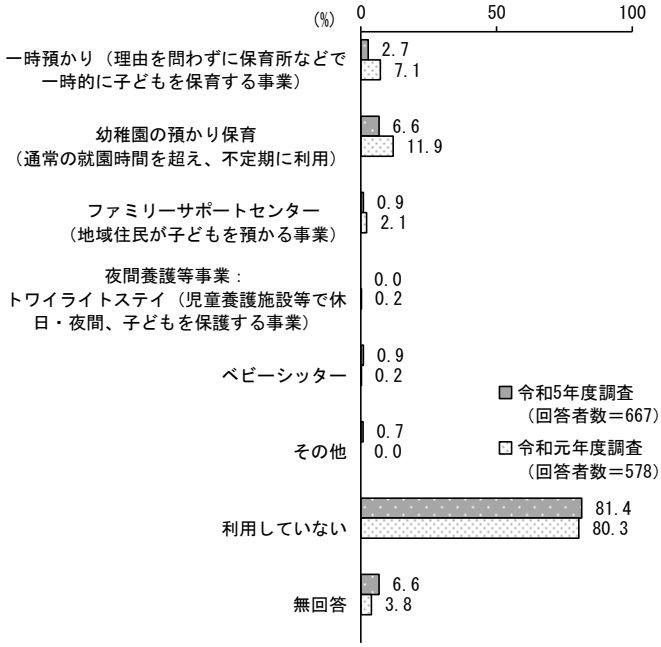


お子さんの不定期の教育・保育利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問39　お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気、不定期の就労など）で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号に○をつけ、１年間のおおよその利用日数も□内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）（複数回答可）

「利用していない」の割合が81.4％と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が6.6％、「一時預かり」の割合が2.7％となっています。

令和元年度調査と比較すると、「一時預かり」の割合が減少しています。



【利用している事業・日数】

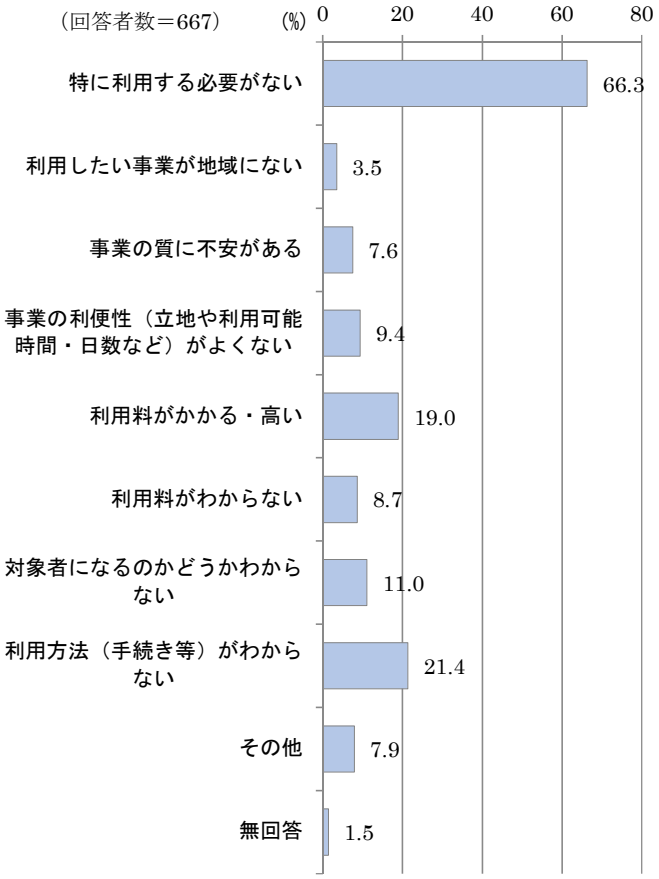
単位（%）

区分	回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日～10日	11日～15日	16日～20日	21日以上	無回答
① 一時預かり	18	11.1	0.0	11.1	5.6	0.0	22.2	5.6	0.0	27.8	16.7
② 幼稚園の預かり保育	44	0.0	2.3	11.4	0.0	11.4	27.3	18.2	6.8	20.5	2.3
③ ファミリーサポートセンタ	6	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
④ 夜間養護等事業:トワイライトステイ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑤ ベビーシッター	6	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0
⑥ その他	5	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0

問 39 で「７　利用していない」と回答した方にうかがいます。

問39－１　現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

「特に利用する必要がない」の割合が66.3％と最も高く、次いで「利用方法（手続き等）がわからない」の割合が21.4％、「利用料がかかる・高い」の割合が19.0％となっています。

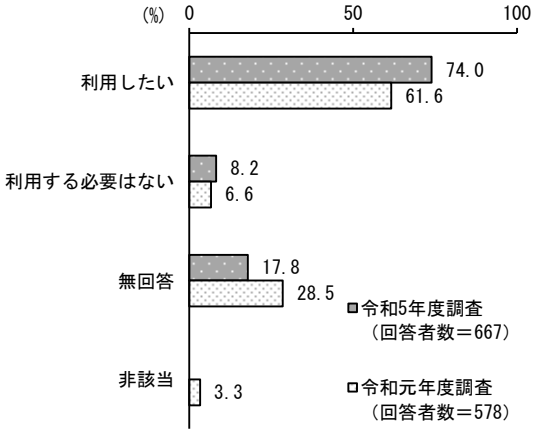


問39で１から６に○をつけた方にうかがいます。

問40　お子さんについて保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気、不定期の就労など）で、年間何日くらい事業利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号に○をつけ、おおよその必要な日数をご記入ください。（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）（複数回答可）なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が74.0％、「利用する必要はない」の割合が8.2％となっています。

令和元年度調査と比較すると、「利用したい」の割合が増加しています。

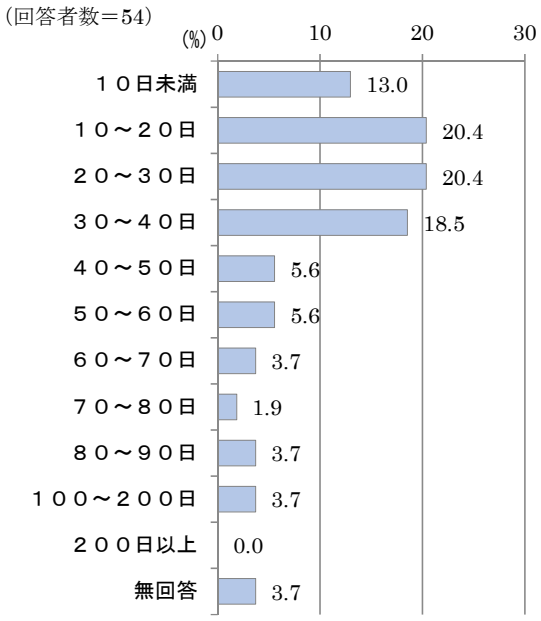


1　利用したい（年間合計日数）

「10～20日」、「20～30日」の割合が20.4％と最も高く、次いで「30～40日」の割合が18.5％、「10日未満」の割合が13.0％となっています。

利用したい事業の内訳日数について、「６日～10日」では、「私用、リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、こどもや親の通院等」「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が高くなっています。

また、「21日以上」では「不定期の就労」「その他」の割合が高くなっています。



【利用希望内訳日数】

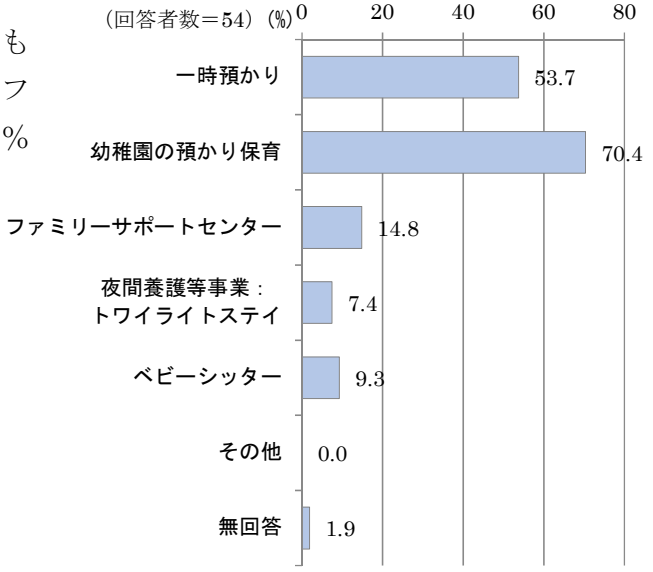
単位（%）

回答者数＝54	1日	2日	3日	4日	5日	6日～10日	11日～15日	16日～20日	21日以上	無回答
(ｱ)私用、リフレッシュ目的	0.0	7.4	5.6	0.0	5.6	24.1	11.1	5.6	16.7	24.1
(ｲ)冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	1.9	5.6	7.4	0.0	11.1	24.1	7.4	1.9	3.7	37.0
(ｳ)保護者や家族の育児疲れ・不安	1.9	3.7	5.6	0.0	3.7	14.8	5.6	1.9	3.7	59.3
(ｴ)不定期の就労	1.9	3.7	1.9	0.0	0.0	3.7	1.9	0.0	11.1	75.9
(ｵ)その他	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	3.7	92.6

問40で「１　利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問40－１　問35の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

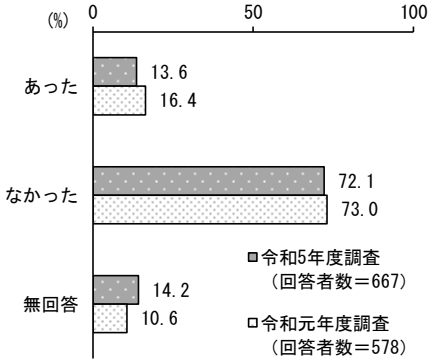
「幼稚園の預かり保育」の割合が70.4％と最も高く、次いで「一時預かり」の割合が53.7％、「ファミリー・サポート・センター」の割合が14.8％となっています。



問41　この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気、不定期の就労など）により、お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対応としてあてはまる番号に○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）（複数回答可）

「あった」の割合が13.6％、「なかった」の割合が72.1％となっています。

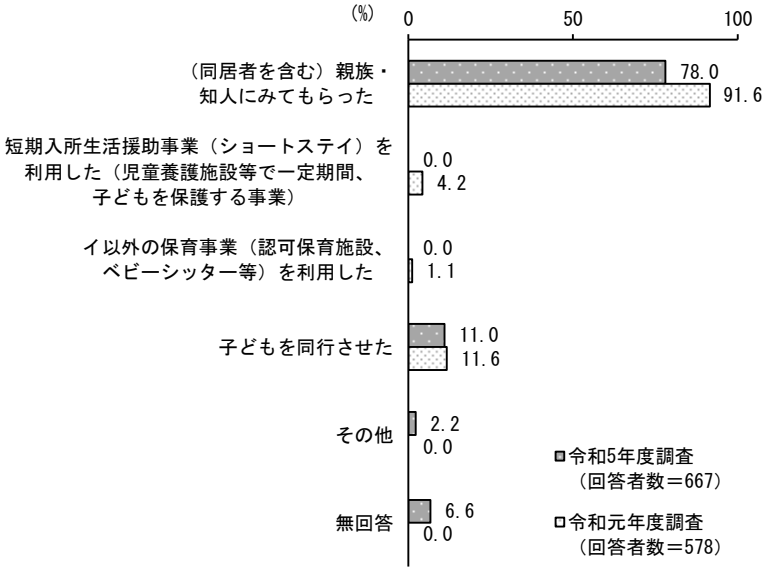
令和元年度調査と比較すると、「あった」の割合が僅かに減少しています。



1　あった（内訳）

「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が78.0%と最も高く、次いで「こどもを同行させた」の割合が11.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」の割合が減少しています。



【１年間の対応日数】

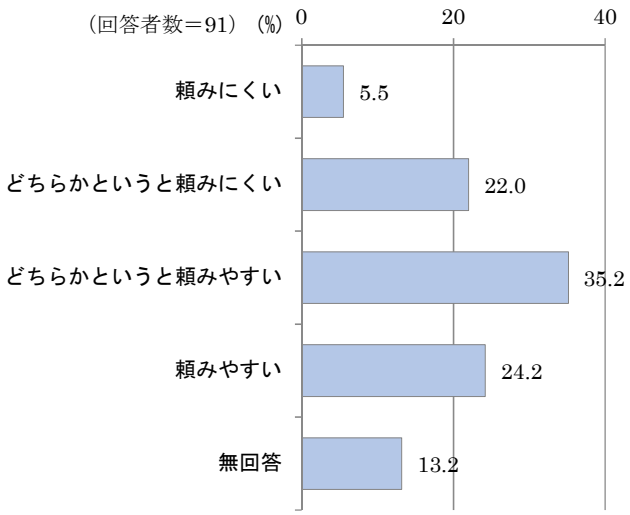
単位(%)

回答者数＝91	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊～10泊	11泊～15泊	16泊～20泊	21泊以上	無回答
ア(同居人含む)親族・知人にみてもらった	22.0	7.7	14.3	4.4	9.9	14.3	4.4	1.1	5.5	16.5
イ 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
ウ イ以外の保育事業(認可保育施設、ベビーシッター等)を利用した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
エ 仕方なく子どもたちを同行させた	5.5	3.3	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	90.1
オ その他	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	1.1	0.0	0.0	0.0	97.8

問41で「１　あった　ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

問41－１　その場合、頼みやすかったですか。あてはまる番号に○をつけてください。

「どちらかというと頼みやすい」の割合が35.2%と最も高く、次いで「頼みやすい」の割合が24.2%、「どちらかというと頼みにくい」の割合が22.0%となっています。



（10）宛名のお子さんが５歳以上である方に、放課後の過ごし方について

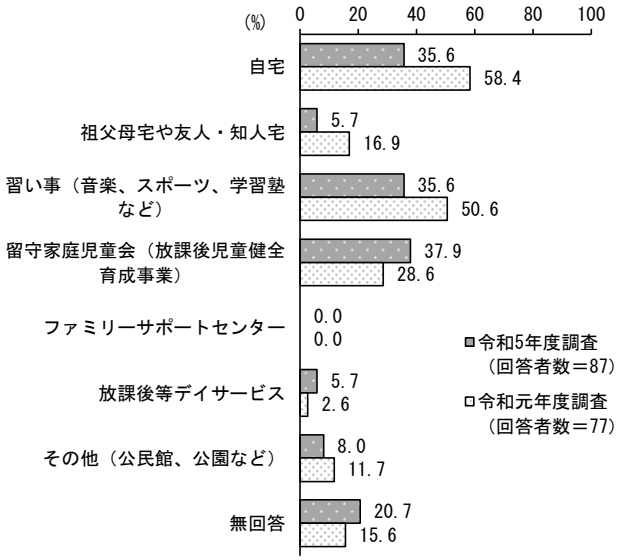
問42　お子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号に○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。（複数回答可）また、「留守家庭児童会」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）１７時　のように２４時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

①低学年

「留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）」の割合が37.9％と最も高く、次いで「自宅」、「習い事（音楽、スポーツ、学習塾など）」の割合が35.6％となっています。

令和元年度調査と比較すると、「自宅」、「祖父母宅や友人・知人宅」、「習い事（音楽、スポーツ、学習塾など）」の割合が減少しています。

一方、「留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）」の割合が増加しています。



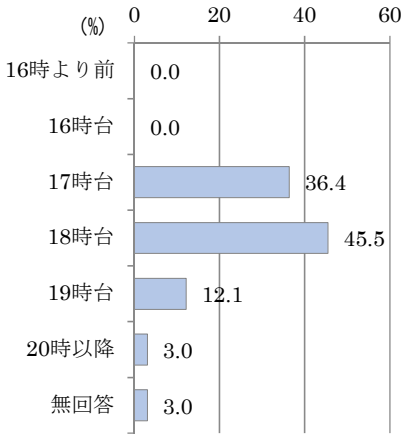
単位（%）

区分	回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	31	19.4	19.4	19.4	9.7	32.3	0.0	0.0	0.0
祖父母や友人・知人宅	31	6.5	3.2	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	87.1
習いごと（ピアノなどの教室、学習塾など）	31	45.2	38.7	16.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）	33	0.0	6.1	15.2	12.1	66.7	0.0	0.0	0.0
ファミリーサポートセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放課後等デイサービス	5	20.0	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0
その他	7	0.0	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0

（ア）留守家庭児童会の下校時からの利用希望時刻

（回答者数＝33）

「18時台」の割合が45.5%と最も高く、次いで「17時台」の割合が36.4%となっています。



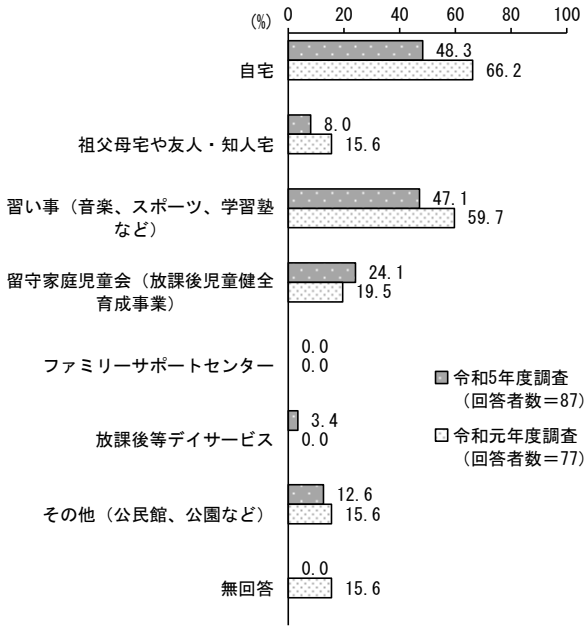
問43　お子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号に〇をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。（複数回答可）また、「留守家庭児童会」の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）１７時　のように２４時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）
※だいぶ先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

②高学年

「自宅」の割合が48.3%と最も高く、次いで「習い事（音楽、スポーツ、学習塾など）」の割合が47.1%、「留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）」の割合が24.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「自宅」、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が減少しています。

一方、「留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）」の割合が増加しています。



※令和元年度調査では、「放課後等デイサービス」の選択肢はありませんでした。

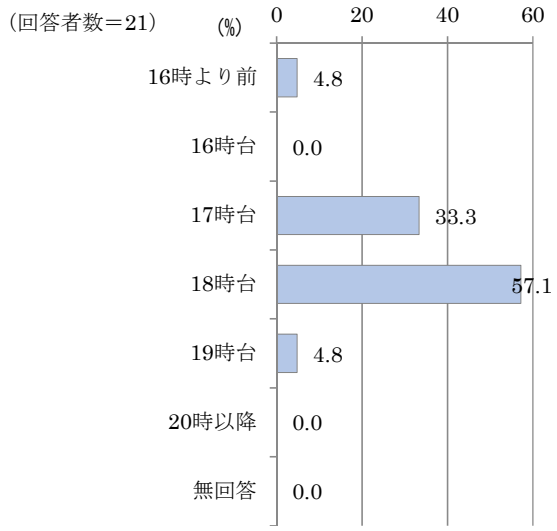
【放課後の過ごさせたい場所（小学校高学年）】

単位（%）

区分	回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	42	7.1	28.6	28.6	0.0	33.3	0.0	0.0	2.4
祖父母や友人・知人宅	7	57.1	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
習いごと（ピアノなどの教室、学習塾など）	41	12.2	58.5	22.0	2.4	0.0	0.0	0.0	4.9
留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）	21	0.0	14.3	23.8	9.5	52.4	0.0	0.0	0.0
ファミリーサポートセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放課後等デイサービス	3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
その他	11	9.1	45.5	36.4	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0

（ア）留守家庭児童会の下校時からの利用希望時刻

「18時台」の割合が57.1%と最も高く、次いで「17時台」の割合が33.3%となっています。



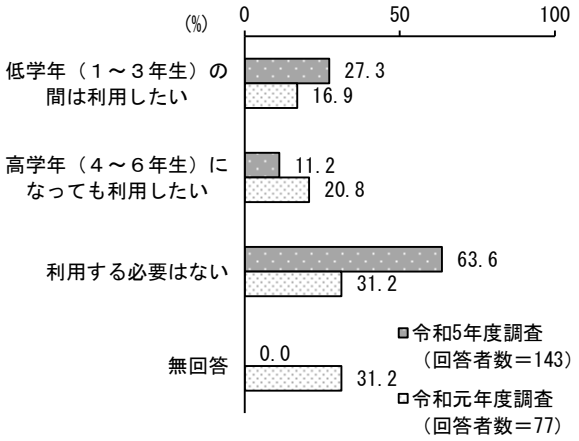
問44、問45問は、問42または問43で「４　留守家庭児童会」に○をつけた方にうかがいます。

問44　お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、留守家庭児童会の利用希望はありますか。事業の利用には、利用料がかかります。（１）（２）それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）０９時～１７時　のように２４時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）

（１）土曜日

「利用する必要はない」の割合が63.6％と最も高く、次いで「低学年（１～３年生）の間は利用したい」の割合が27.3％となっています。

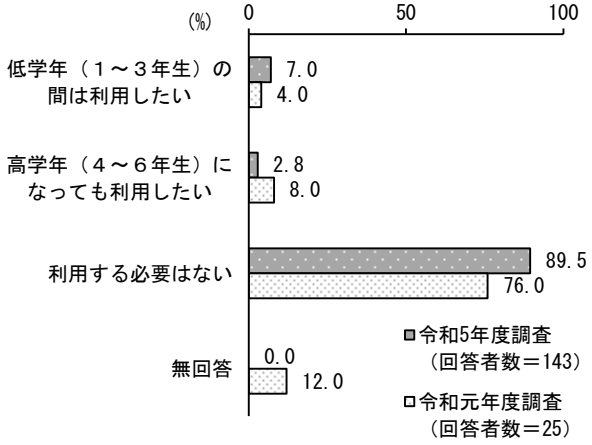
令和元年度調査と比較すると、「利用する必要はない」、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」の割合が増加しています。



（２）日曜・祝日

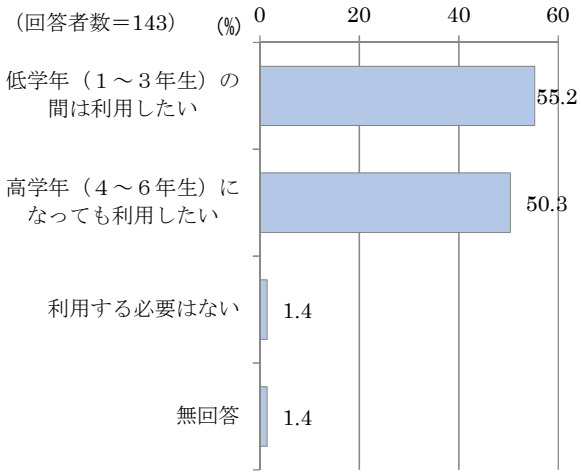
「利用する必要はない」の割合が89.5％と最も高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、「利用する必要はない」、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」の割合が増加しています。



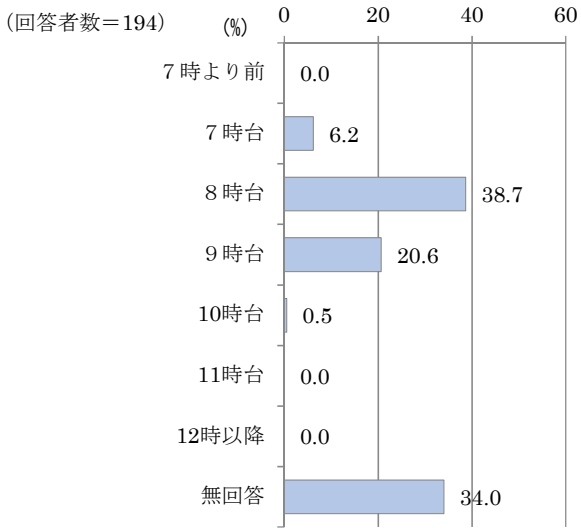
問45　お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の留守家庭児童会の利用希望はありますか。利用には、一定の利用料がかかります。あてはまる番号に○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）０９時～１７時　のように２４時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「低学年（１～３年生）の間は利用したい」の割合が55.2%と最も高く、次いで「高学年（４～６年生）になっても利用したい」の割合が50.3%、「利用する必要はない」の割合が1.4%となっています。



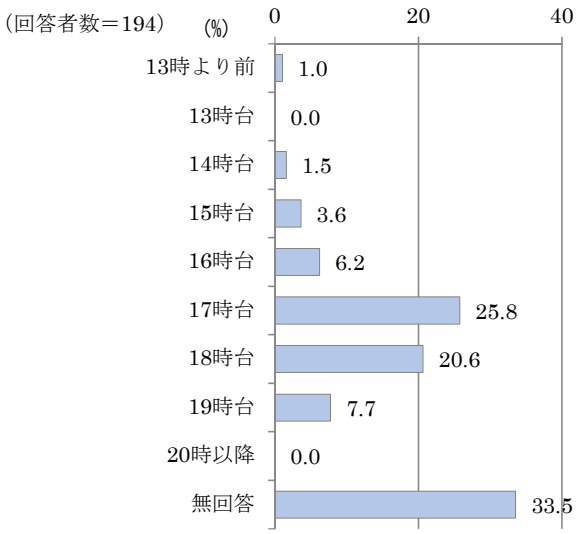
ア　希望利用開始時刻

「８時台」の割合が38.7%と最も高く、次いで「９時台」の割合が20.6%となっています。



イ　希望利用終了時刻

「17時台」の割合が25.8%と最も高く、次いで「18時台」の割合が20.6%、「19時台」の割合が7.7%となっています。



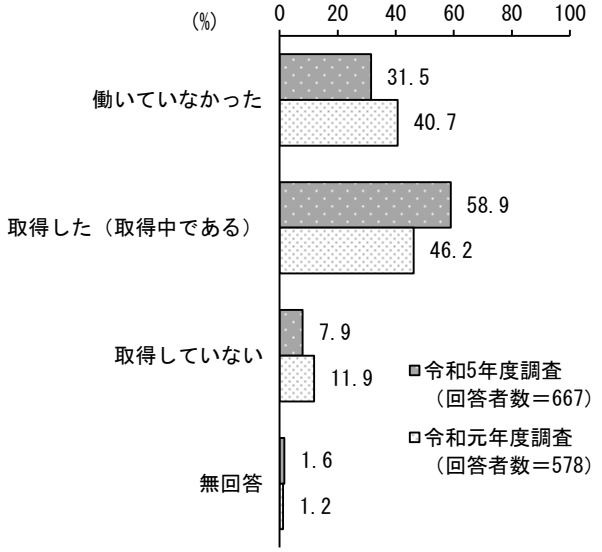
（11）育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問46　お子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号に○をつけ、該当する□内に数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

ア　母親（いずれかに○）

「取得した（取得中である）」の割合が58.9％と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が31.5％、「取得していない」の割合が7.9％となっています。

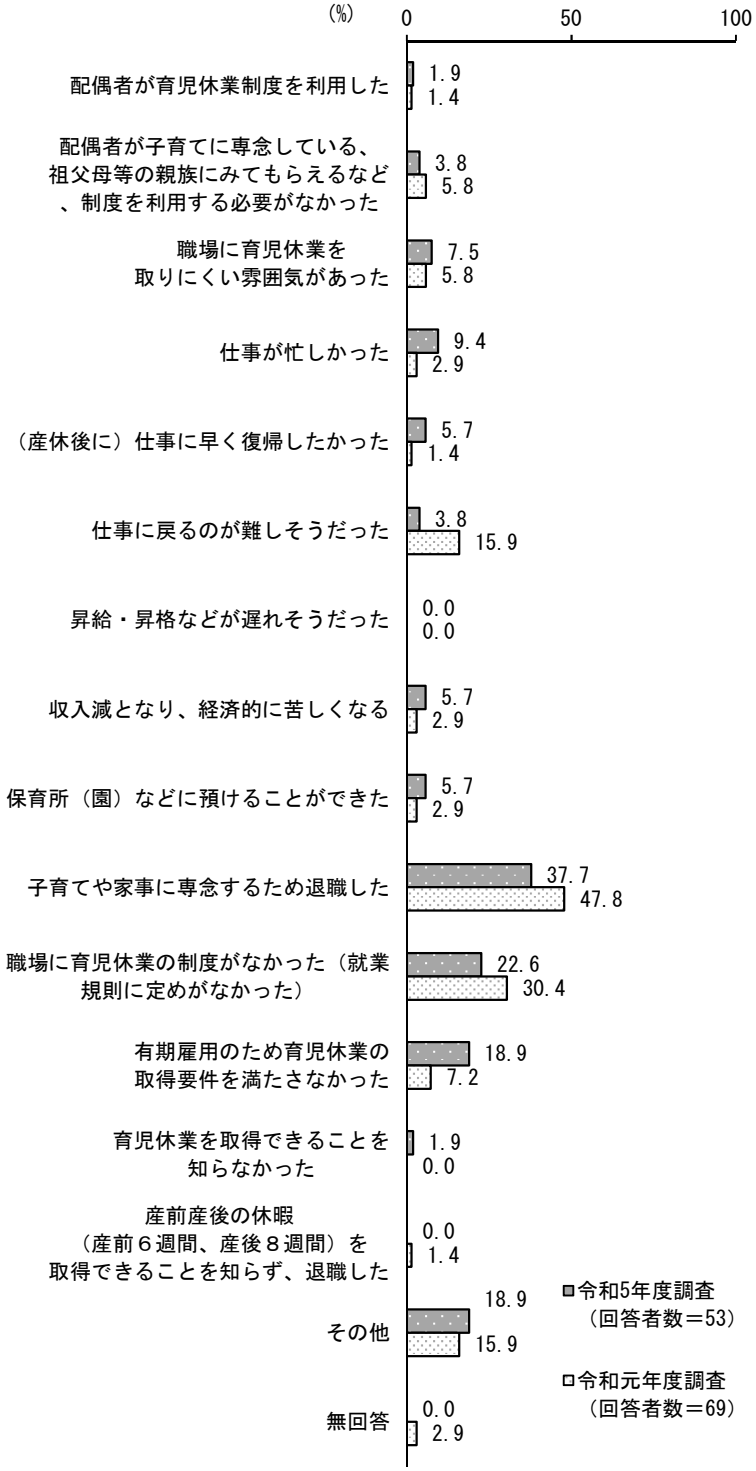
令和元年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。



（ア）取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が37.7%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が22.6%、「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」、「その他」の割合がそれぞれ18.9%となっています。

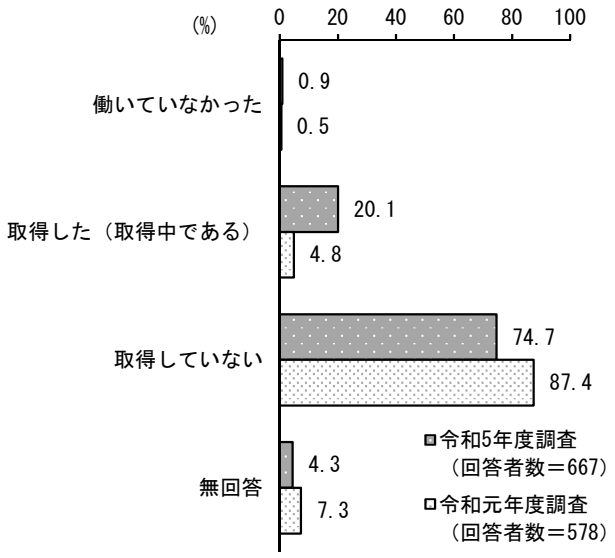
令和元年度調査と比較すると、「子育てや家事に専念するため退職した」「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が減少しています。



イ　父親（いずれかに〇）

「取得していない」の割合が74.7％と最も高くなっています。

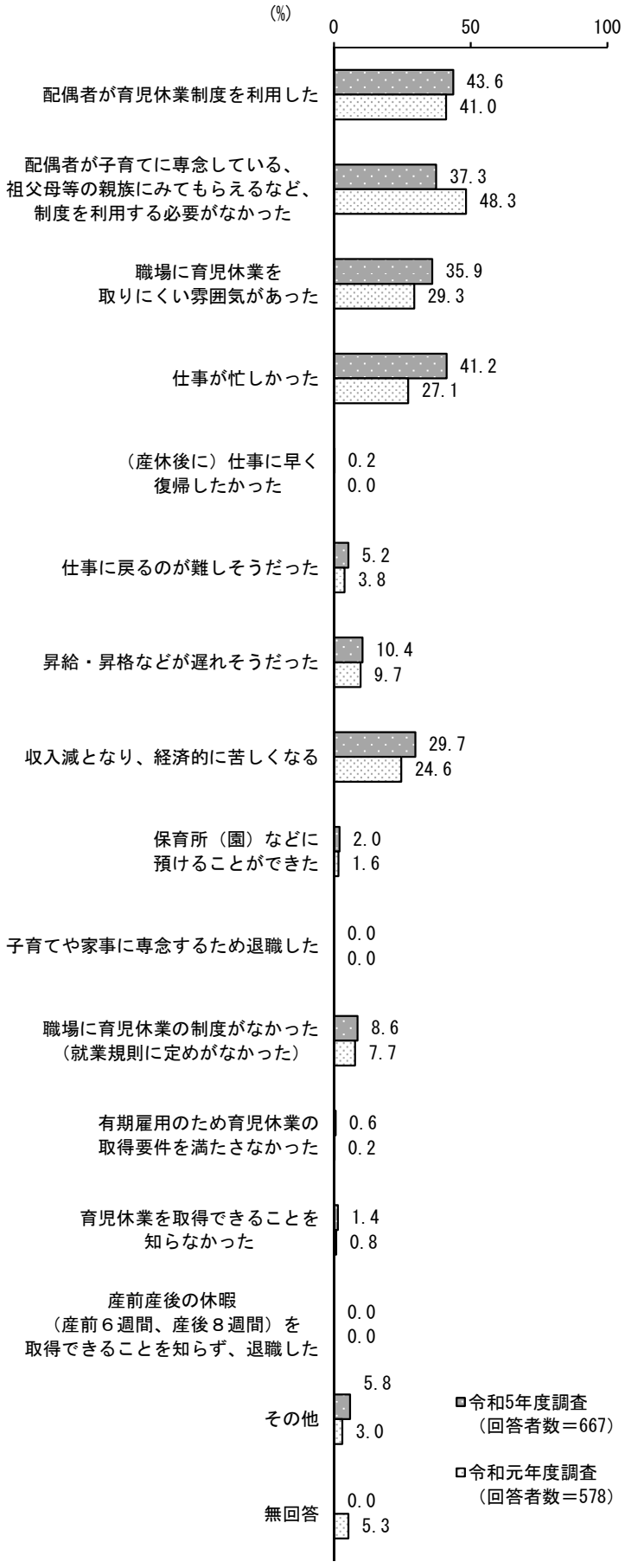
令和元年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。



（ア）取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が43.6％と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が41.2％、「配偶者が子育てに専念している、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が37.3％となっています。

令和元年度調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」の割合が増加しています。一方、「配偶者が子育てに専念している、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が減少しています。

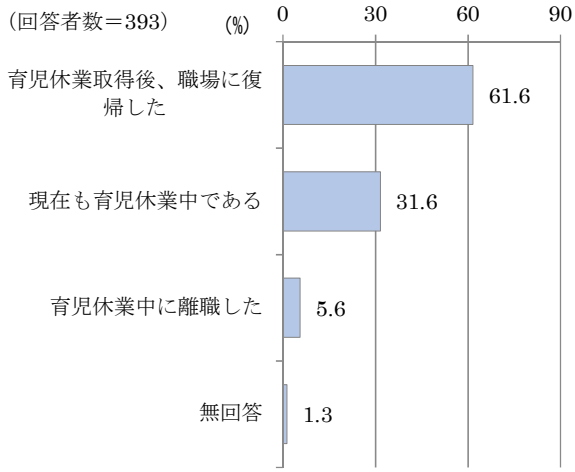


問46で「２取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

問46－１　育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

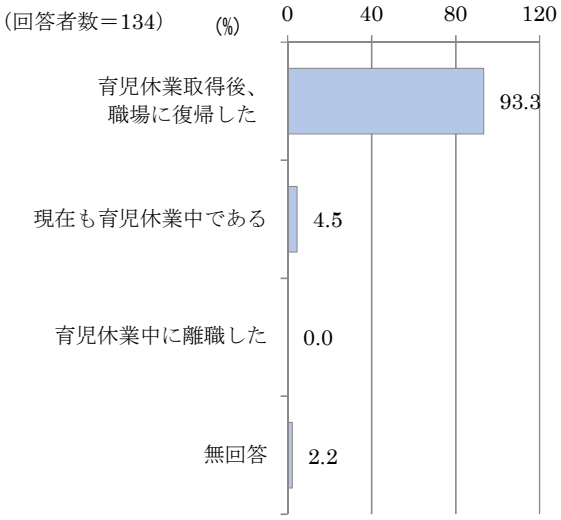
ア　母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が61.6%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が31.6%となっています。



イ　父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が93.3%と最も高くなっています。

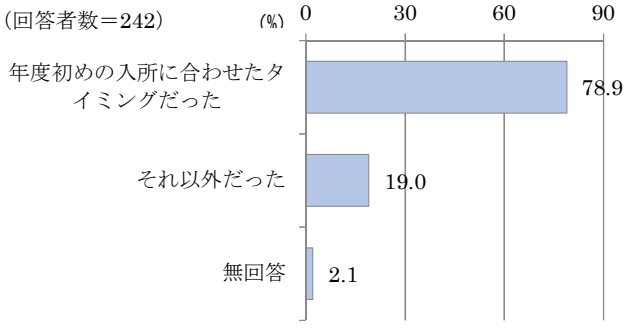


問46－１で「1育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問46－２　育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらかに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、１月～２月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「１」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「１」を選択してください。

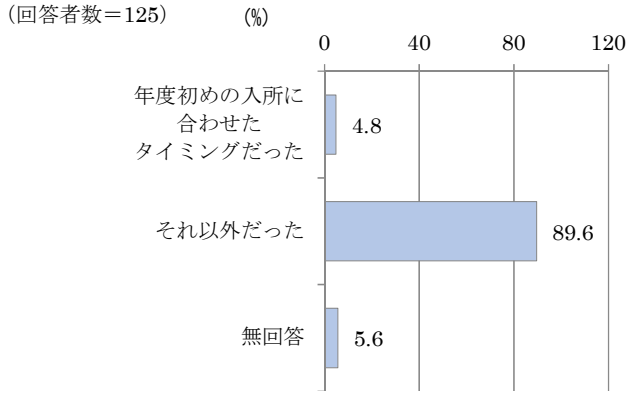
ア　母親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が78.9%、「それ以外だった」の割合が19.0%となっています。



イ　父親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が4.8%、「それ以外だった」の割合が89.6%となっています。

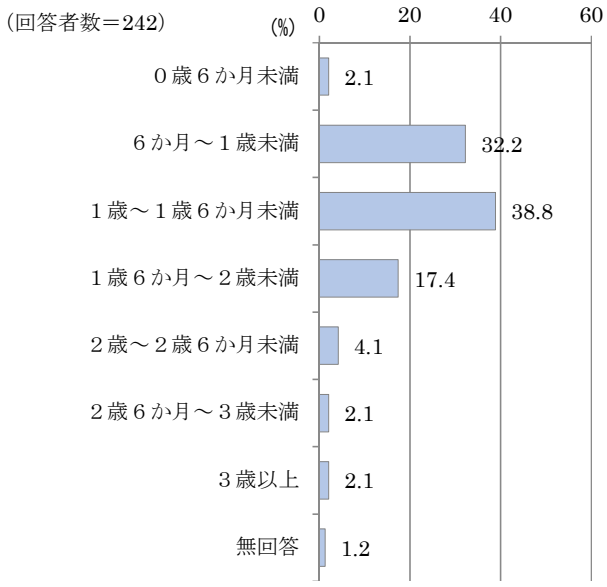


問46－３　育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）

ア　母親

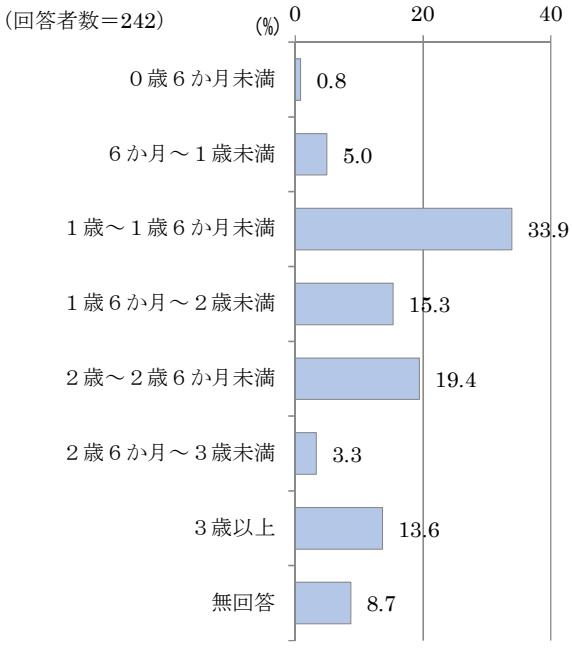
（ア）実際の取得期間

「１歳～１歳６か月未満」の割合が38.8%と最も高く、次いで「６か月～１歳未満」の割合が32.2%、「１歳６か月～２歳未満」の割合が17.4%となっています。



（イ）希望の取得期間

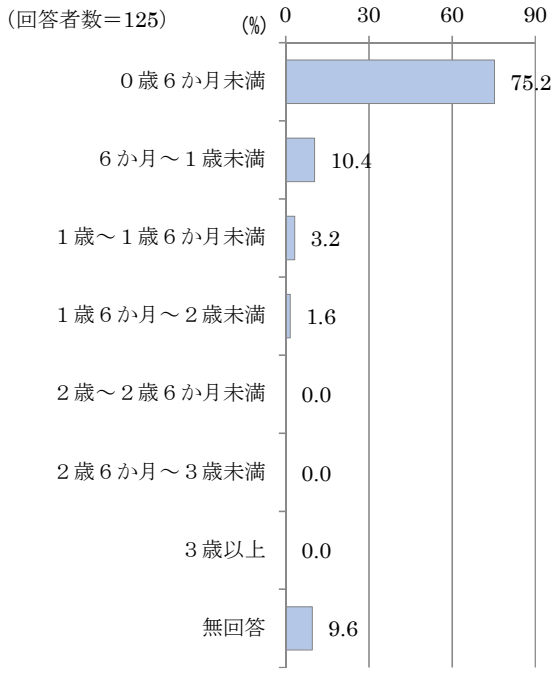
「１歳～１歳６か月未満」の割合が33.9%と最も高く、次いで「２歳～２歳６か月未満」の割合が19.4%、「１歳６か月～２歳未満」の割合が15.3%となっています。



イ　父親

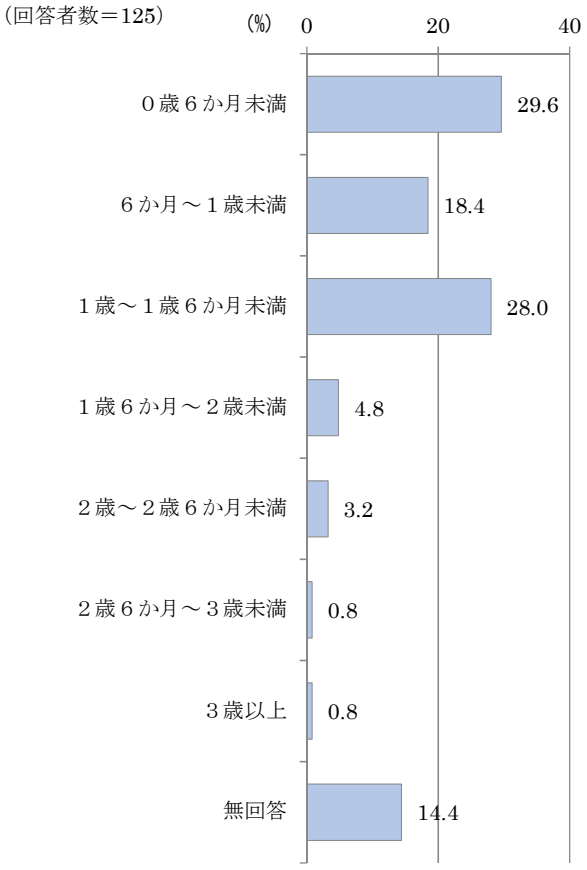
（ア）実際の取得期間

「０歳６か月未満」の割合が75.2％と最も高くなっています。



（イ）希望の取得期間

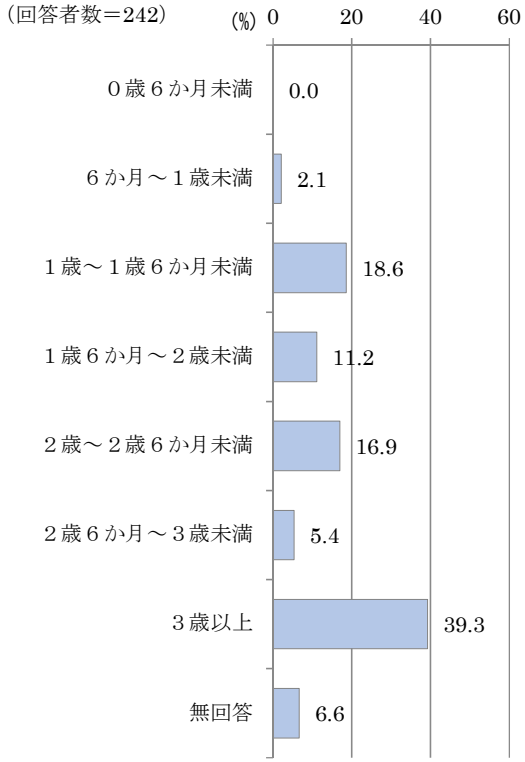
「０歳６か月未満」の割合が29.6％と最も高く、次いで「１歳～１歳６か月未満」の割合が28.0％、「６か月～１歳未満」の割合が18.4％となっています。



問46－４　お勤め先に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

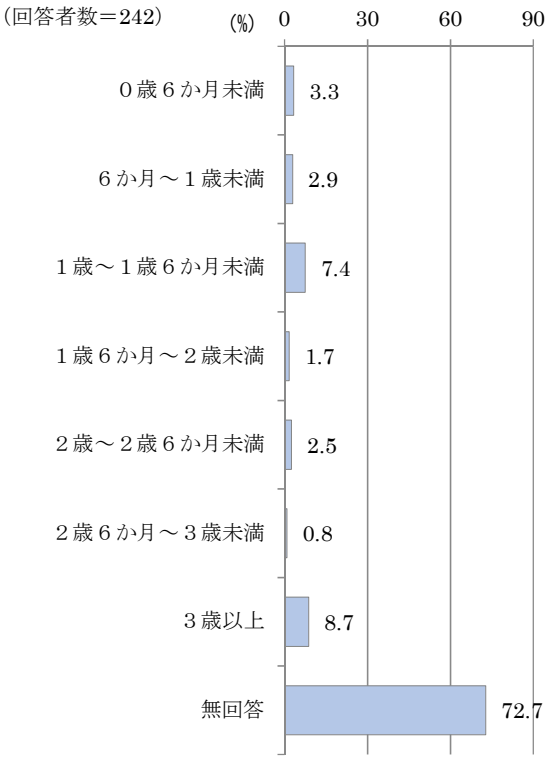
ア　母親

「３歳以上」の割合が39.3％と最も高く、次いで「１歳～１歳６か月未満」の割合が18.6％、「２歳～２歳６か月未満」の割合が16.9％となっています。



イ　父親

「３歳以上」の割合が8.7％と最も高く、次いで「１歳～１歳６か月未満」の割合が7.4％、「０歳６か月未満」の割合が3.3％、となっています。



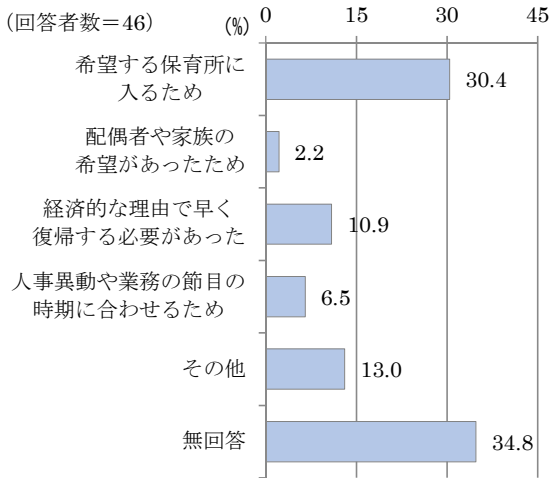
問46－３で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問46－５　希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

（１）「希望」より早く復帰した方　※あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

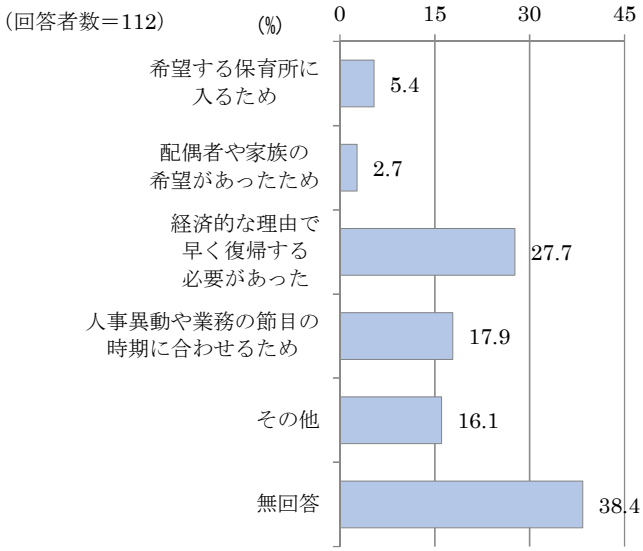
ア　母親

「希望する保育所に入るため」の割合が30.4%と最も高く、次いで「その他」の割合が13.0%、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が10.9%となっています。



イ　父親

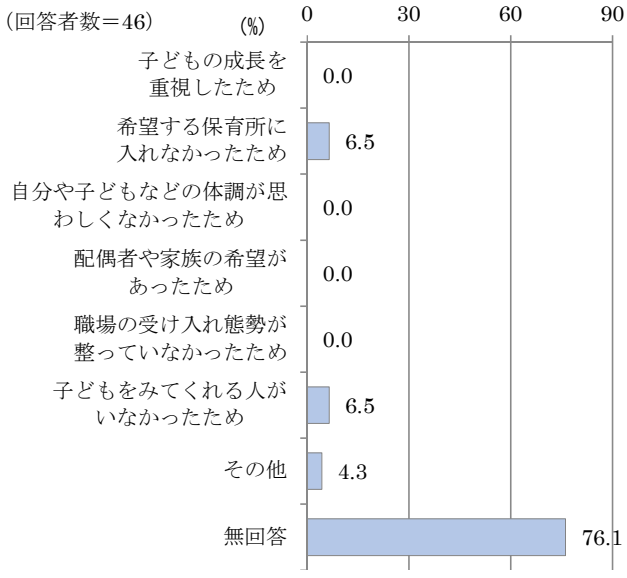
「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が27.7%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が17.9%、「その他」が16.1%となっています。



（２）「希望」より遅く復帰した方　※あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

ア　母親

「希望する保育所に入れなかったため」、「こどもをみてくれる人がいなかったため」の割合が6.5%となっています。



イ　父親

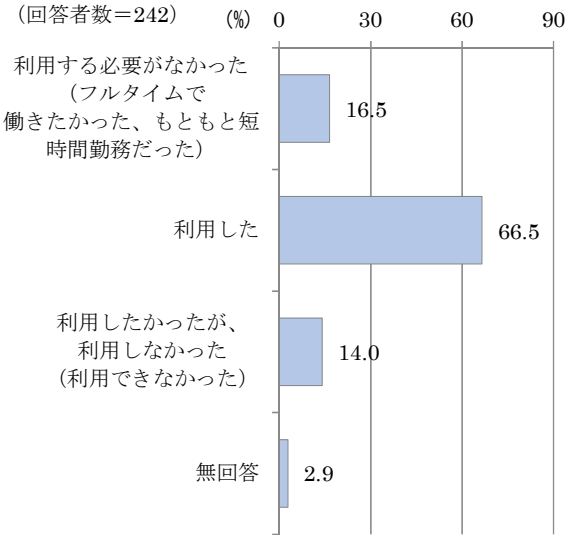
「こどもの成長を重視したため」、「配偶者や家族の希望があったため」がそれぞれ１件ずつ、「その他」が２件でした。

問46－１で「1育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問46－６　育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

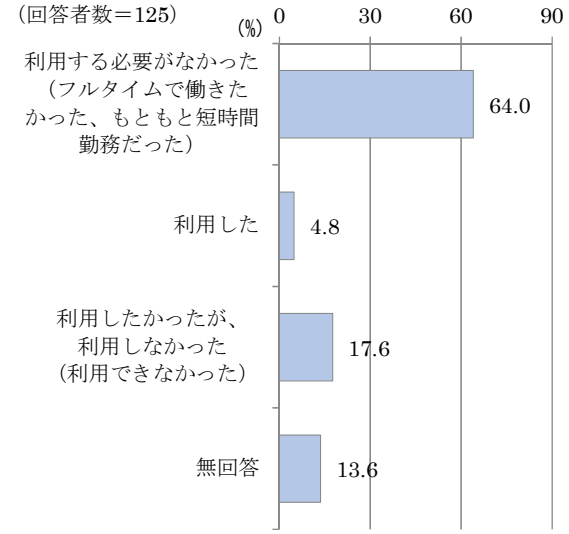
ア　母親

「利用した」の割合が66.5％と最も高く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が16.5％、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が14.0％となっています。



イ　父親

「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が64.0％と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が17.6％、「利用した」の割合が4.8％となっています。

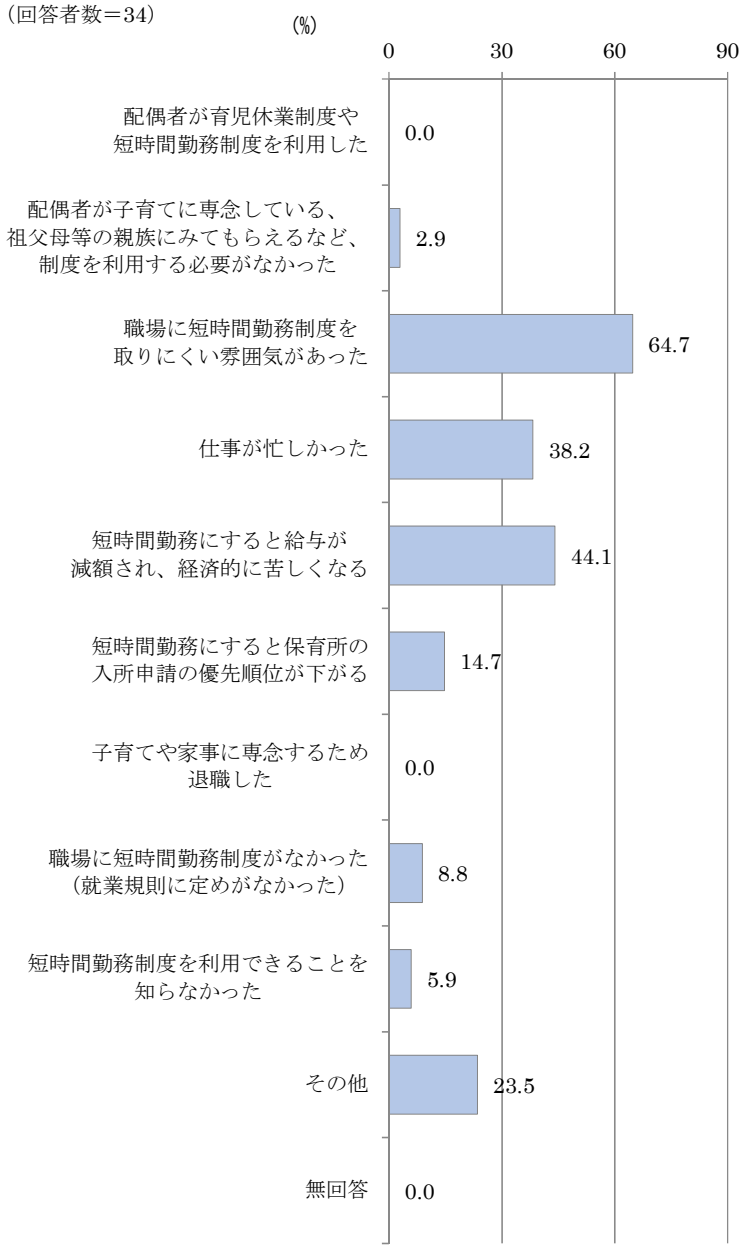


問46－６で「３利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

問46－７　短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。あてはまる理由に○をつけてください。（３つまで）

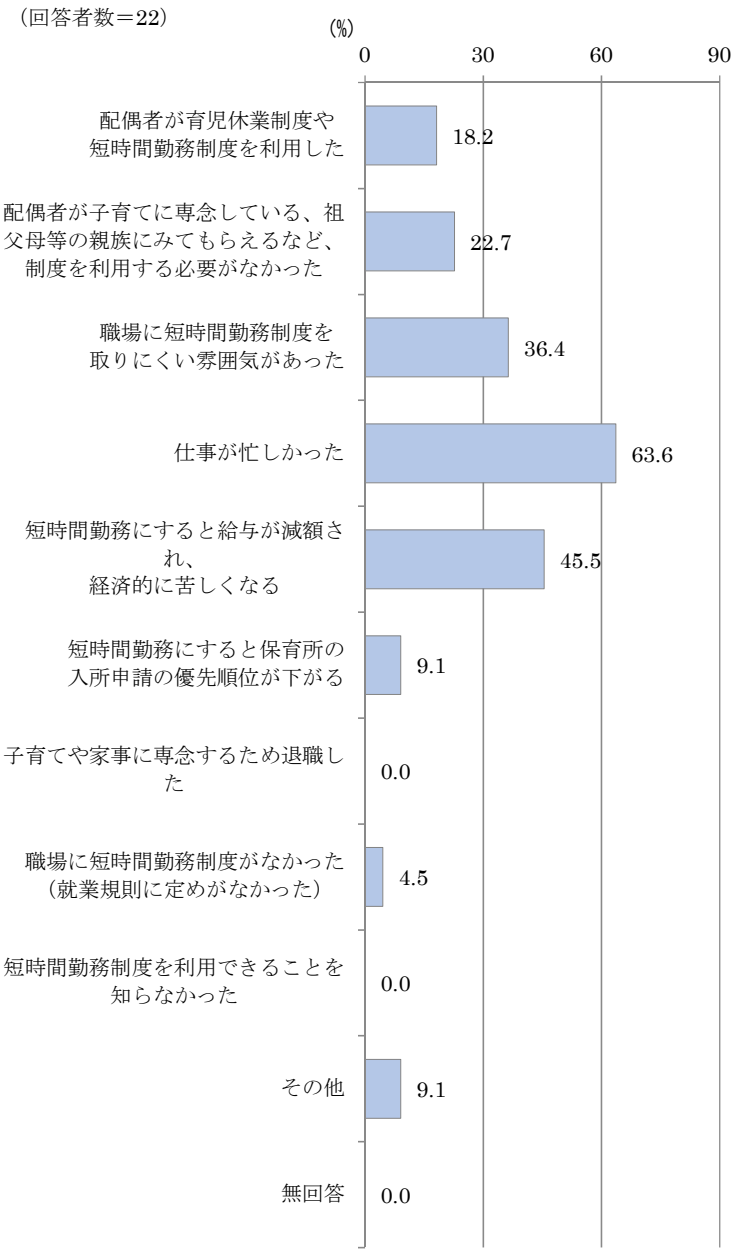
ア　母親

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が64.7％と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」の割合が44.1％、「仕事が忙しかった」の割合が38.2％となっています。



イ　父親

「仕事が忙しかった」の割合が63.6%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」の割合が45.5%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が36.4%となっています。

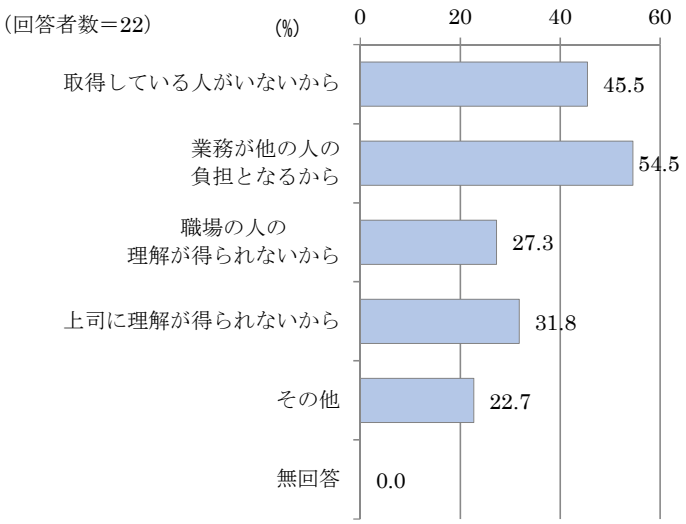


問46－７で「３職場に短時間勤務制度をとりにくい雰囲気があった」と回答した方にうかがいます。

問46－８　職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった理由は何ですか。あてはまる理由に○をつけてください。（３つまで）

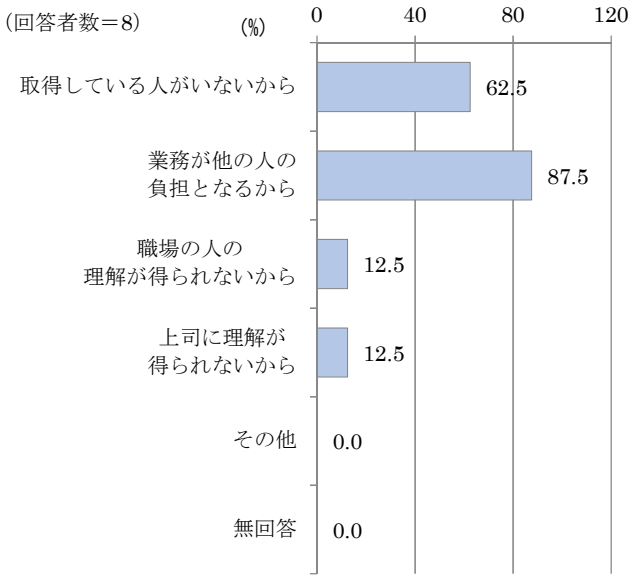
ア　母親

「業務が他の人の負担となるから」の割合が54.5％と最も高く、次いで「取得している人がいないから」の割合が45.5％、「上司に理解が得られないから」の割合が31.8％となっています。



イ　父親

「業務が他の人の負担となるから」の割合が87.5％と最も高く、次いで「取得している人がいないから」の割合が62.5％、「職場の人の理解が得られないから」、「上司に理解が得られないから」の割合がそれぞれ12.5％となっています。

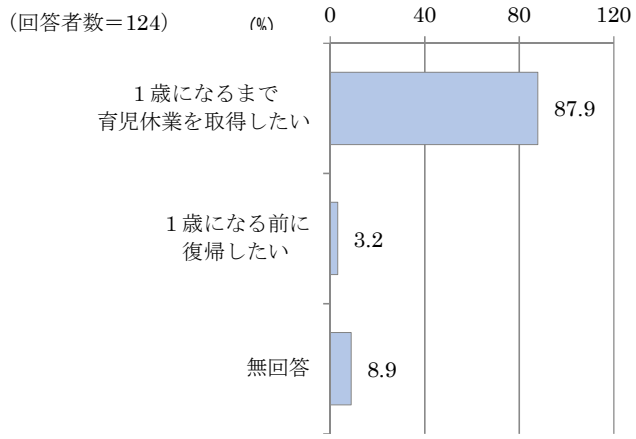


問46－１で「２現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問46－９　宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。あてはまる番号に○をつけてください。

ア　母親

「１歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が87.9%、「１歳になる前に復帰したい」の割合が3.2%となっています。

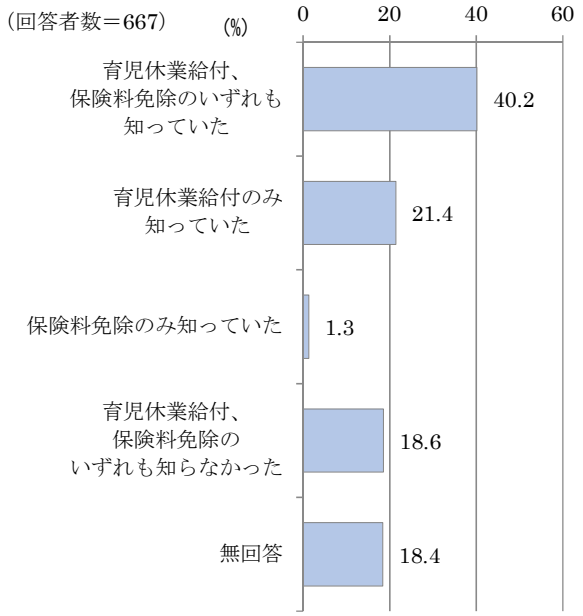


イ　父親

「１歳になるまで育児休業を取得したい」、「１歳になる前に復帰したい」がそれぞれ１件となっています。

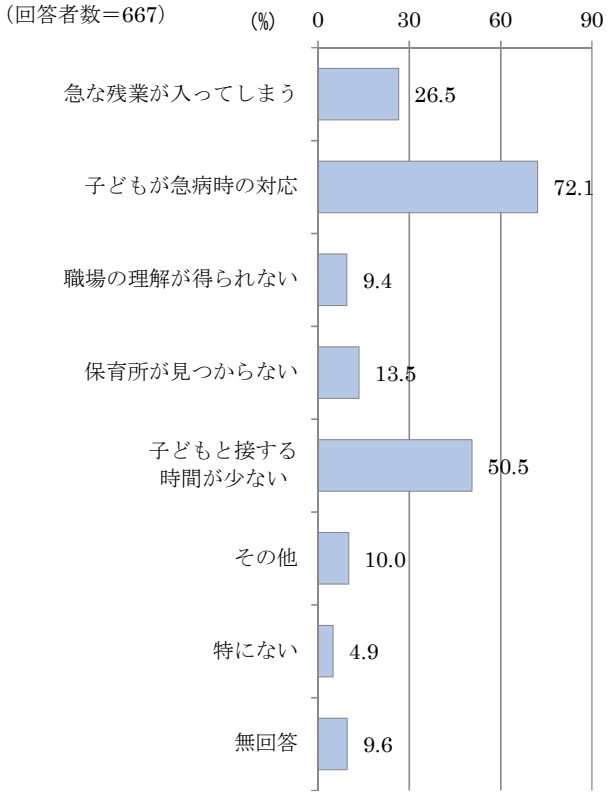
問47　こどもが原則１歳(※1)になるまで育児休業給付が支給される制度、こどもが満３歳になるまでの育児休業等(※2)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる制度がありますが、そのことをご存じでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が40.2%と最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」の割合が21.4%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が18.6%となっています。



問48　仕事と子育ての両立に関して、大変だと感じていることがあれば、あてはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

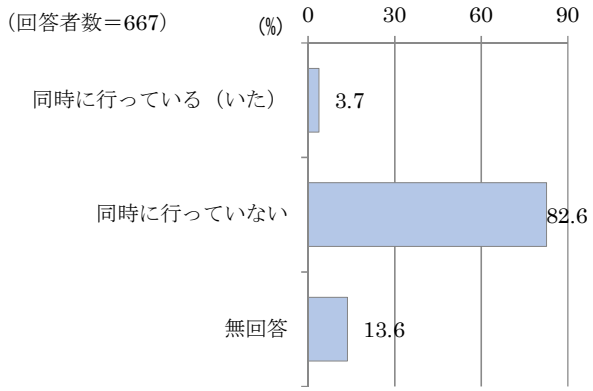
「こどもが急病時の対応」の割合が72.1%と最も高く、次いで「こどもと接する時間が少ない」の割合が50.5%、「急な残業が入ってしまう」の割合が26.5%となっています。



問49　子育てと介護を同時に行っている（いた）ことがありましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

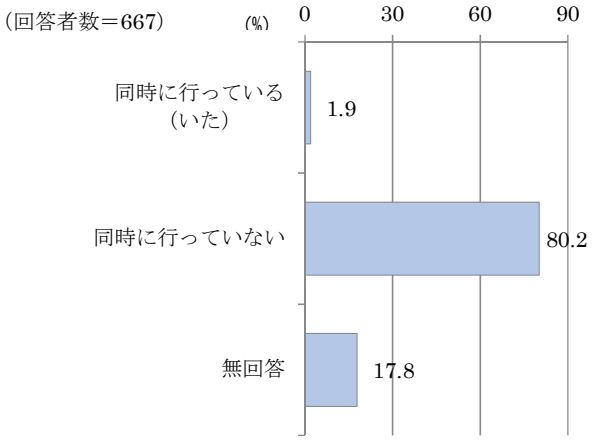
ア　母親

「同時に行っている（いた）」の割合が3.7%、「同時に行っていない」の割合が82.6%となっています。



イ　父親

「同時に行っている（いた）」の割合が1.9%、「同時に行っていない」の割合が80.2%となっています。

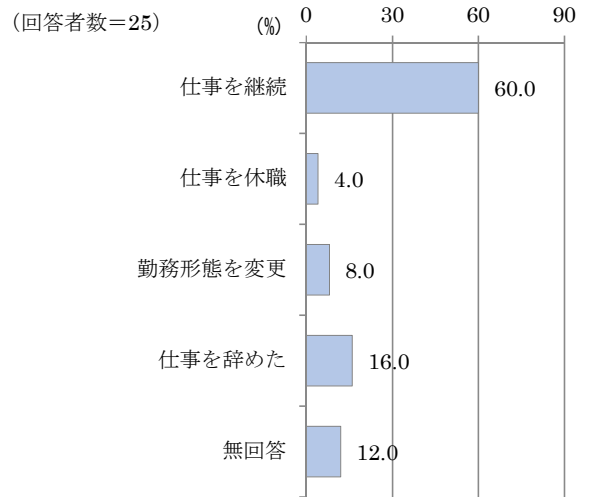


問49で「１同時に行っている（いた）」と回答した方にうかがいます。

問49－１　仕事についてはどうしましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

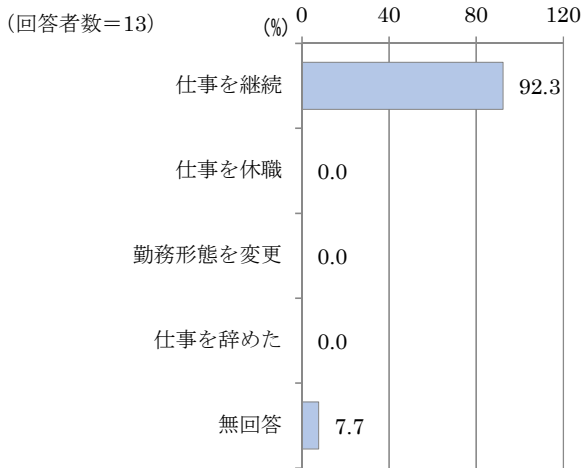
ア　母親

「仕事を継続」の割合が60.0%と最も高く、次いで「仕事を辞めた」の割合が16.0%、「勤務形態を変更」の割合が8.0%となっています。



イ　父親

「仕事を継続」が92.3％となっています。

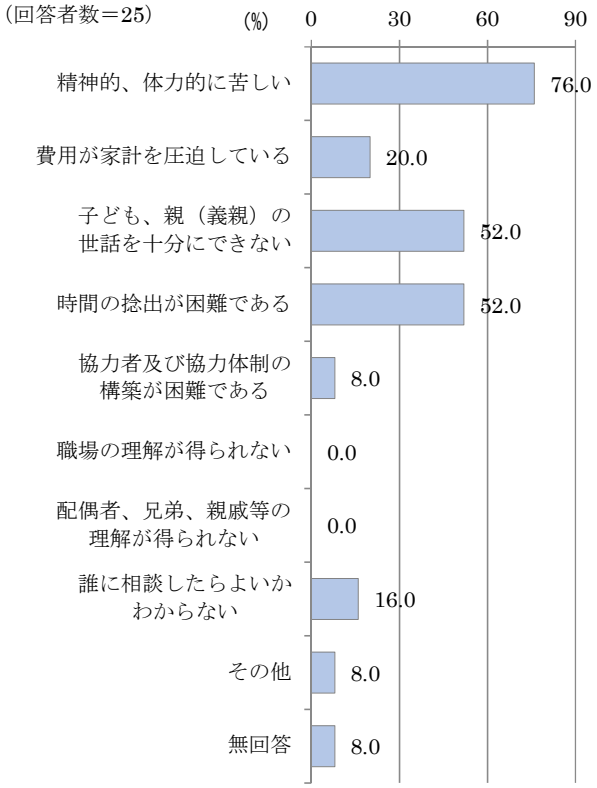


問49で「１同時に行っている（いた）」と回答した方にうかがいます。

問49－２　大変だと感じている（いた）事があれば、あてはまる番号に○をつけてください。（３つまで）

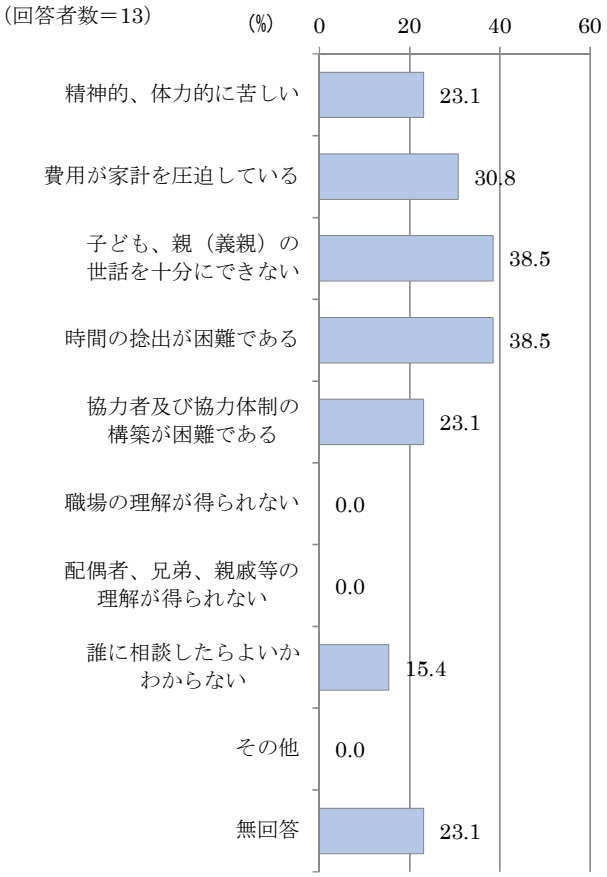
ア　母親

「精神的、体力的に苦しい」の割合が76.0％と最も高く、次いで「こども、親（義親）の世話を十分にできない」、「時間の捻出が困難である」の割合がそれぞれ52.0％となっています。



イ　父親

「こども､親(義親)の世話を十分にできない」､「時間の捻出が困難である」がそれぞれ５件となっています。「費用が家計を圧迫している」が４件､「精神的、体力的に苦しい」､「協力者及び協力体制の構築が困難である」がそれぞれ３件となっています。



（12）こどもの権利等について

問50　あなたは『こどもの権利』を知っていますか。あてはまるものに○をつけてください。

※『こどもの権利』とは「こどもの権利条約」に定められている次の４つの権利があります。

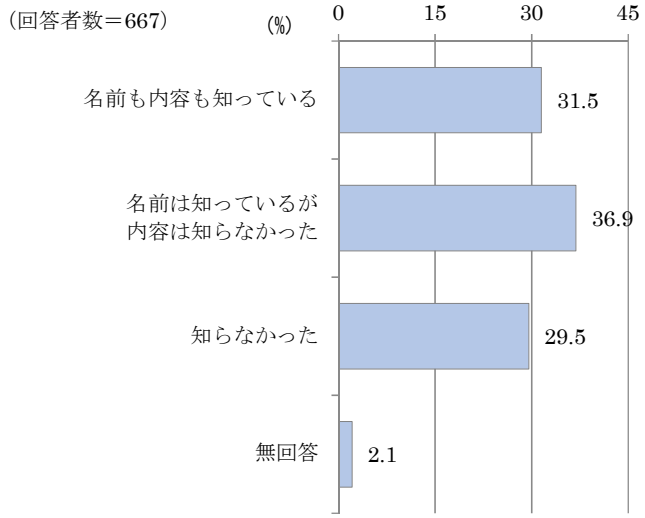
①生きる権利…住む場所や食べ物がある。医療が受けられる。命が守られる。

②育つ権利…教育が受けられる。持っている能力を伸ばす。

③守られる権利…虐待を受けない。労働を強要されない。幸せを奪われない。

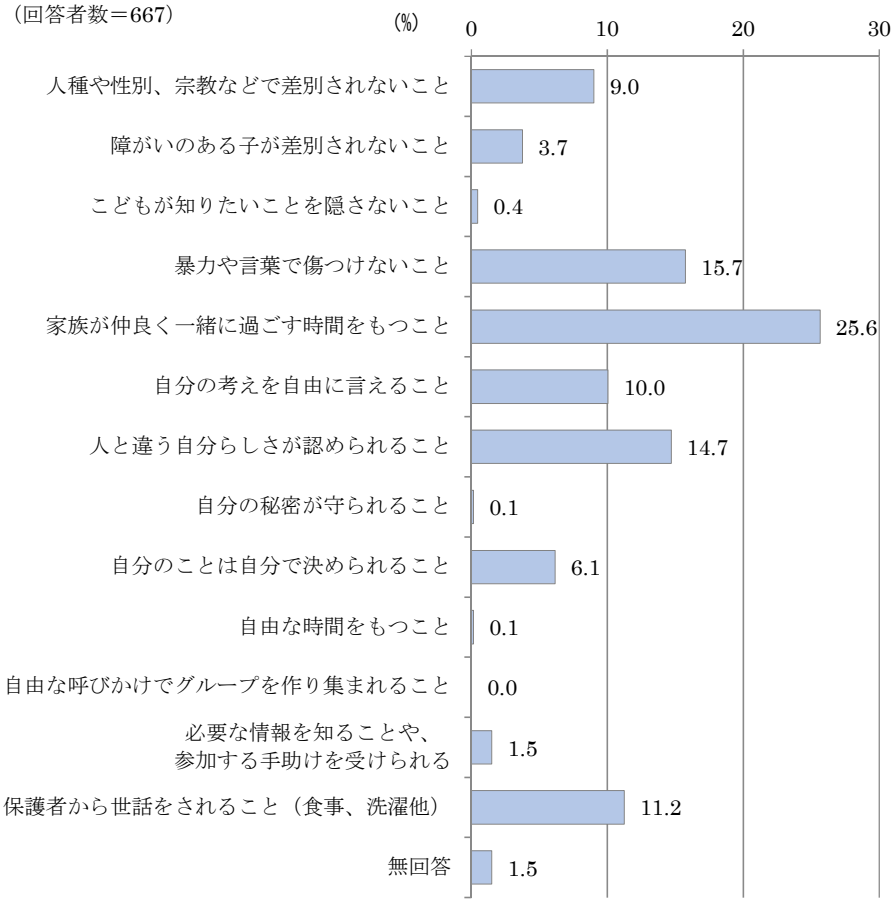
④参加する権利…自分の意見を自由に言える。

「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が36.9%と最も高く、次いで「名前も内容も知っている」の割合が31.5%、「知らなかった」の割合が29.5%となっています。



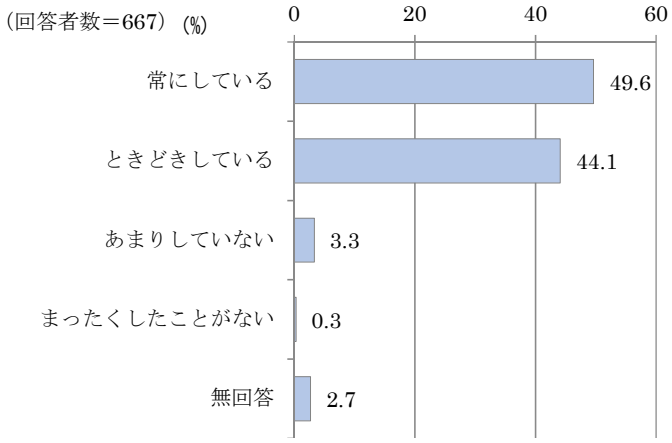
問50－１　こどもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。あてはまるものに○をつけてください。（○は１つ）

「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」の割合が25.6％と最も高く、次いで「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が15.7％、「人と違う自分らしさが認められること」の割合が14.7％となっています。



問50－２　あなたは、子育てをしていて、こどもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識したことはありますか。あてはまるものに○をつけてください。

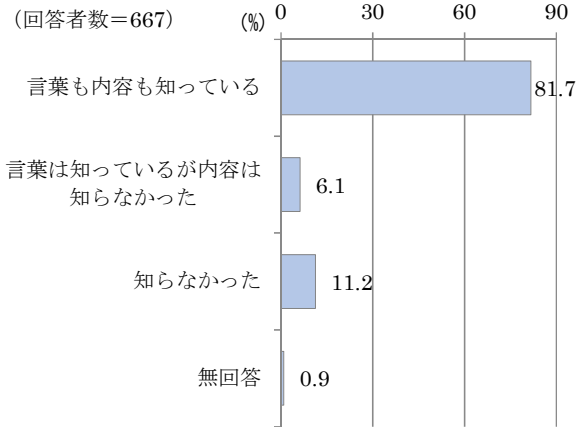
「常にしている」の割合が49.6％と最も高く、次いで「ときどきしている」の割合が44.1％となっています。



問51　あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。あてはまるものに○をつけてください。

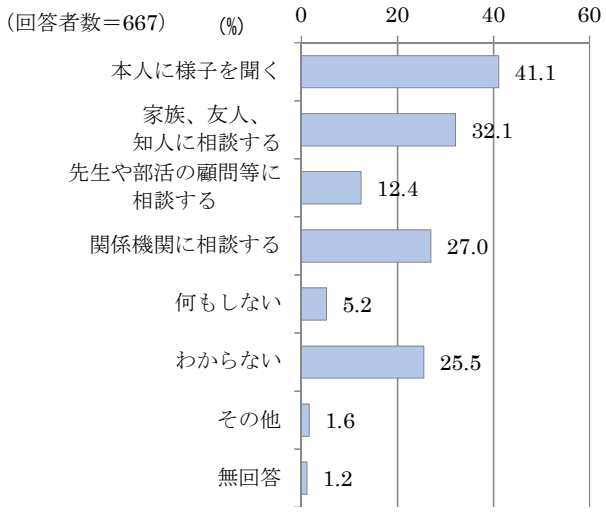
※ヤングケアラーとは本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこどものことをいいます。

「言葉も内容も知っている」の割合が81.7％と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が11.2％となっています。



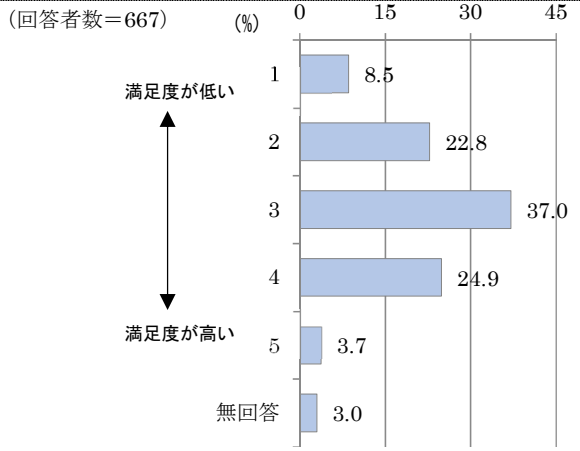
問51－１　あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応しますか。あてはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

「本人に様子を聞く」の割合が41.1％と最も高く、次いで「家族、友人、知人に相談する」の割合が32.1％、「関係機関に相談する」の割合が27.0％となっています。



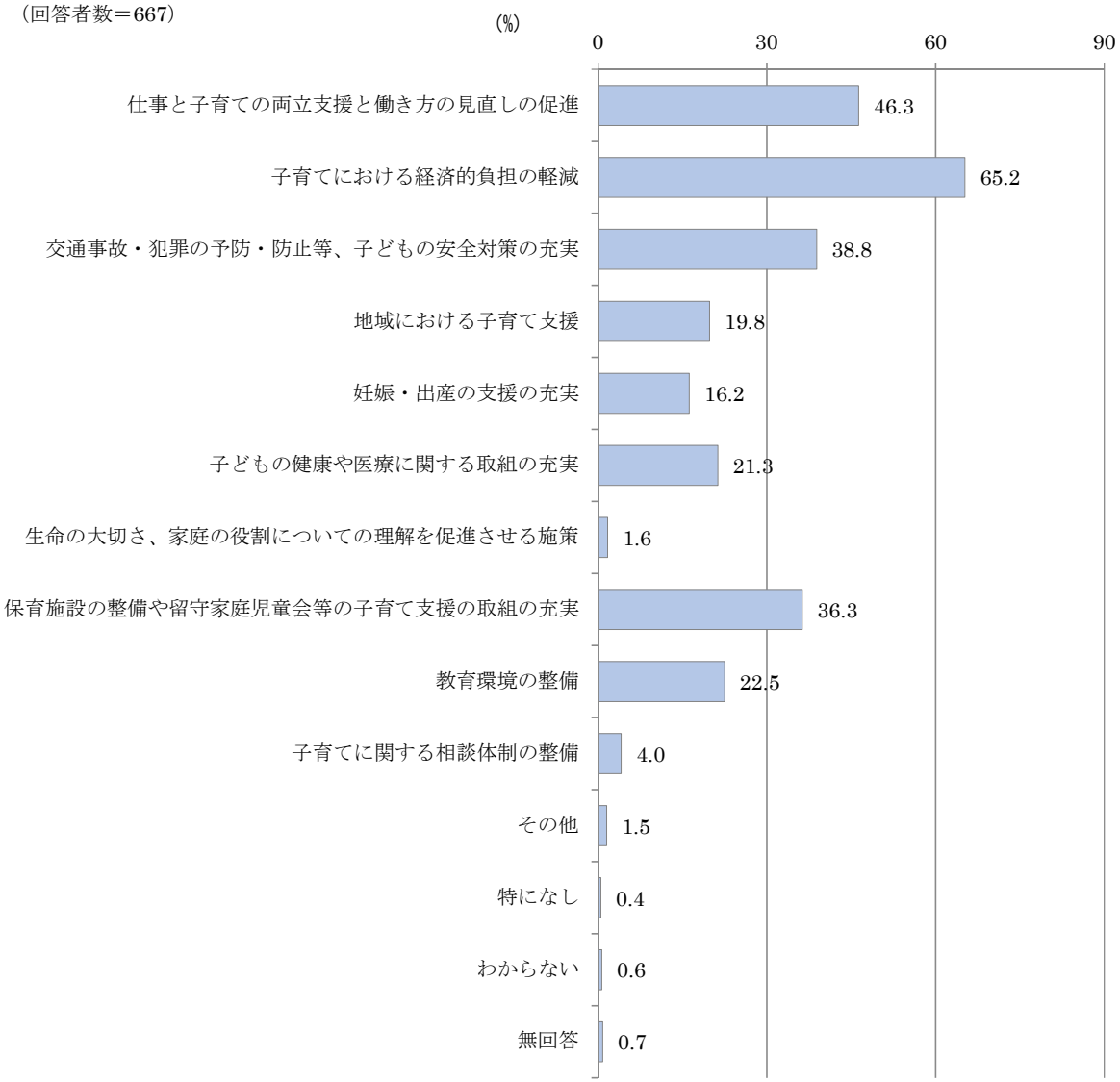
問52　お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号に○をつけてください。

「３」の割合が37.0％と最も高く、次いで「４」の割合が24.9％、「２」の割合が22.8％となっています。



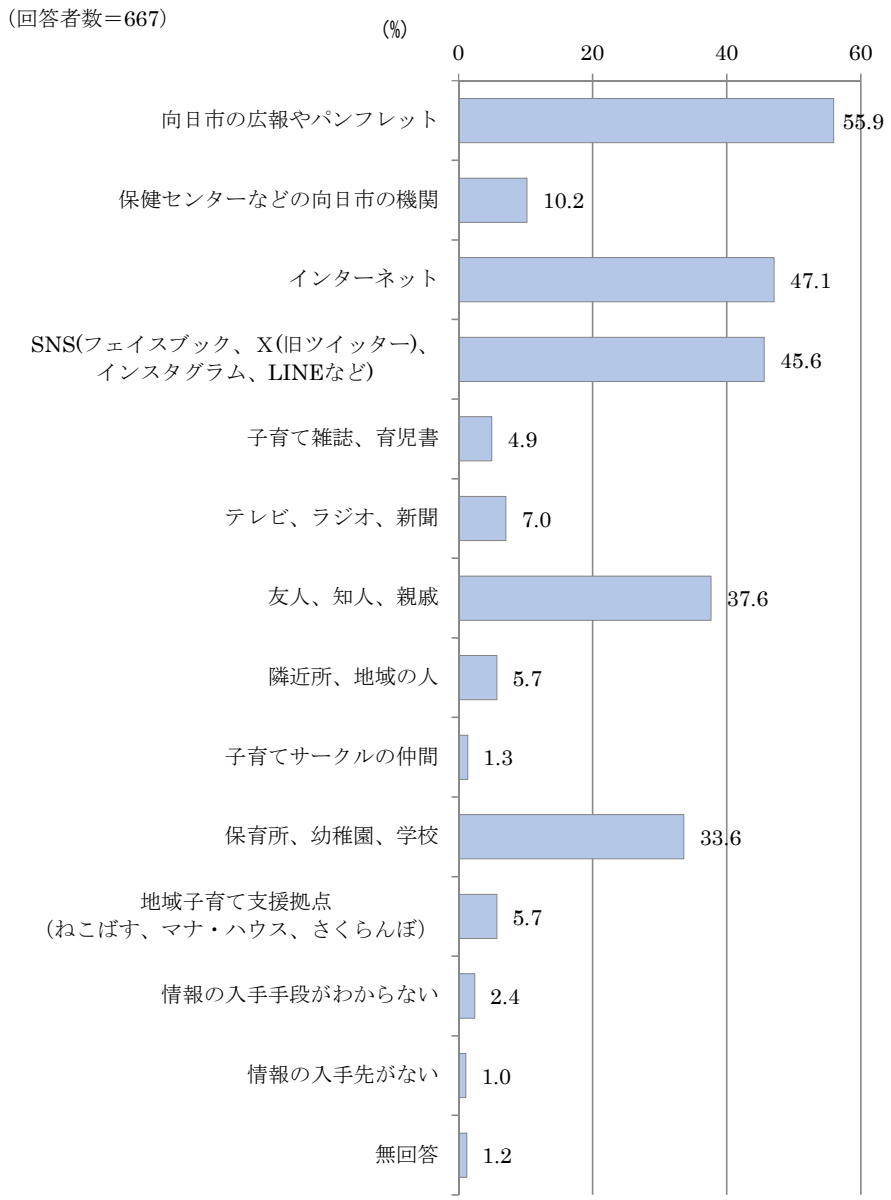
問53　あなたにとって望ましい子育て支援施策は何ですか。あてはまるものに○をつけてください。（３つまで）

「子育てにおける経済的負担の軽減」の割合が65.2%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立支援と働き方の見直しの促進」の割合が46.3%、「交通事故・犯罪の予防・防止等、こどもの安全対策の充実」の割合が38.8%となっています。



問54　子育てに必要な施策などの情報をどのように入手されていますか。あてはまるものに〇をつけてください。（３つまで）

「向日市の広報やパンフレット」の割合が55.9%と最も高く、次いで「インターネット」の割合が47.1%、「SNS(フェイスブック、X(旧ツイッター)、インスタグラム、LINEなど)」の割合が45.6%となっています。



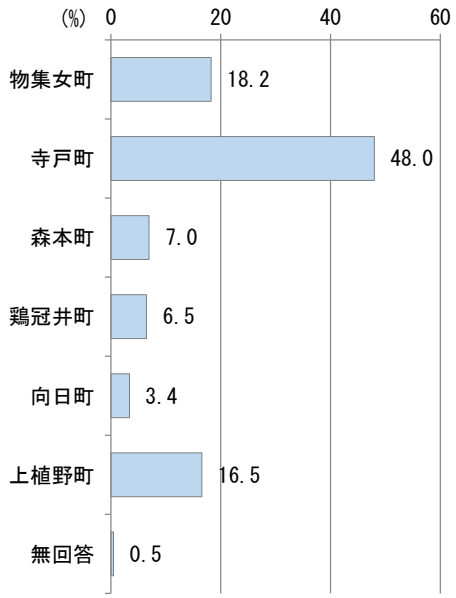
２　小学校児童保護者

（１）封筒の宛名のお子さんとご家族の状況について

問１　向日市には８つの自治連合区がありますが、お住まいの地区はどこですか。お住まいの地区に○をつけ、（　）内に小字をご記入ください。（○は１つ）

「寺戸地区」の割合が48.0％と最も高く、次いで「物集女地区」の割合が18.2％、「上植野地区」の割合が16.5％となっています。

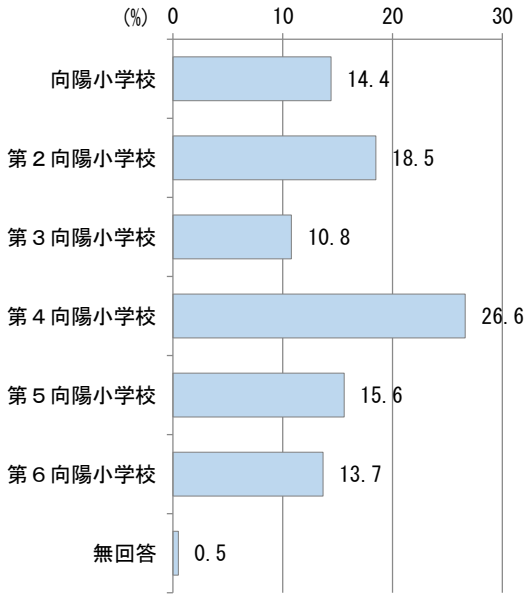
回答者数＝417



問１－１　お住まいの地区はどの小学校区にあたりますか。（○は１つ）

「第４向陽小学校」の割合が26.6％と最も高く、次いで「第２向陽小学校」の割合が18.5％、「第５向陽小学校」の割合が15.6％となっています。

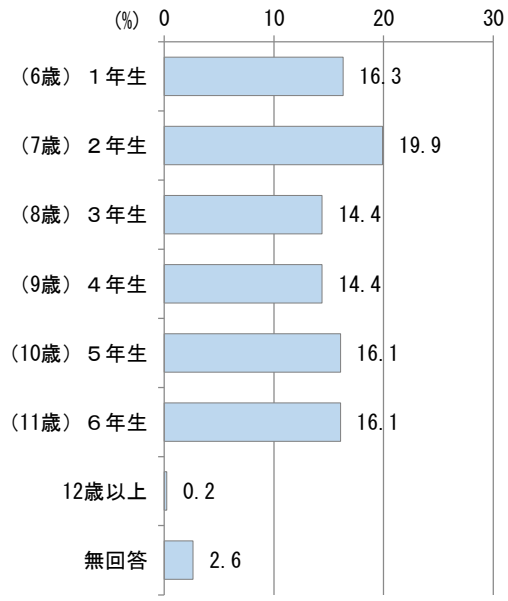
回答者数＝417



問２　宛名のお子さんの生年月をご記入ください。
（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

「７歳（２年生）」の割合が19.9％と最も高く、次いで、「１歳（１年生）」が16．3％、「10歳（５年生）」と「11歳（６年生）」の割合が16.1％となっています。

回答者数＝417

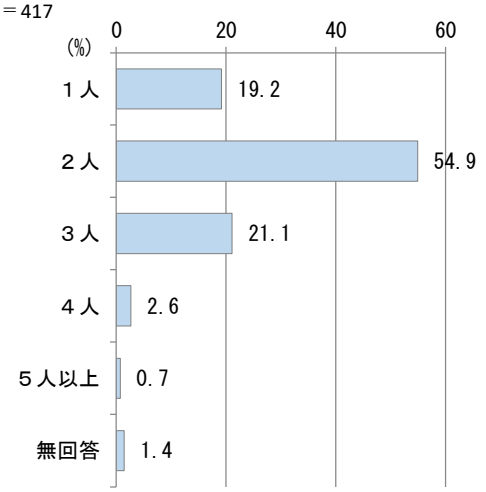


問３　お子さんは何人ですか。人数を数字でご記入ください。２人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

ア　こどもの人数

「２人」の割合が54.9％と最も高く、次いで「３人」の割合が21.1％、「１人」の割合が19.2％となっています。

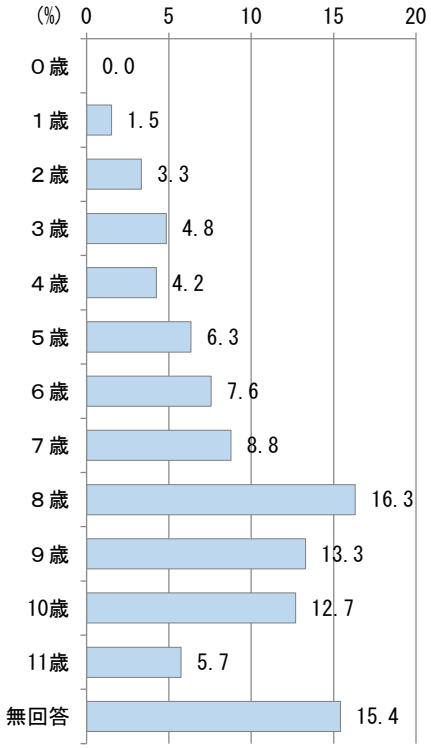
回答者数＝417



イ　末子の年齢

「８歳」の割合が16.3％と最も高く、次いで「９歳」の割合が13.3％、「10歳」の割合が12.7％となっています。

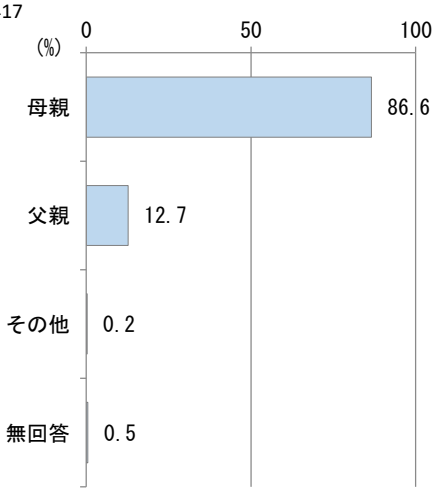
回答者数＝331



問４　調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号に○をつけてください。

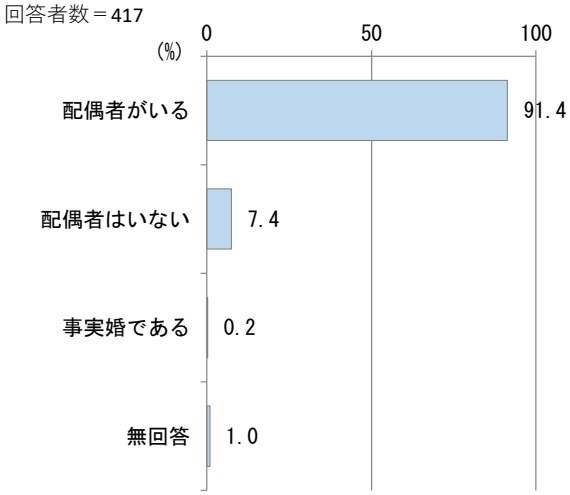
「母親」の割合が86.6％、「父親」の割合が12.7％となっています。

回答者数＝417



問５　調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号に○をつけてください。

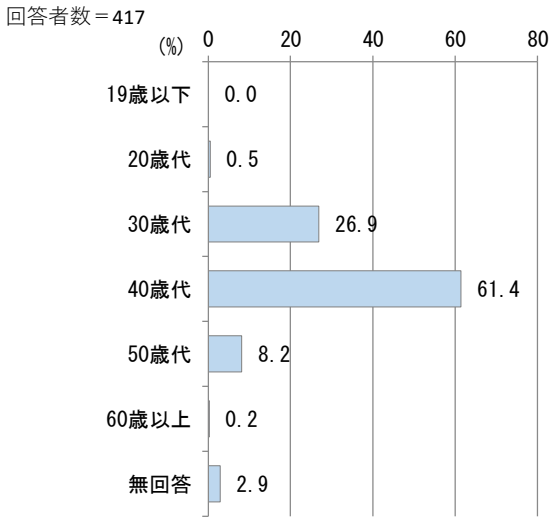
「配偶者がいる」の割合が91.4％と最も高くなっています。



問５－１　母親、父親の該当する年齢階層に○をつけてください。（ひとり親家庭の方は、母親又は父親のみお答えください）

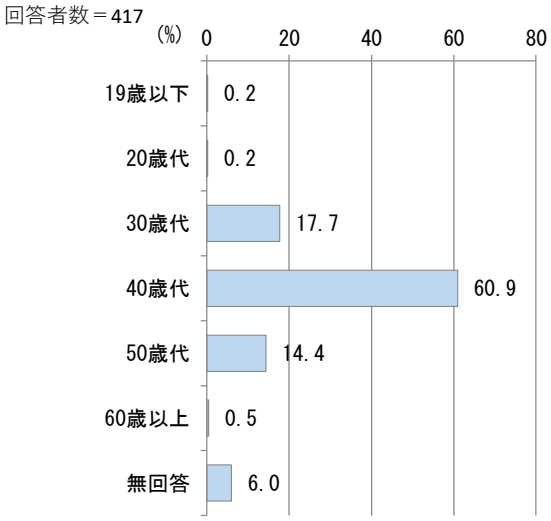
ア　母親

「40歳代」の割合が61.4％と最も高く、次いで「30歳代」の割合が26.9％となっています。



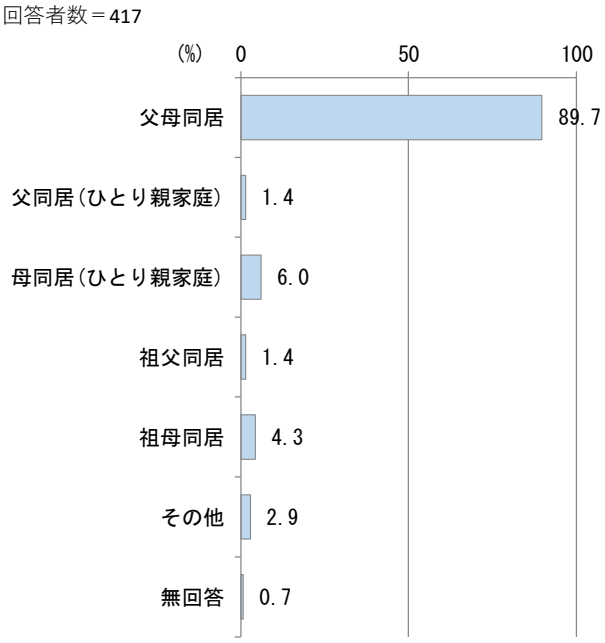
イ　父親

「40歳代」の割合が60.9％と最も高く、次いで「30歳代」の割合が17.7％、「50歳代」の割合が14.4％となっています。



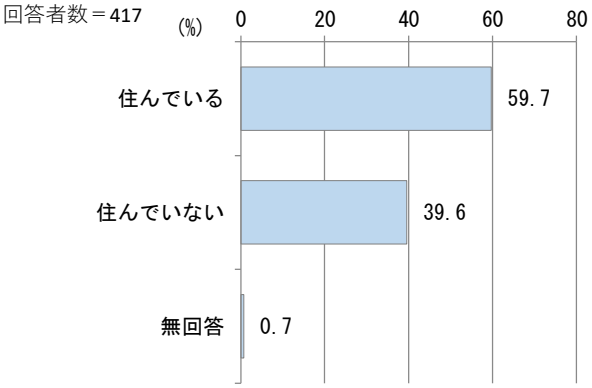
問５－２　お子さんとの同居の状況についてあてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）続柄はお子さんからみた関係です。

「父母同居」の割合が89.7%と最も高くなっています。



問５－３　こどもさんの祖父母が近くにお住まいですか。当てはまる番号に○をつけてください。近くとは、概ね30分程度に行き来できる範囲です。

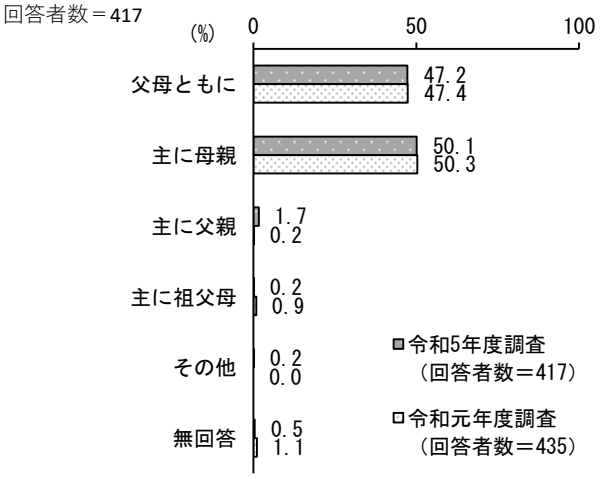
「住んでいる」の割合が59.7%、「住んでいない」の割合が39.6%となっています。



問６　お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号に○をつけてください。

「主に母親」の割合が50.1%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が47.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

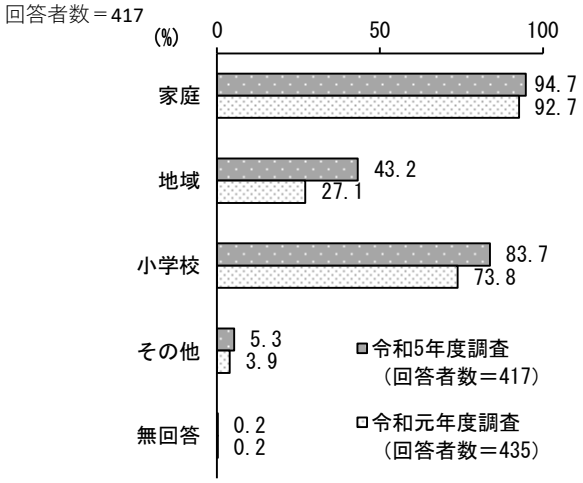


（２）こどもの育ちをめぐる環境について

問７　お子さんの子育てに、もっとも影響すると思われる環境に○をつけてください。（複数回答可）

「家庭」の割合が94.7％と最も高く、次いで「小学校」の割合が83.7％、「地域」の割合が43.2％となっています。

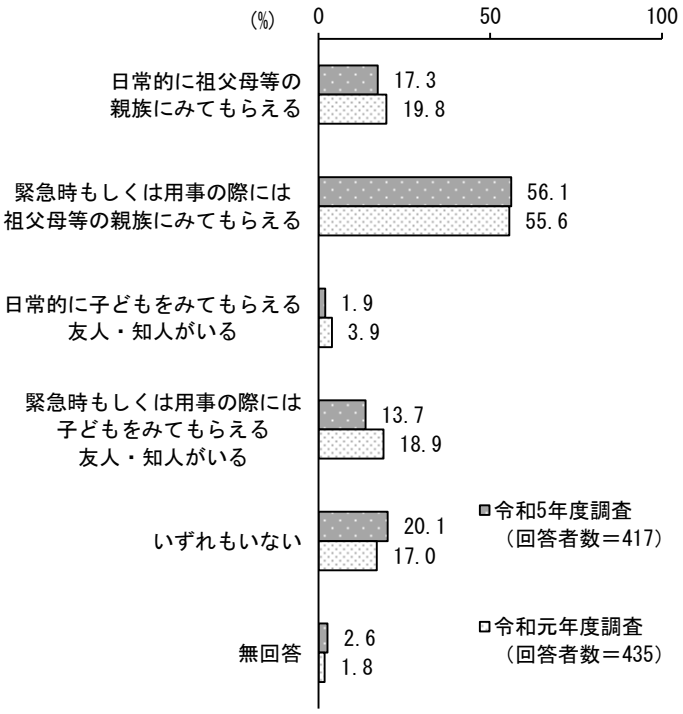
令和元年度調査と比較すると、いずれの選択肢の割合も増加しています。



問８　日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が56.1％と最も高く、次いで「いずれもいない」が20.1％、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が17.3％となっています。

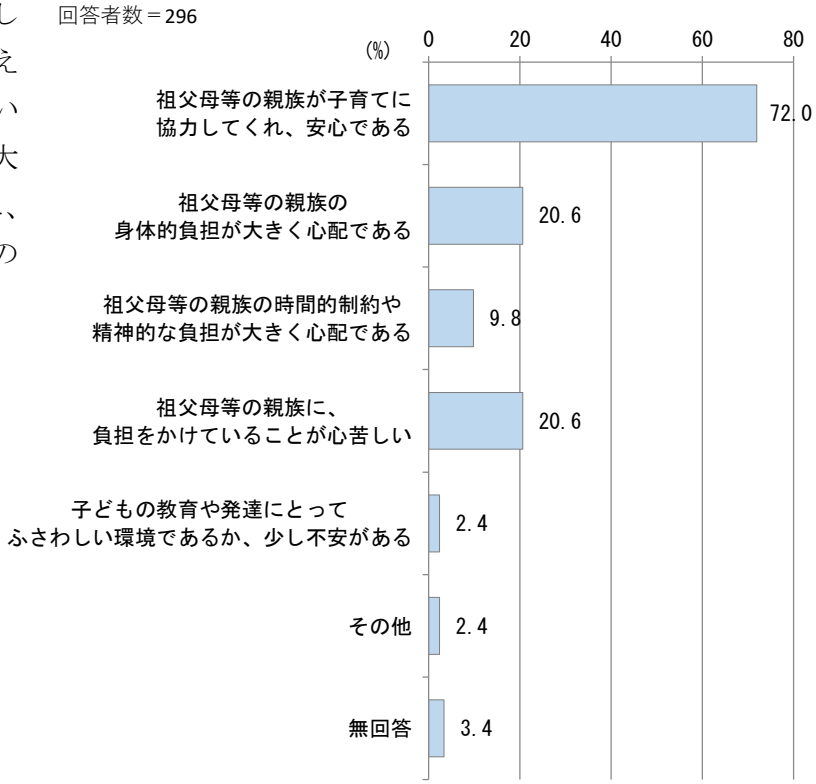
令和元年度調査と比較すると、「いずれもいない」の割合が増加しています。一方、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際にはこどもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が減少しています。



問８で「１」または「２」に○をつけた方にうかがいます。

問８－１　祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

「祖父母等の親族が子育てに協力してくれ、安心してこどもをみてもらえる」の割合が72.0％と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」、「祖父母等の親族に、負担をかけていることが心苦しい」の割合が20.6％となっています。

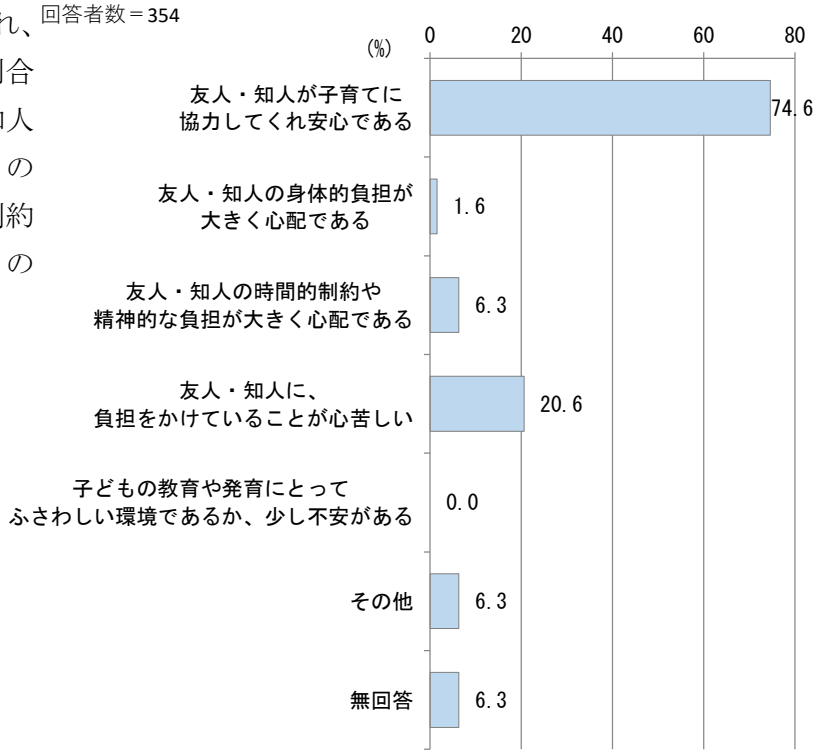


問８「３」または「４」に○をつけた方にうかがいます。

問８－２　友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

「友人・知人が子育てに協力してくれ、安心してこどもをみてもらえる」の割合が74.6％と最も高く、次いで「友人・知人に、負担をかけていることが心苦しい」の割合が20.6％、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が6.3％となっています。

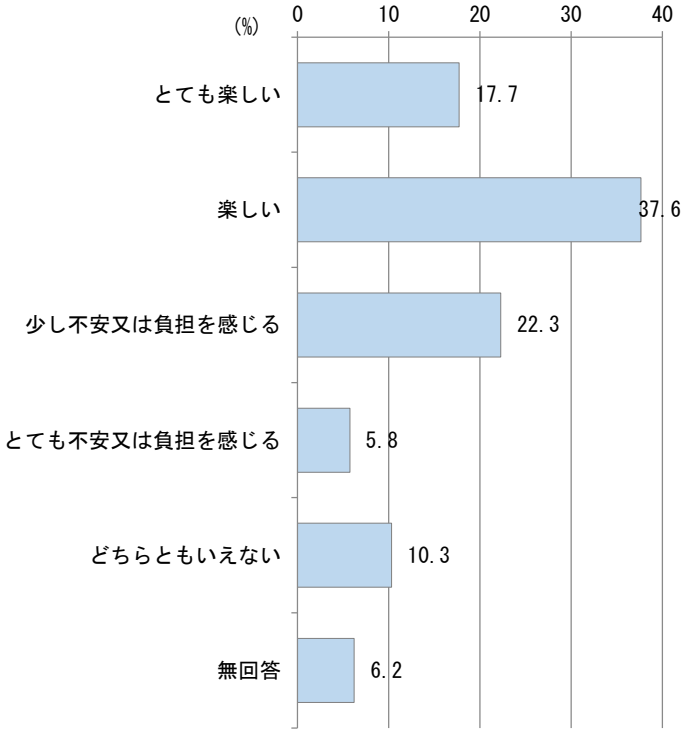
回答者数＝354



問９　子育ては、楽しいときもあれば、つらいときもありますが、お気持ちに一番近いものに○をつけてください。

「楽しい」の割合が37.6％と最も高く、次いで「少し不安又は負担を感じる」の割合が22.3％、「とても楽しい」の割合が17.7％となっています。

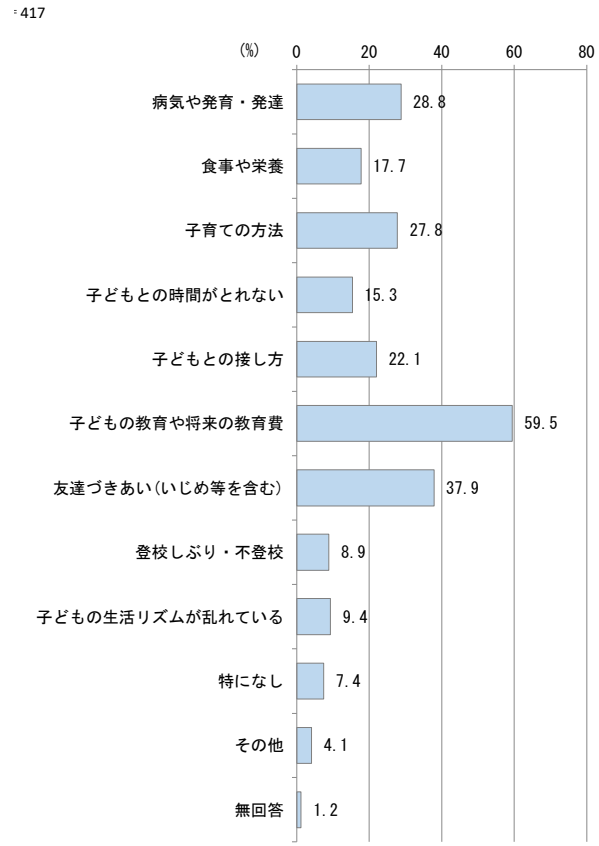
回答者数＝417



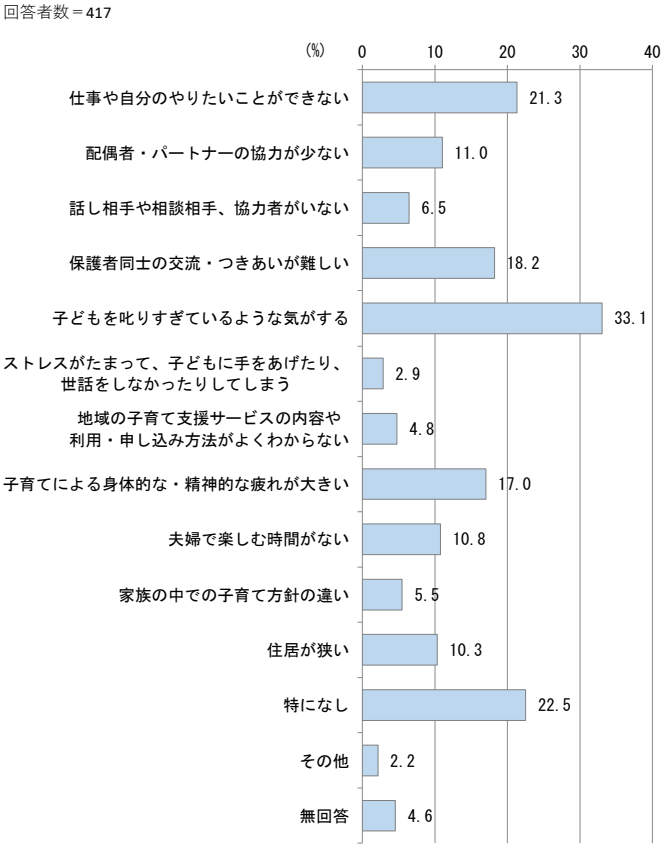
問 10　お子さんを育てていて、日頃悩んでいること、不安に感じることはどのようなことですか。当てはまるものに〇をつけてください。（複数回答可）

お子さんのことでは「こどもの教育や将来の教育費」の割合が59.5%、ご自分のことでは「こどもを叱りすぎているような気がする」の割合が33.1%、その他のことでは「不審者などによる犯罪」が30.2%と最も高くなっています。

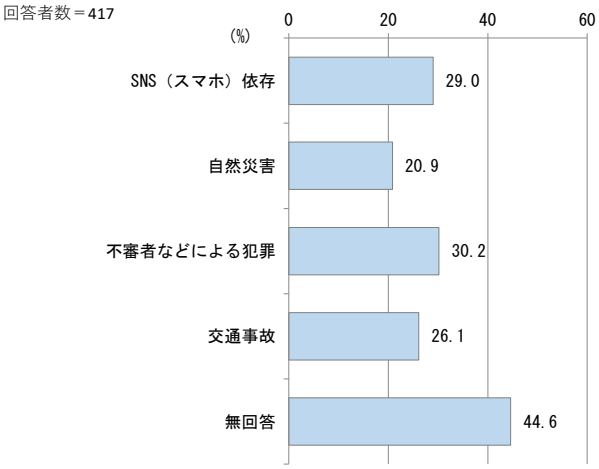
【お子さんのこと】



【ご自分のこと】

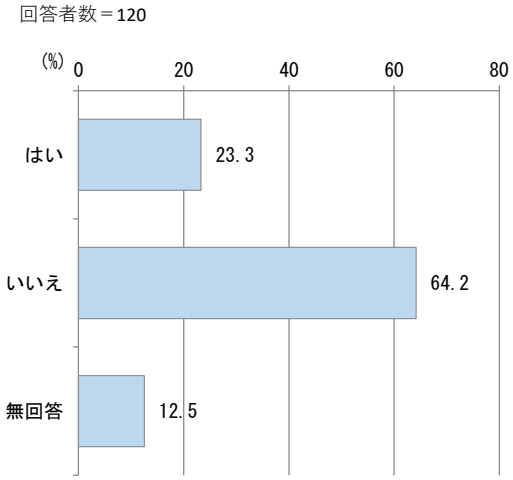


【その他のこと】



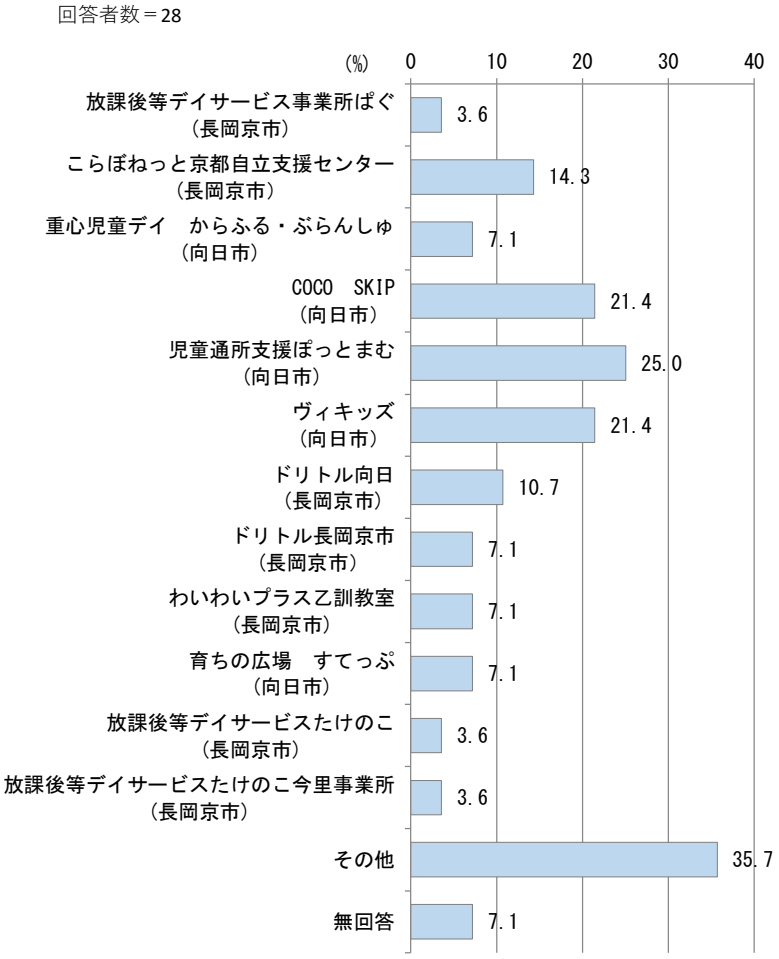
問10－１　問10で「１　病気や発育・発達」に○を付けた方にお伺いします。お子さんは療育を受けていらっしゃいますか。

「はい」の割合が23.3%、「いいえ」の割合が64.2%となっています。

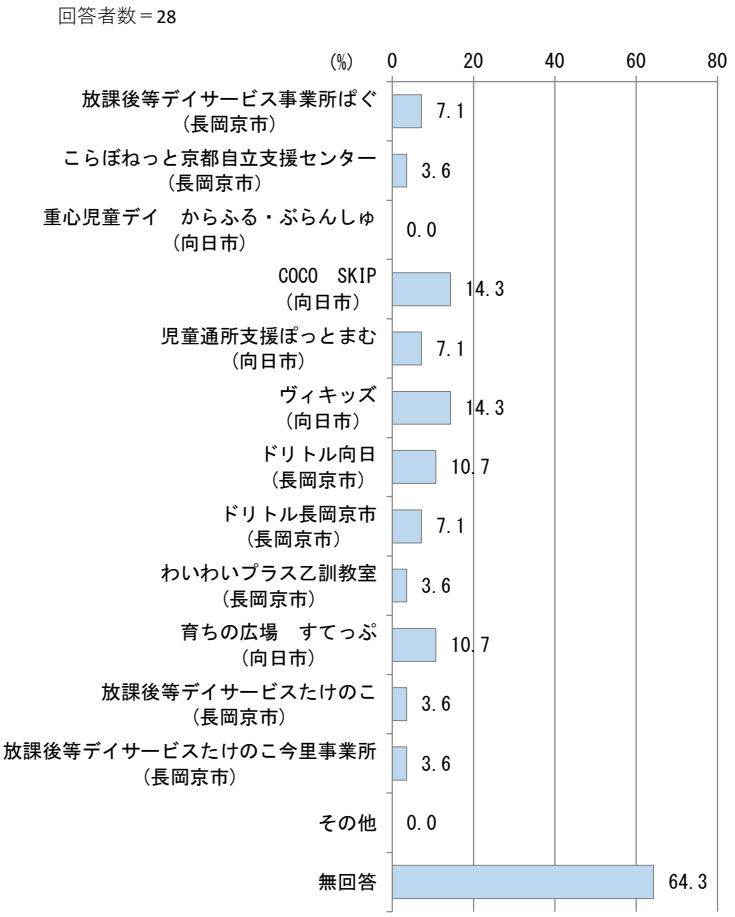


問10－２　（問10－１ではいと答えた方）ご利用されている施設ならびにご存知の療育施設に○をつけてください。（複数回答可）

利用されている施設については、「児童通所支援ぽっとまむ（向日市）」が25.0%と最も高く、次いで、「COCO　SKIP（向日市）」と「ウィキッズ（向日市）」の割合がどちらも21.4%となっています。

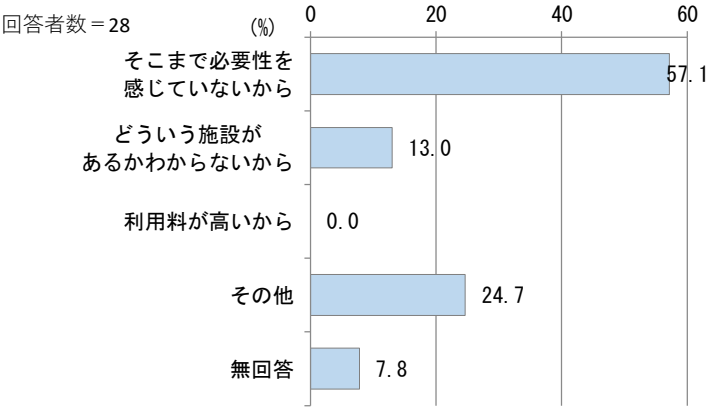


知っている施設については「COCO SKIP（向日市）」と「ウィキッズ（向日市）」の割合がどちらも14.3％と最も高く、次いで「ドリトル向日（長岡京市）」と「育ちの広場　すてっぷ（向日市）」がどちらも10.7％となっています。



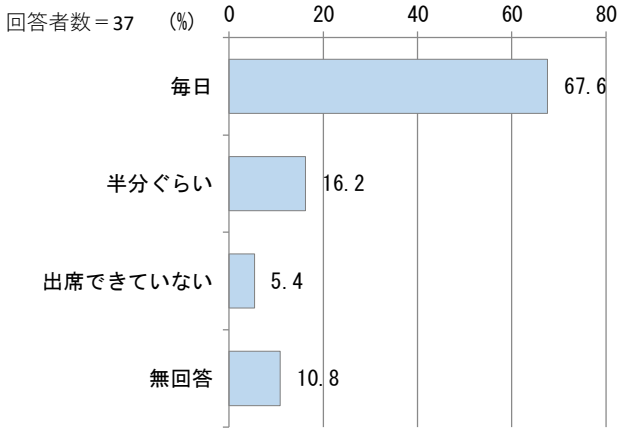
問10－３　（問10－１でいいえと答えた方）療育を受けておられない理由は何ですか。もっとも当てはまるものに○をつけてください。

「そこまで必要性を感じていないから」の割合が57.1％と最も高くなっています。



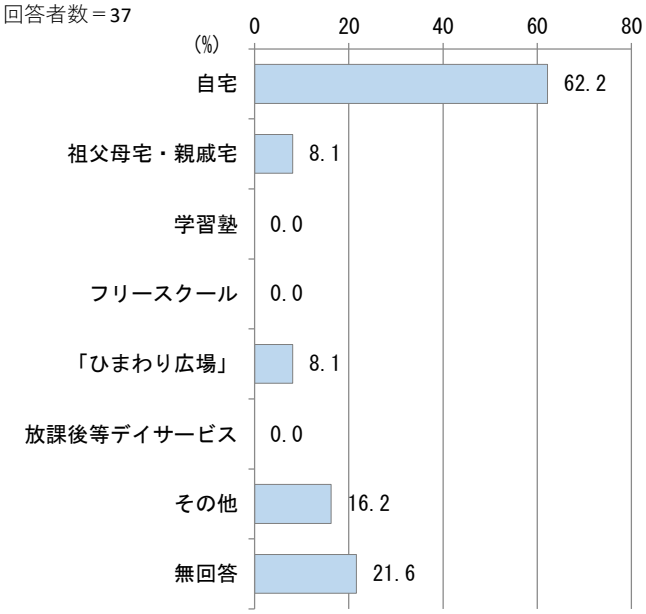
問10－４　問10で「８登校しぶり・不登校」に○をつけた方にうかがいます。登校しぶりや不登校のお子さんについて、週にどの程度出席できていますか。当てはまる番号に○をつけてください。

「毎日」が67.6%、「半分くらい」が16.2%、「出席できていない」が5.4%となっています。



問10－５　問10で「８登校しぶり・不登校」に○をつけた方にうかがいます。登校しぶりや不登校のお子さんについて、現在、学校に通っていない時間はどこで過ごしていますか。当てはまる番号に○をつけてください。

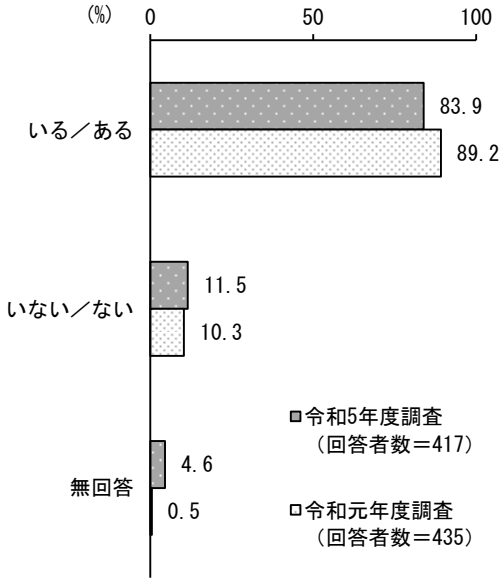
「自宅」が62.2%、「その他」が16.2%、「祖父母宅・親戚宅」、「ひまわり広場」がどちらも8.1%となっています。



問 11　お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号に○をつけてください。

「いる／ある」の割合が83.9%、「いない／ない」の割合が11.5%となっています。

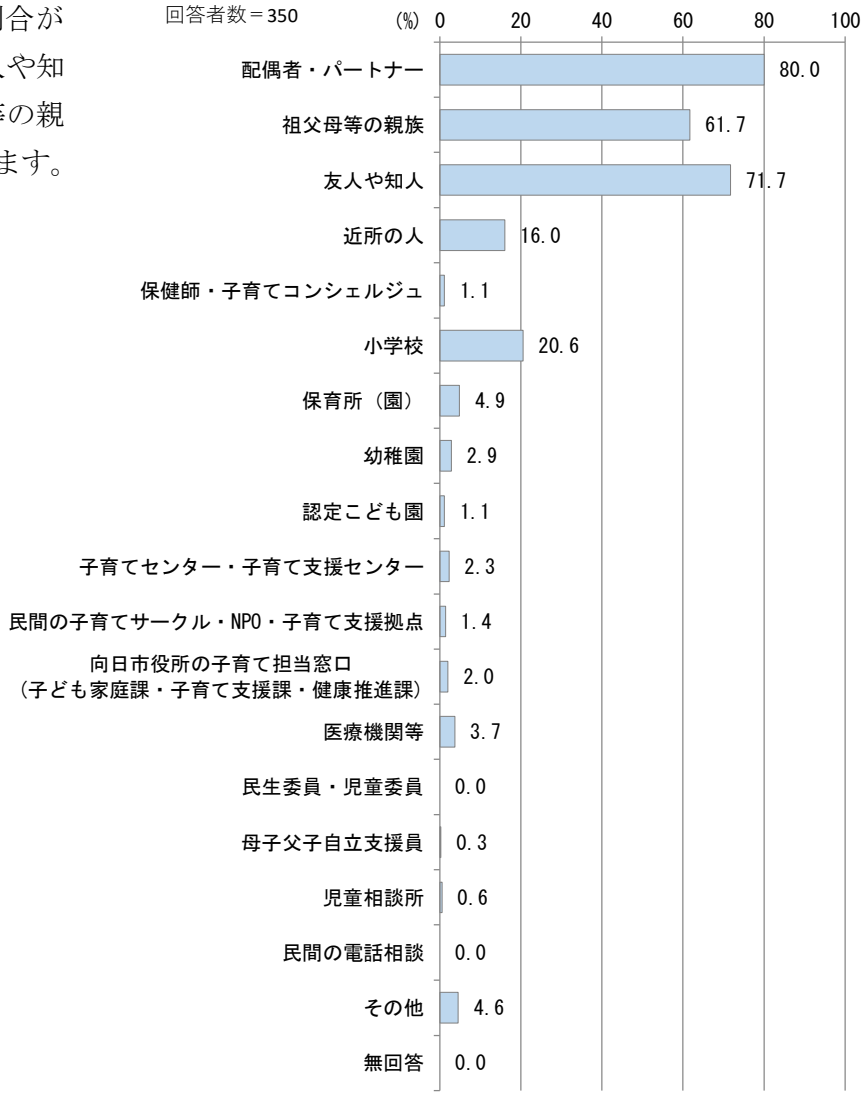
令和元年度調査と比較すると、「いる／ある」が 5.3%減少しています。



問 11 で「１　いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

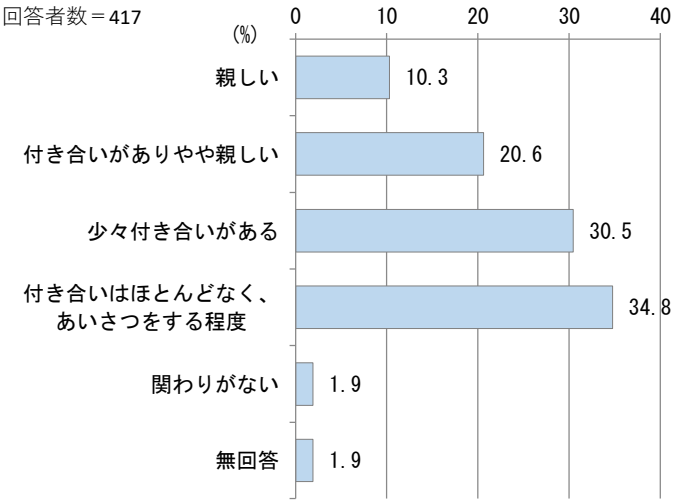
問11－１　お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

「配偶者・パートナー」の割合が80.0%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が71.7%、「祖父母等の親族」の割合が61.7%となっています。



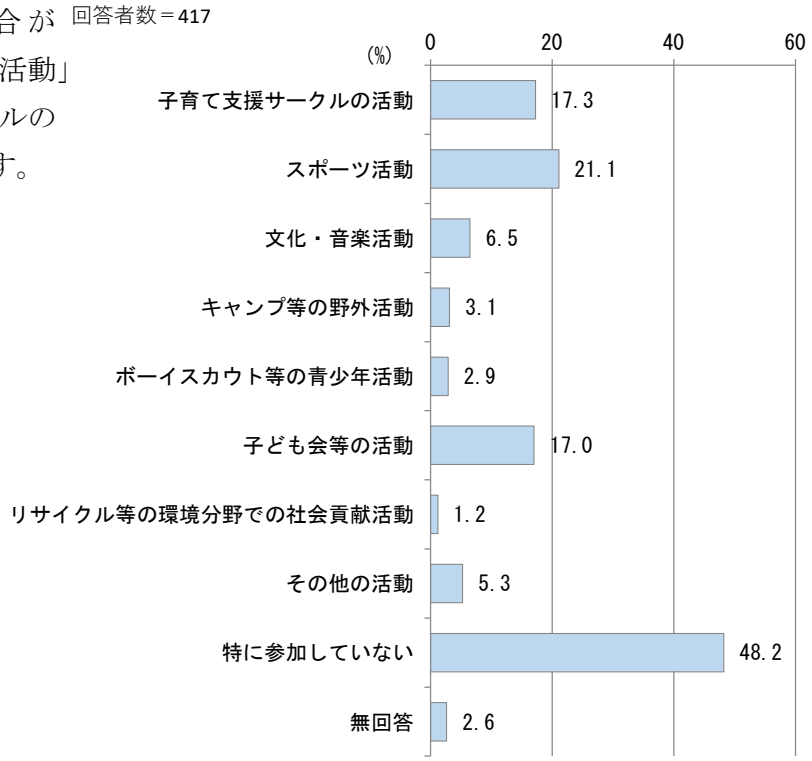
問 12　ご近所や地域の人々とのお付き合いはどうですか。あてはまるものに○をつけてください。

「付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」の割合が34.8%と最も高く、次いで「少々付き合いがある」の割合が30.5%、「付き合いがありやや親しい」の割合が20.6%となっています。



問 13　お子さんの地域での催しへの参加状況はどうですか。あてはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

「特に参加していない」の割合が48.2%と最も高く、次いで「スポーツ活動」の割合が21.1%、「子育て支援サークルの活動」の割合が17.3%となっています。



（３）お子さんの保護者の就労状況について

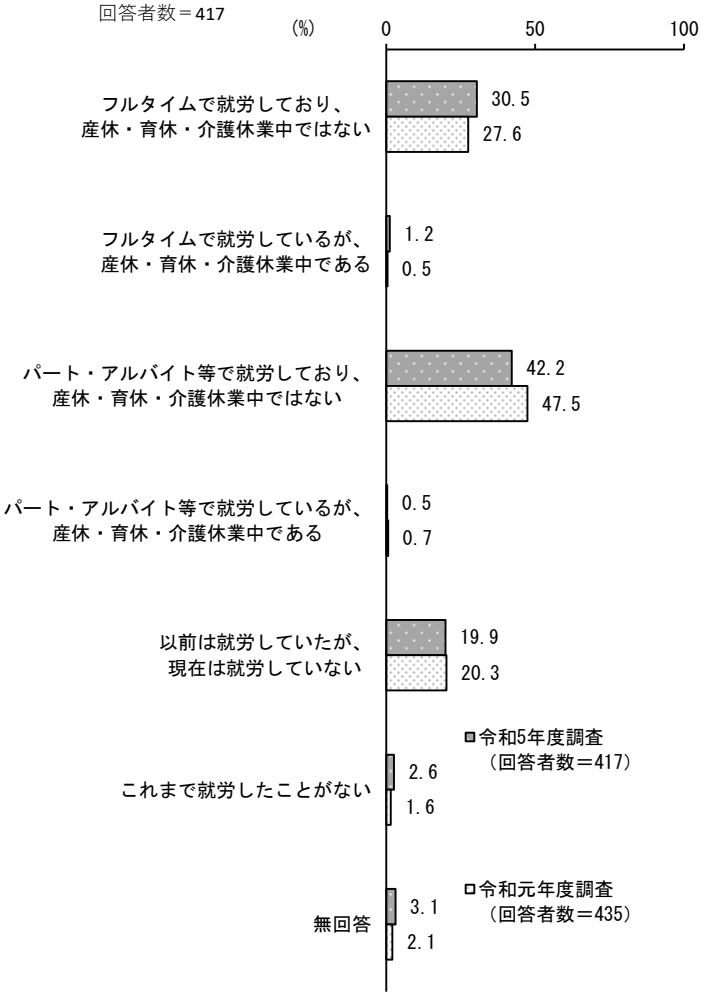
ひとり親家庭の場合は、母親又は父親のみお答えください。

問 15　お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号に〇をつけてください。（複数回答可）

ア　母親

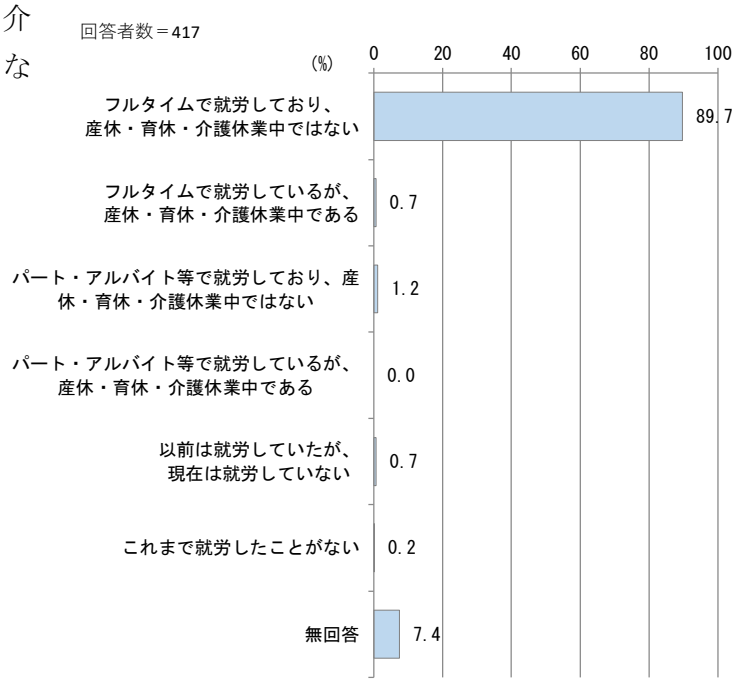
「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が42.2%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が30.5%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が19.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 2.9%増加しています。一方、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 5.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 0.4%減少しています。



イ　父親

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が89.7%と最も高くなっています。



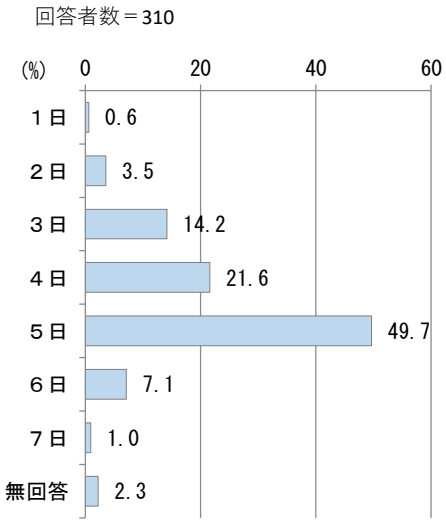
就労している方（１～４に○を付けた方）にうかがいます。就労パターンが一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

（１）－１　週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

ア　母親

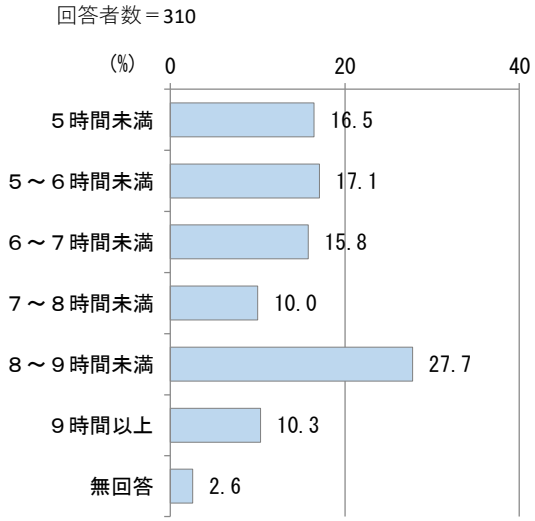
（ア）１週あたり就労日数

「５日」の割合が49.7%と最も高く、次いで「４日」の割合が21.6%、「３日」の割合が14.2%となっています。



（イ）１日当たり就労時間

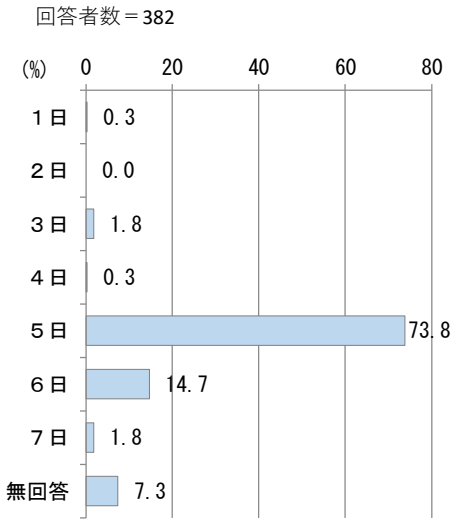
「８～９時間未満」の割合が27.7%と最も高く、次いで「５～６時間未満」の割合が17.1%、「５時間未満」の割合が16.5%となっています。



イ　父親

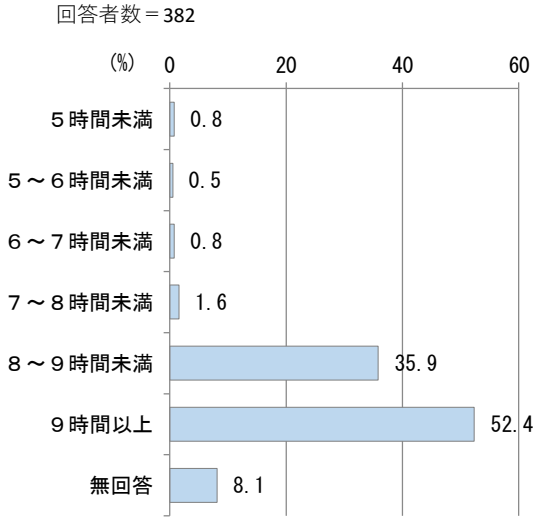
（ア）１週あたり就労日数

「５日」の割合が73.8%と最も高く、次いで「６日」の割合が14.7%となっています。



（イ）１日当たり就労時間

「９時間以上」の割合が52.4%と最も高く、次いで「８～９時間未満」の割合が35.9%となっています。

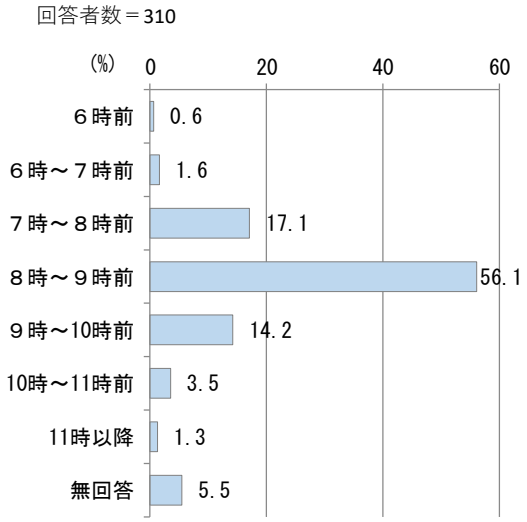


（１）－２　家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間は、必ず（例）08時～17時のように、24時間制(30分単位)でお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

ア　母親

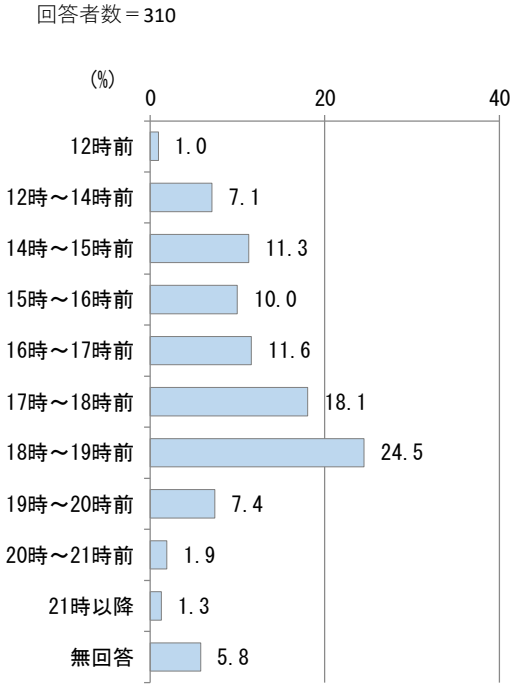
（ア）家を出る時刻

「８時～９時前」の割合が56.1%と最も高く、次いで「７時～８時前」の割合が17.1%、「９時～10時前」の割合が14.2%となっています。



（イ）帰宅時刻

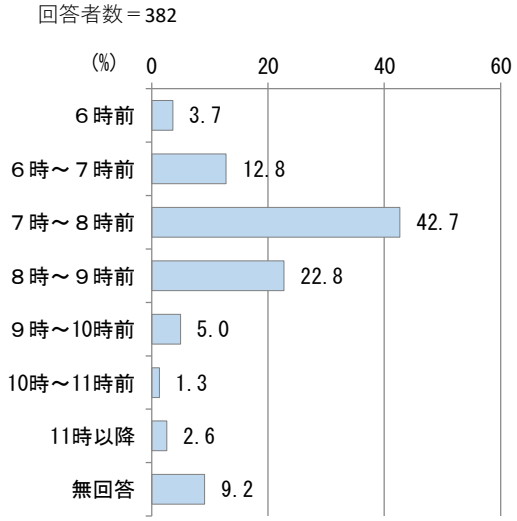
「18時～19時前」の割合が24.5%と最も高く、次いで「17時～18時前」の割合が18.1%、「16時～17時前」の割合が11.6%となっています。



イ　父親

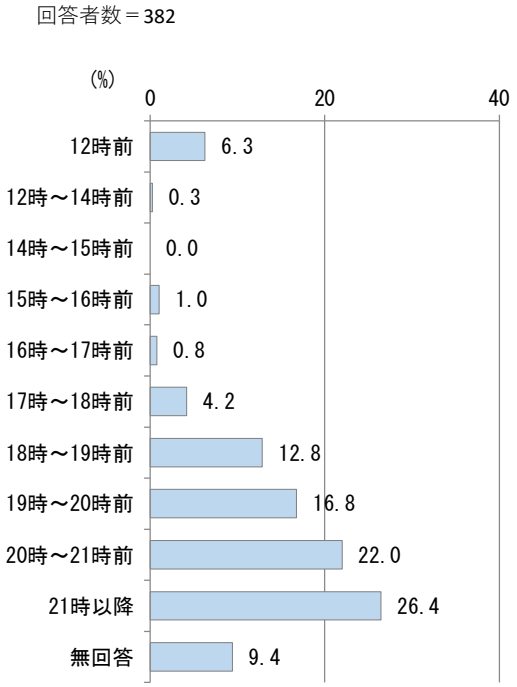
（ア）家を出る時刻

「７時～８時前」の割合が42.7％と最も高く、次いで「８時～９時前」の割合が22.8％、「６時～７時前」の割合が12.8％となっています。



（イ）帰宅時刻

「21時以降」の割合が26.4％と最も高く、次いで「20時～21時前」の割合が22.0％、「19時～20時前」の割合が16.8％となっています。

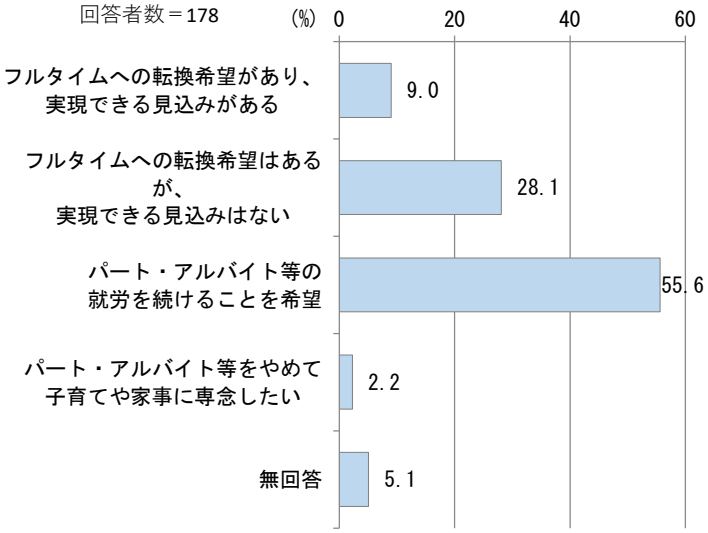


パート・アルバイト等で就労している方(問15で「３、４」に○をつけた方)にうかがいます。

問16　フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度以上の就労）への転換希望はありますか。当てはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

ア　母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が55.6%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が28.1%となっています。



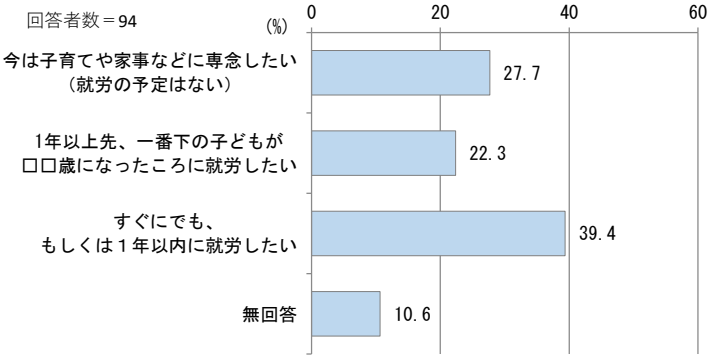
イ　父親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が３件となっています。

問17　問15で「５　以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６　これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号に○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。

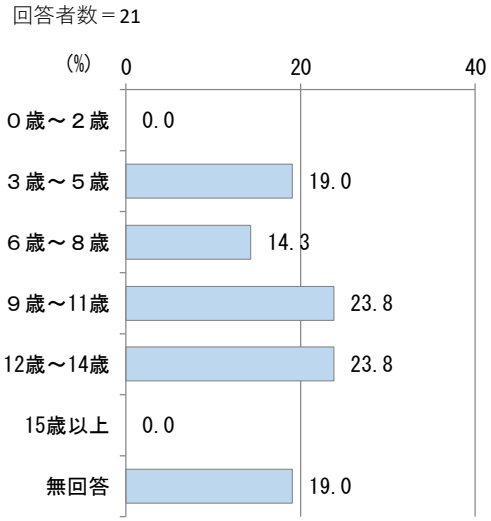
（１）母親

「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」の割合が39.4%と最も高く、次いで「今は子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が27.7%、「１年以上先、一番下のこどもが□□歳になったころに就労したい」の割合が22.3%となっています。



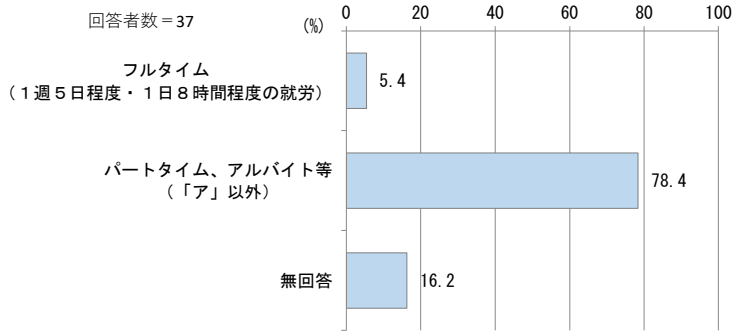
２　１年以上先、一番下のこどもが□□歳になったころに就労したい

「９歳～11歳」、「12歳～14歳」の割合がそれぞれ23.8％と最も高く、次いで「３歳～５歳」の割合が19.0％、「６歳～８歳」の割合が14.3％となっています。



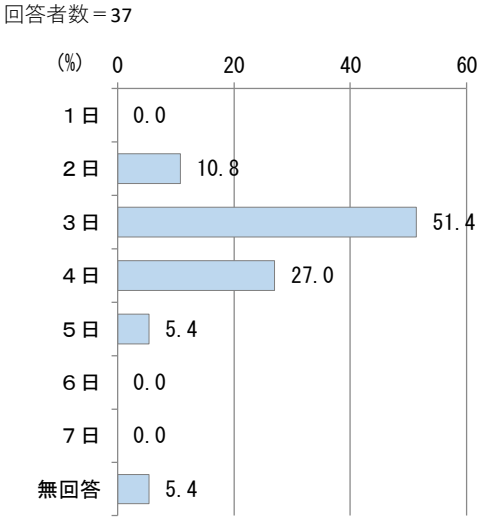
ア　希望する就労形態

「ア．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）」の割合が5.4％、「イ．パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」の割合が78.4％となっています。



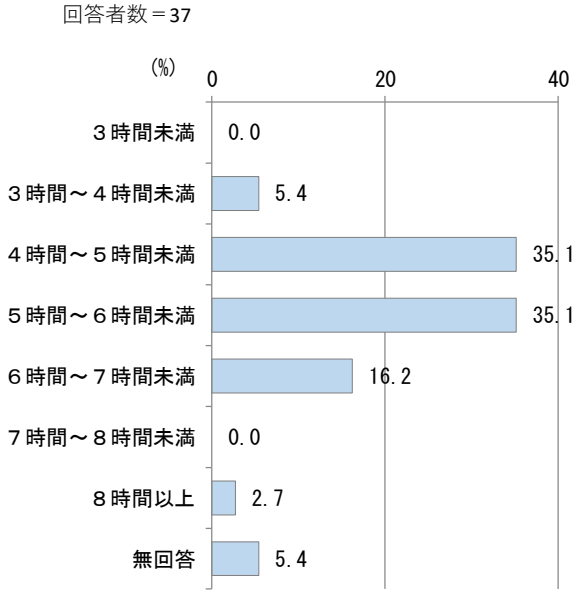
（ア）パートタイム、アルバイト等　１週あたり希望就労日数

「３日」の割合が51.4％と最も高く、次いで「４日」の割合が27.0％となっています。



（イ）パートタイム、アルバイト等　１日あたり希望就労時間

「４時間～５時間未満」、「５時間～６時間未満」の割合がそれぞれ35.1％と最も高く、次いで「６時間～７時間未満」の割合が16.2％となっています。



（２）父親

有効回答がありませんでした。

２　１年以上先、一番下のこどもが□□歳になったころに就労したい

有効回答がありませんでした。

ア　希望する就労形態

有効回答がありませんでした。

（ア）パートタイム、アルバイト等　１週あたり希望就労日数

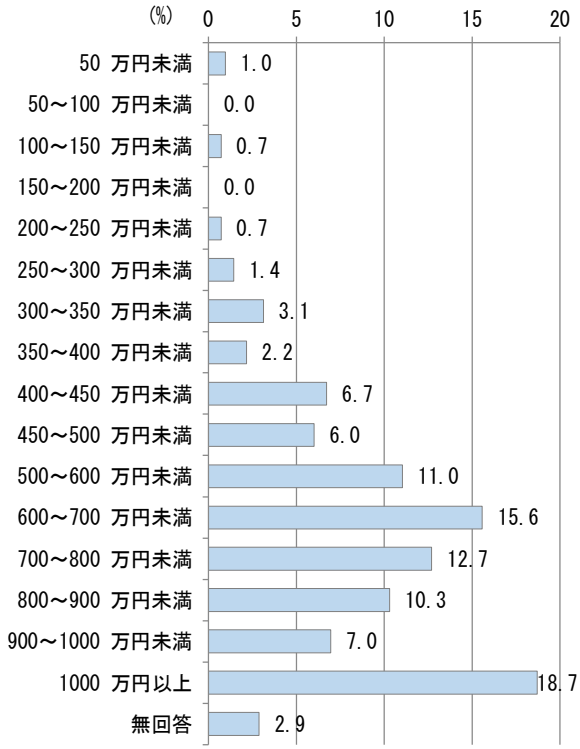
有効回答がありませんでした。

（イ）パートタイム、アルバイト等　１日あたり希望就労時間

有効回答がありませんでした。

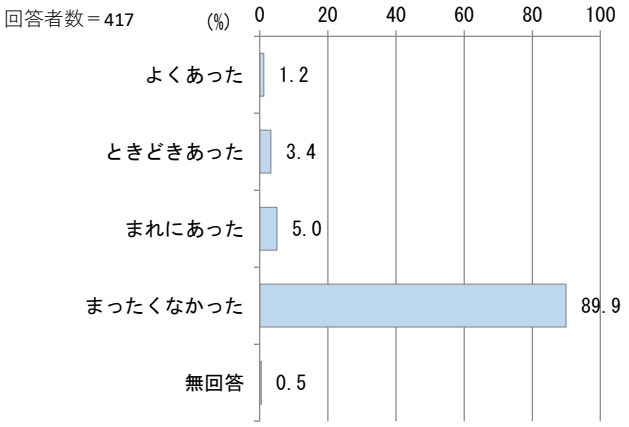
問 18　世帯全体のおおよおの年間収入（税込）はいくらですか。当てはまる番号に○をつけてください。※2022 年の年間収入についてお答えください。

「1000万円以上」が18.7%と最も高く、次いで「600～700万円未満」が15.6%、「700～800万円未満」が12.7%となっています。



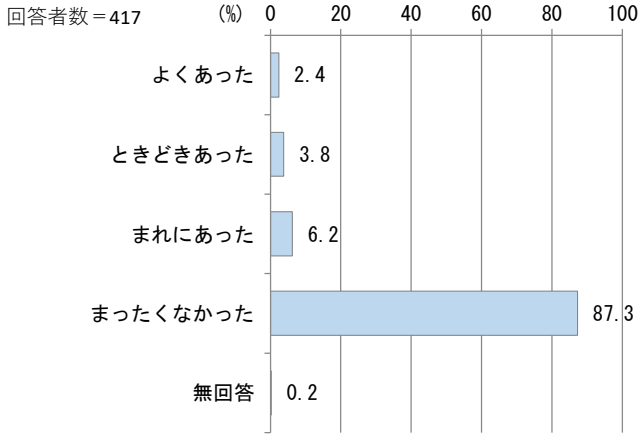
問 19　あなたの世帯では、過去１年間の間に、お金が足りなくて家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。当てはまる番号に○をつけてください。

「まれにあった」が5.0%、「ときどきあった」が3.4%、「よくあった」が1.2%となっています。



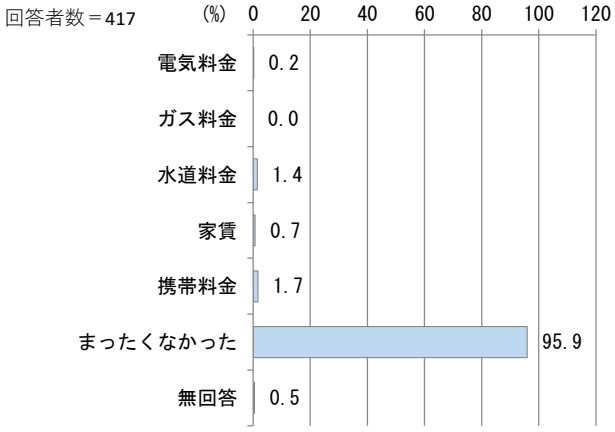
問 20　あなたの世帯では、過去１年間の間に、お金が足りなくて家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。当てはまる番号に○をつけてください。

「まれにあった」が6.2%、「ときどきあった」が3.8%、「よくあった」が2.4%となっています。



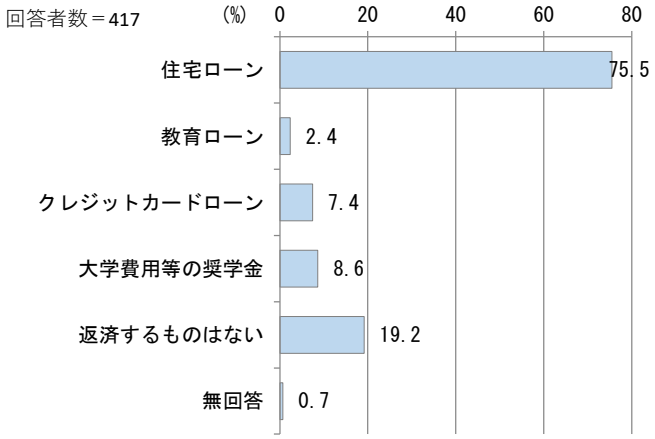
問 21　あなたの世帯では、過去１年間の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。当てはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

「携帯料金」が1.7%、「水道料金」が1.4%、「家賃」が0.7%、「電気料金」が0.2%となっています。



問 21-１　あなたの世帯では、ローンや奨学金の返済はありますか。あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

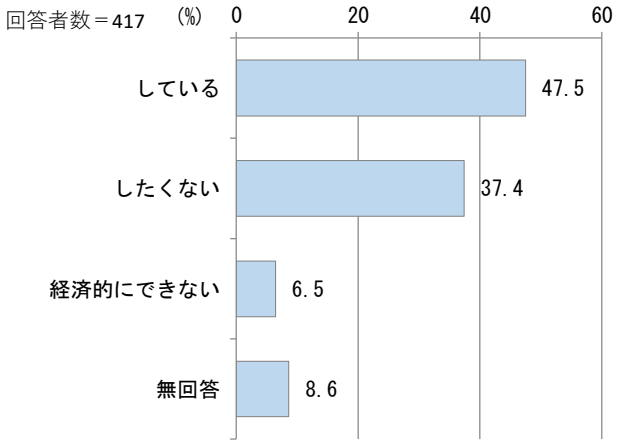
「住宅ローン」の割合が75.5％と最も高くなっており、次いで「返済するものはない」の割合が19.2％、「大学費用等の奨学金」の割合が8.6％となっています。



問 22　あなたの世帯では、お子さんに次のＡ～Ｈのようなことをしていますか。それぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけてください。

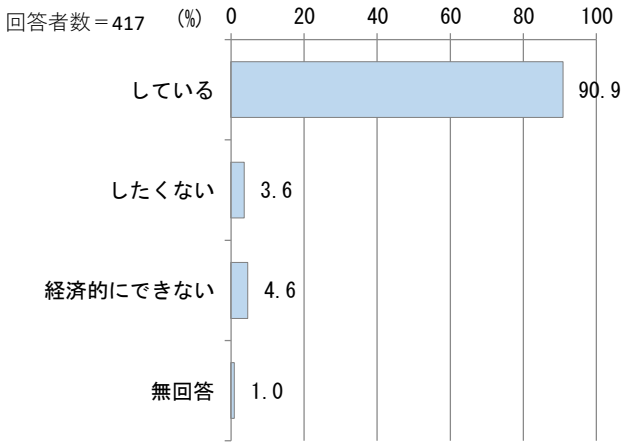
(A) 毎月小遣いを渡す

「している」が47.5％と最も高く、次いで「したくない」が37.4％、「経済的にできない」が6.5％となっています。



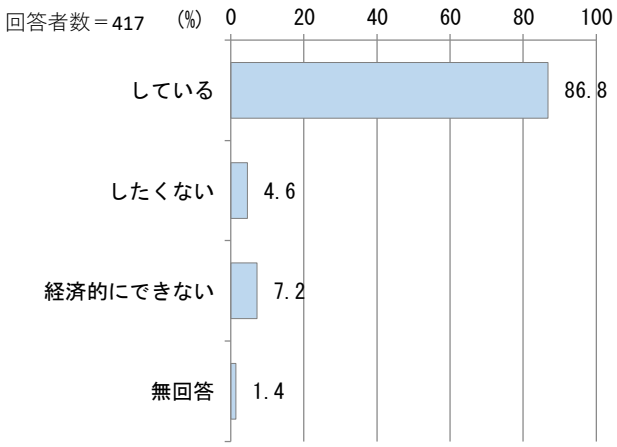
(B) 毎年新しい洋服・靴を買う

「している」が90.9％と最も高く、次いで「経済的にできない」が4.6％、「したくない」が3.6％となっています。



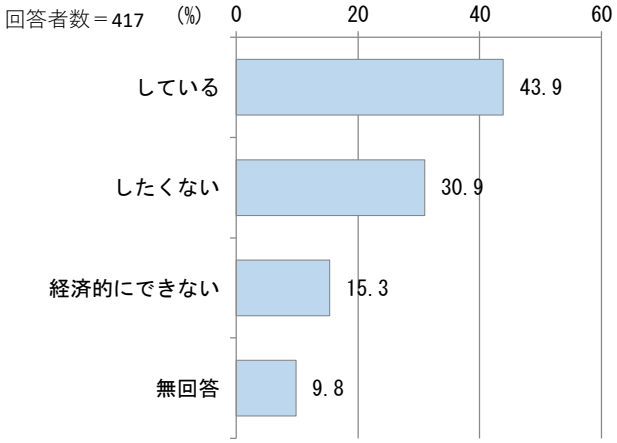
(C) 習い事（音楽、スポーツ等）に通わせる

「している」が86.8%と最も高く、次いで「経済的にできない」が7.2%、「したくない」が4.6%となっています。



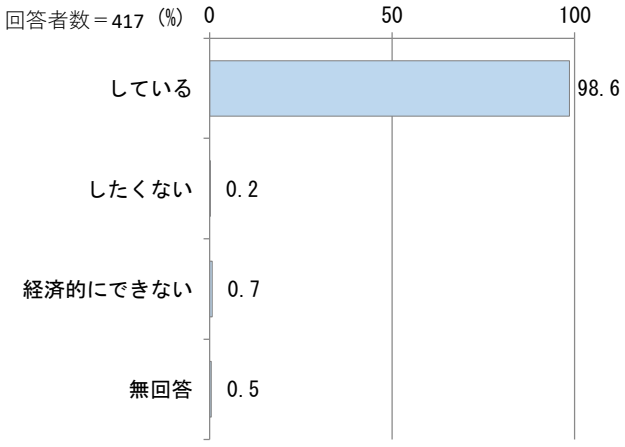
(D) 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）

「している」が43.9%と最も高く、次いで「したくない」が30.9%、「経済的にできない」が15.3%となっています。



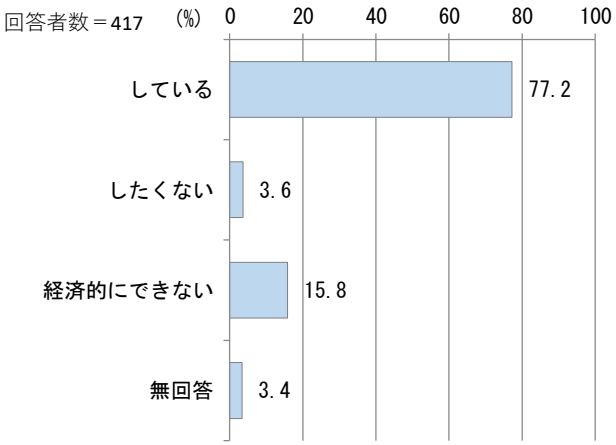
(E) お誕生日のお祝いをする

「している」が98.6%と最も高く、次いで「経済的にできない」が0.7%、「したくない」が0.2%となっています。



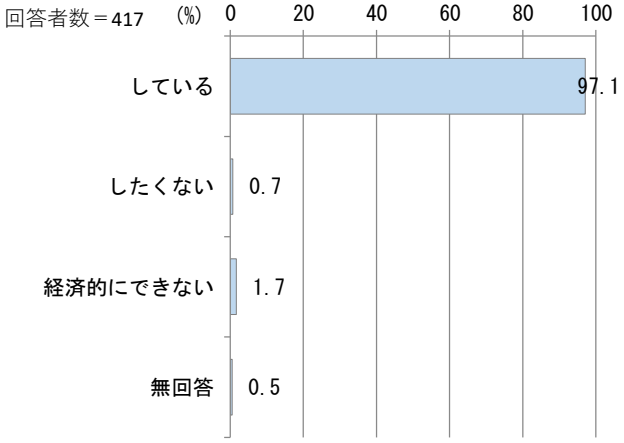
(F) １年に１回くらい家族旅行に行く

「している」が77.2%と最も高く、次いで「経済的にできない」が15.8%、「したくない」が3.6%となっています。



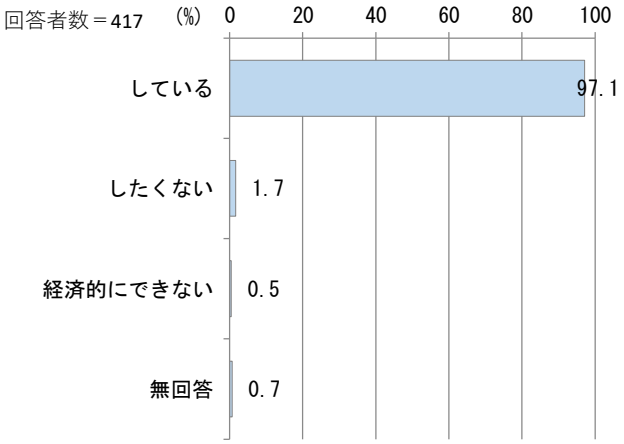
(G) クリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげる

「している」が97.1%と最も高く、次いで「経済的にできない」が1.7%、「したくない」が0.7%となっています。



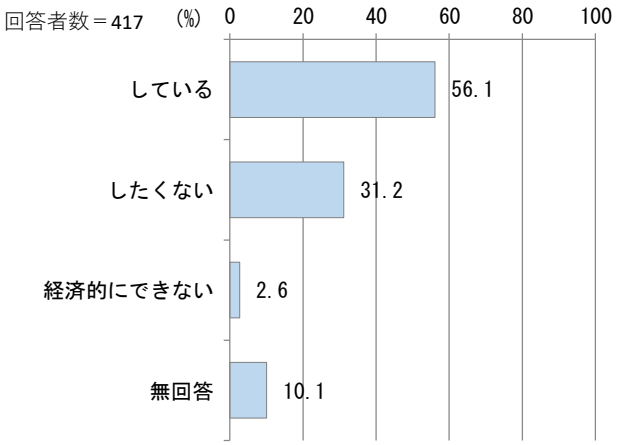
(H) こどもの学校行事などへ親が参加する

「している」が97.1%と最も高く、次いで「したくない」が1.7%、「経済的にできない」が0.5%となっています。



（I）親子で地域の行事に参加する

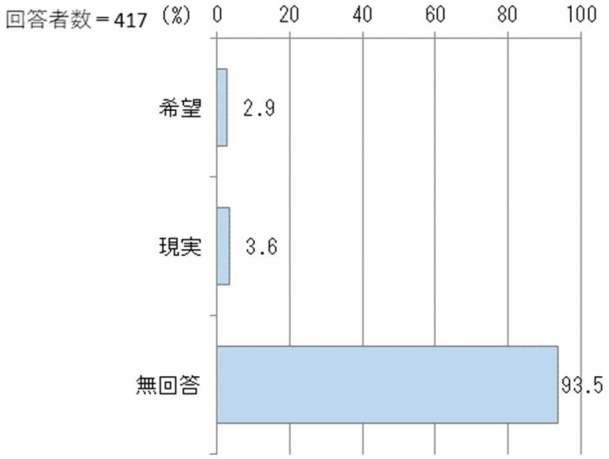
「している」が56.1%と最も高く、次いで「したくない」が31.2%「経済的にできない」が2.6%となっています。



問 23　お子さんについて、どの段階まで進学すると思いますか。あなたの希望と、現実的に見た場合、それぞれについて、当てはまる番号に○をつけてください。

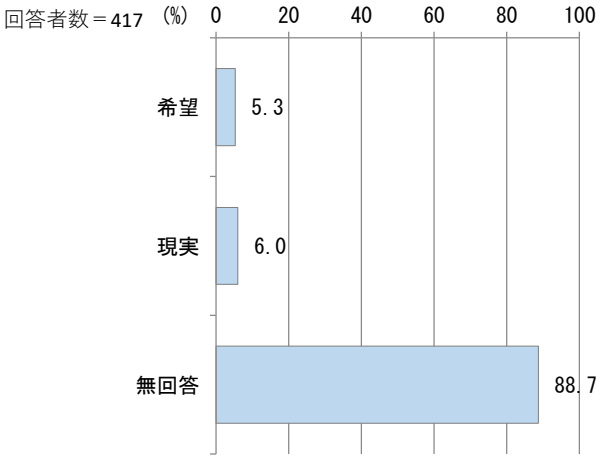
・中学まで

「希望」が2.9%、「現実」が3.6%となっています。



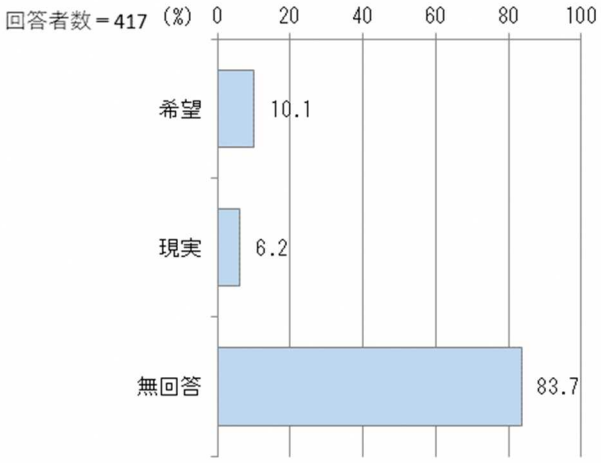
・高校まで

「希望」が5.3%、「現実」が6.0%となっています。



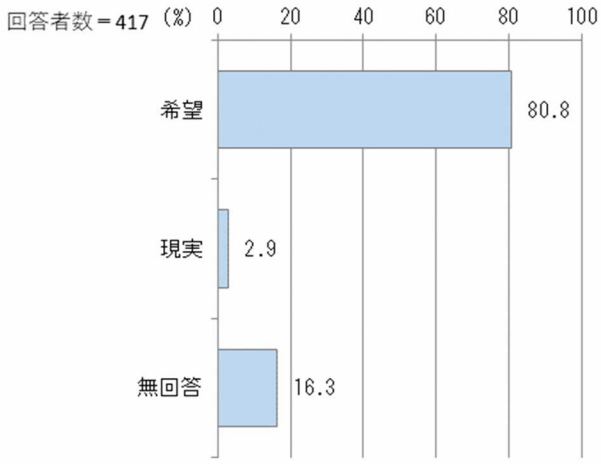
・短大・高専・専門学校まで

「希望」が10.1%、「現実」が6.2%となっています。



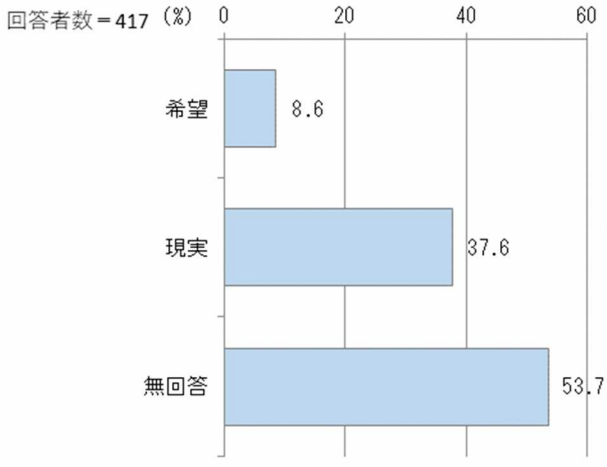
・大学・大学院まで

「希望」が80.8%、「現実」が2.9%となっています。



・まだわからない

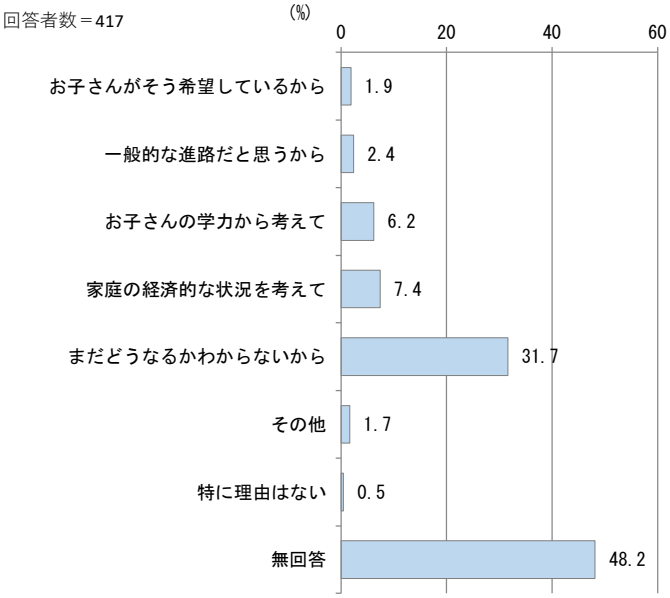
「希望」が8.6%、「現実」が37.6%となっています。



問23で「希望」と「現実」で異なる回答をした方にうかがいます。

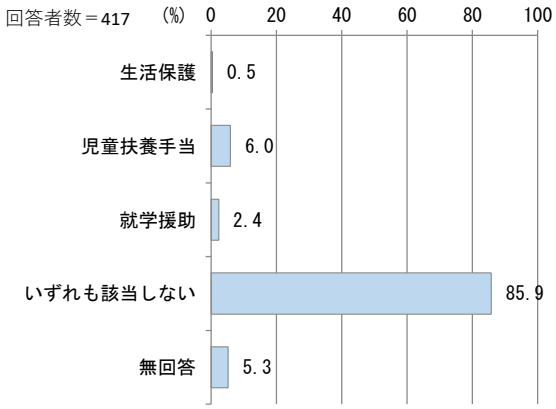
問24　「希望」と「現実」が異なると考えたのはなぜですか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

「まだどうなるかわからないから」が31.7%と最も高く、次いで「家庭の経済的な状況を考えて」が7.4%、「お子さんの学力から考えて」が6.2%となっています。



問25　あなたの世帯では、現在次の制度を利用していますか。当てはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

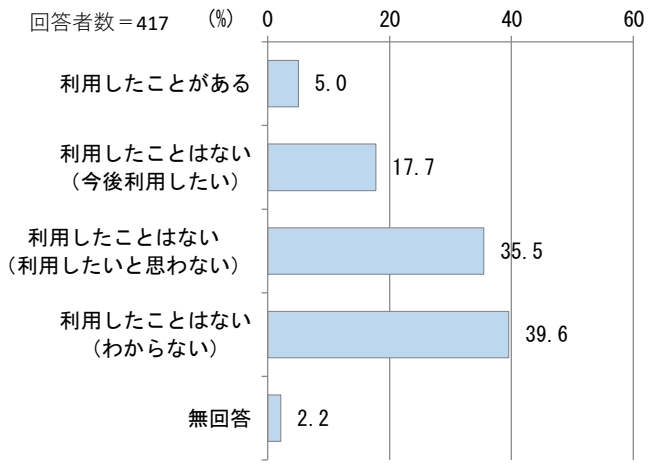
「いずれも該当しない」が85.9%と最も高くなっており、ついで「児童扶養手当」が6.0%、「就学援助」が2.4%、「生活保護」が0.5%となっています。



問26　お子さんは、次のような場所などを利用したことがありますか。また利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけてください。

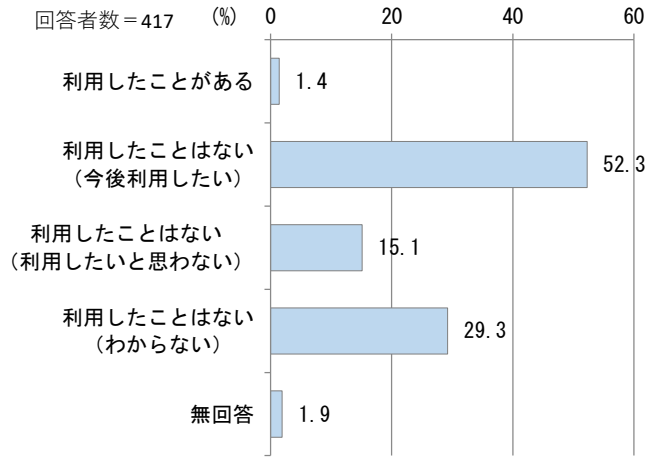
・（自分や友達の家以外で）夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（こども食堂など）

「利用したことはない（わからない）」が39.6%と最も高く、次いで「利用したことはない（利用したいと思わない）」が35.5%、「利用したことはない（今後利用したい）」が17.7%、「利用したことがある」が5.0%となっています。



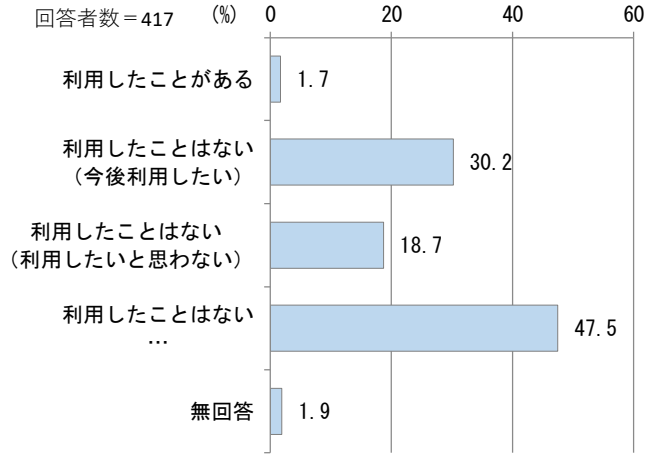
・勉強を無料または、低額でみてくれる場所

「利用したことはない（今後利用したい）」が52.3%と最も高く、次いで「利用したことはない（わからない）」が29.3%、「利用したことはない（利用したいと思わない）」が15.1%、「利用したことがある」が1.4%となっています。



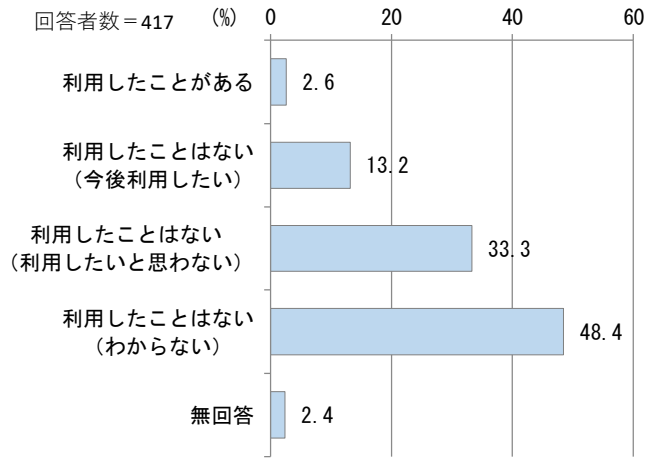
・（家や学校以外で）なんでも相談できる場所（電話やネットを含む）

「利用したことはない（わからない）」が47.5%と最も高く、次いで「利用したことはない（今後利用したい）」が30.2%、「利用したことはない（利用したいと思わない）」が18.7%、「利用したことがある」が1.7%となっています。



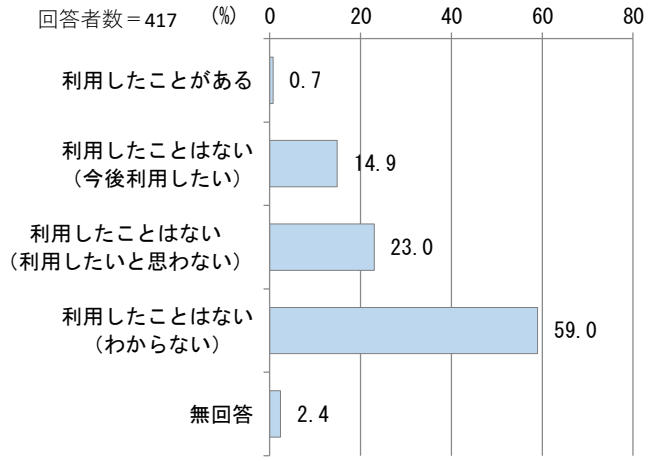
・こども宅食・フードバンク

「利用したことはない（わからない）」が48.4%と最も高く、次いで「利用したことはない（利用したいと思わない）」が33.3%、「利用したことはない（今後利用したい）」が13.2%、「利用したことがある」が2.6%となっています。



・スクールソーシャルワーカー

「利用したことはない（わからない）」が59.0%と最も高く、次いで「利用したことはない（利用したいと思わない）」が23.0%、「利用したことはない（今後利用したい）」が14.9%、「利用したことがある」が0.7%となっています。



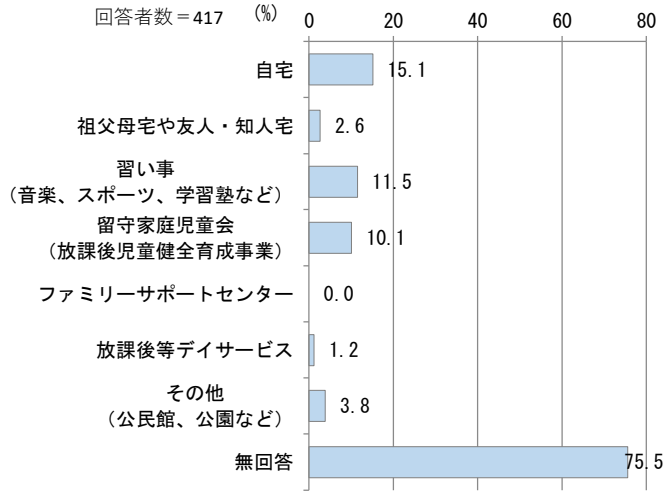
（４）宛名のお子さんの放課後の様子について

問 27　お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、今後どのようにすごさせたいですか。当てはまる番号に○をつけ、それぞれ週当たり日数を数字でご記入ください。（複数回答可）また、「留守家庭児童会」の場合には、利用している時間も□内に数字でご記入ください。また、土日の利用状況もお答えください。時間は必ず（例）17 時　のように２４時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

・小学校１・２年生

「自宅」の割合が15.1％と最も高く、次いで「習い事（音楽、スポーツ、学習塾など）」の割合が11.5％、「留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）」の割合が10.1％となっています。

令和元年度調査では学年別に調査がされていなかったため、比較はできません。



【放課後に過ごしている場所】

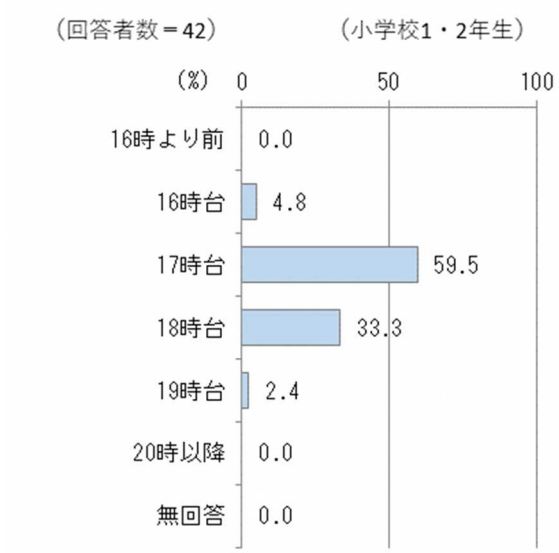
小学校1・2年生

単位（%）

区分	回答者	１日	２日	３日	４日	５日	６日	７日	無回答
1. 自宅	63	12.7	20.6	7.9	11.1	33.3	3.2	7.9	3.2
2. 祖父母や友人・知人宅	11	72.7	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
3. 習いごと（ピアノなどの教室、学習塾など）	48	33.3	33.3	20.8	4.2	2.1	0.0	0.0	6.3
4. 留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）	42	0.0	0.0	9.5	19.0	64.3	7.1	0.0	0.0
5. ファミリーサポートセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 放課後等デイサービス	5	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. その他（公民館、公園など）	16	6.3	31.3	12.5	6.3	31.3	6.3	0.0	6.3

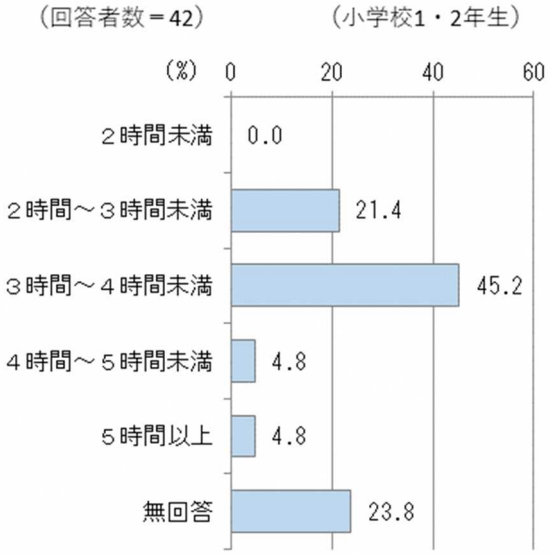
・留守家庭児童会の利用終了時刻

「17時台」の割合が59.5％と最も高くなっています。



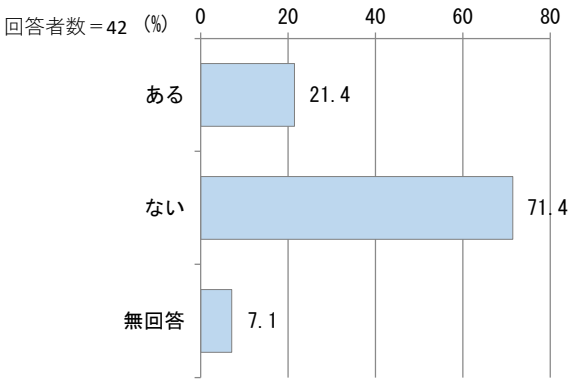
・留守家庭児童会の利用時間

「３時間～４時間未満」の割合が45.2％と最も高く、次いで「２時間～３時間未満」の割合が21.4％となっています。



・留守家庭児童会の土・日の利用

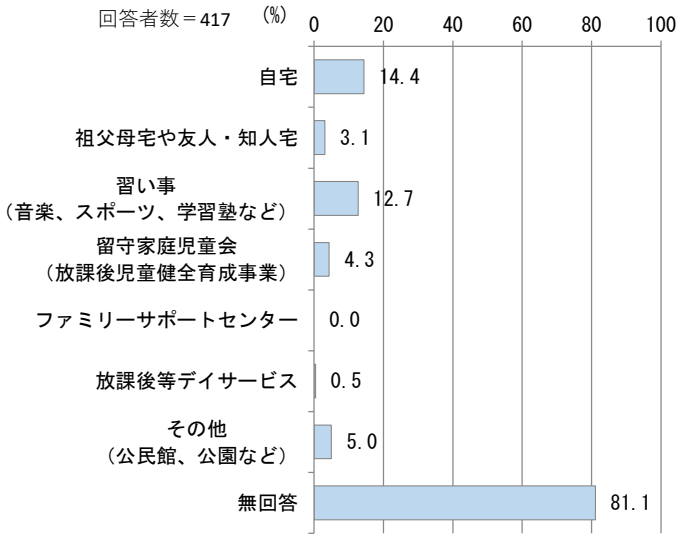
「ある」の割合が21.4％、「ない」の割合が71.4％となっています。



・小学校３・４年生

「自宅」の割合が14.4%と最も高く、次いで「習い事（音楽、スポーツ、学習塾など）」の割合が12.7%、「留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）」の割合が4.3%となっています。

令和元年度調査では学年別に調査がされていなかったため、比較はできません。



【放課後に過ごしている場所】

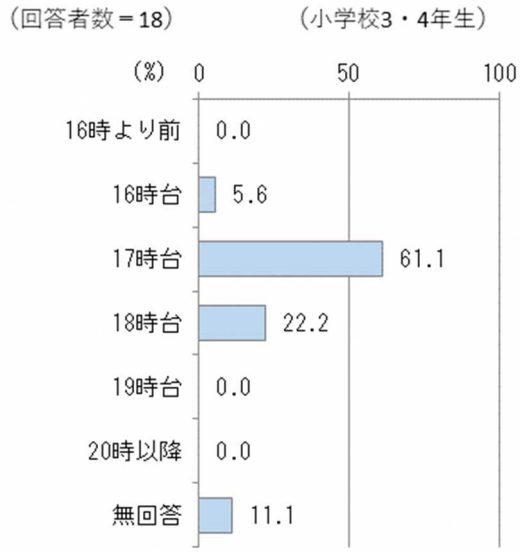
小学校3・4年生

単位（%）

区分	回答者	１日	２日	３日	４日	５日	６日	７日	無回答
1. 自宅	60	11.7	18.3	15.0	8.3	36.7	0.0	8.3	1.7
2. 祖父母や友人・知人宅	13	61.5	7.7	23.1	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0
3. 習いごと（ピアノなどの教室、学習塾など）	53	24.5	32.1	30.2	5.7	3.8	0.0	0.0	3.8
4. 留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）	18	5.6	0.0	22.2	11.1	55.6	5.6	0.0	0.0
5. ファミリーサポートセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 放課後等デイサービス	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
7. その他（公民館、公園など）	21	19.0	57.1	4.8	9.5	4.8	0.0	0.0	4.8

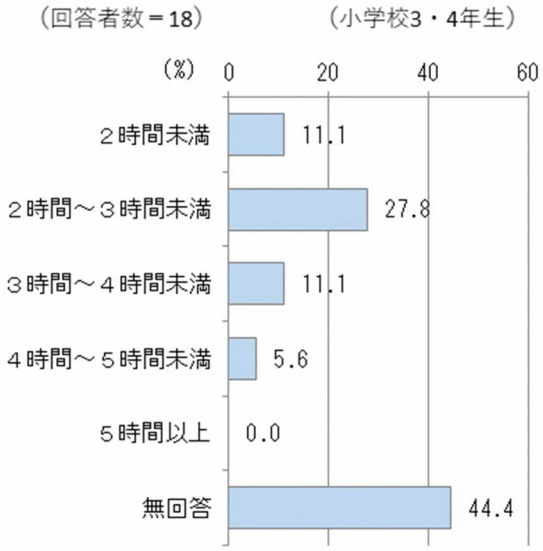
・留守家庭児童会の利用終了時刻

「17時台」の割合が61.1%と最も高くなっています。



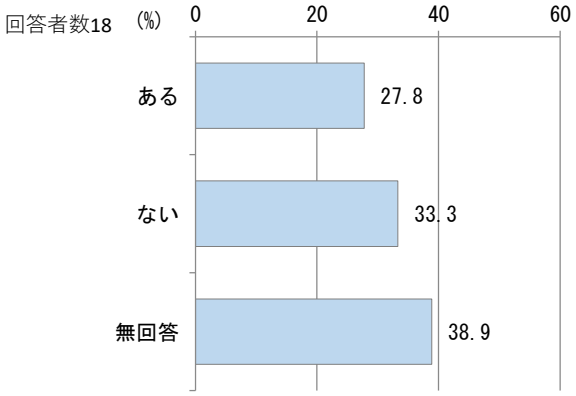
・留守家庭児童会の利用時間

「２時間～３時間未満」の割合が27.8%と最も高く、次いで「２時間未満」、「２時間～３時間未満」の割合が11.1%となっています。



・留守家庭児童会の土・日の利用

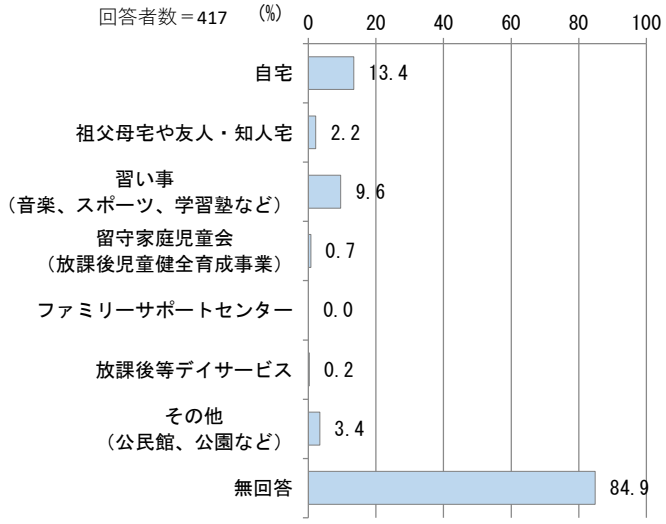
「ある」の割合が27.8%、「ない」の割合が33.3%となっています。



・小学校５・６年生

「自宅」の割合が13.4%と最も高く、次いで「習い事（音楽、スポーツ、学習塾など）」の割合が9.6%、「その他（公民館・公園など」の割合が3.4%となっています。

令和元年度調査では学年別に調査がされなかったため、比較はできません。



【放課後に過ごしている場所】

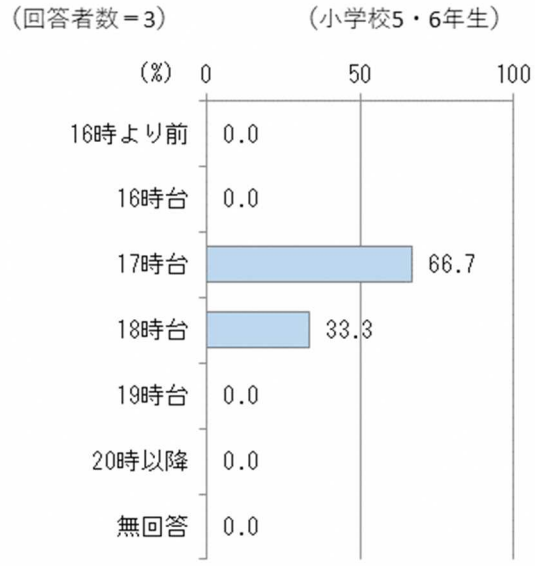
小学校5・6年生

単位（%）

区分	回答者	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 自宅	56	8.9	14.3	12.5	8.9	42.9	1.8	7.1	3.6
2. 祖父母や友人・知人宅	9	66.7	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3. 習いごと（ピアノなどの教室、学習塾など）	40	22.5	25.0	20.0	25.0	2.5	2.5	0.0	2.5
4. 留守家庭児童会（放課後児童健全育成事業）	3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
5. ファミリーサポートセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 放課後等デイサービス	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. その他（公民館、公園など）	14	21.4	35.7	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0	14.3

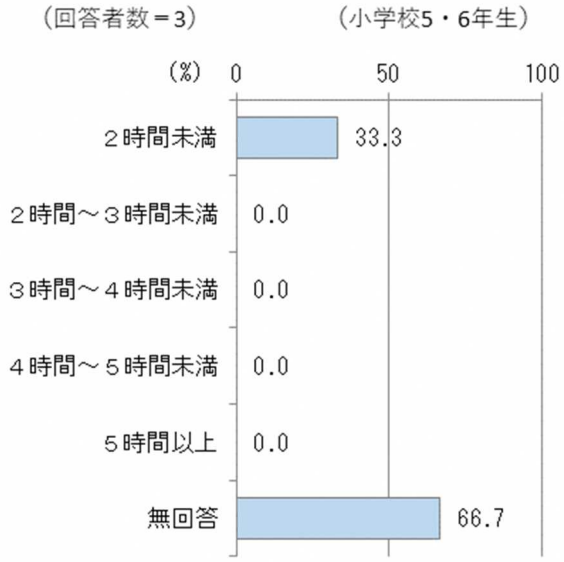
・留守家庭児童会の利用終了時刻

「17時台」の割合が66.7%と最も高く、次いで「18時台」の割合が33.3%となっています。



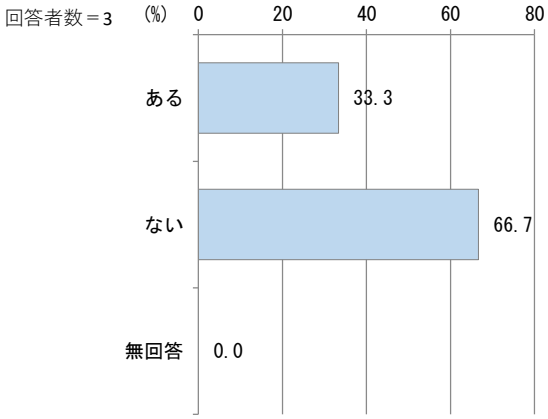
・留守家庭児童会の利用時間

「2時間未満」の割合が33.3%と最も高くなっています。



・留守家庭児童会の土・日の利用

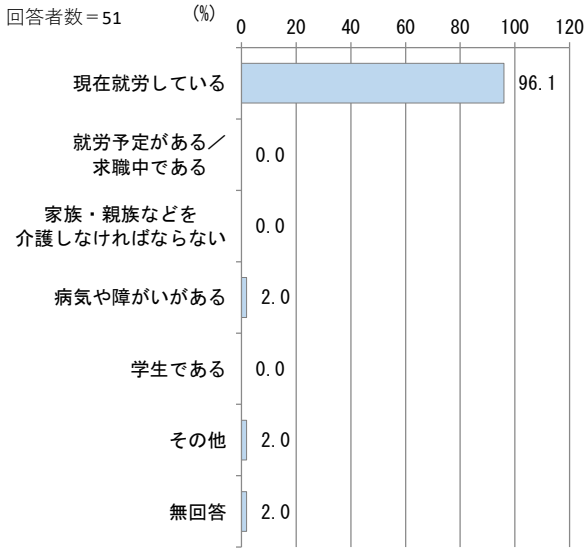
「ある」の割合が33.3%、「ない」の割合が66.7%となっています。



問 27 で「４　留守家庭児童会」を選ばれた方にお伺いします。

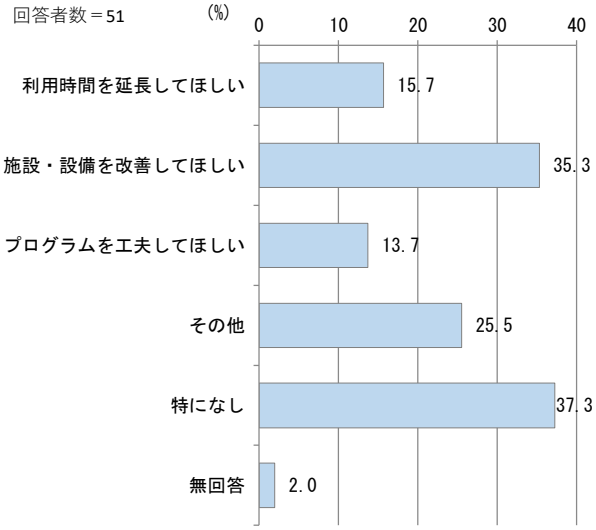
問 28　利用している理由について、あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

「現在就労している」の割合が96.1％と最も高くなっています。



問 29　留守家庭児童会に対してどのように感じておられますか、あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

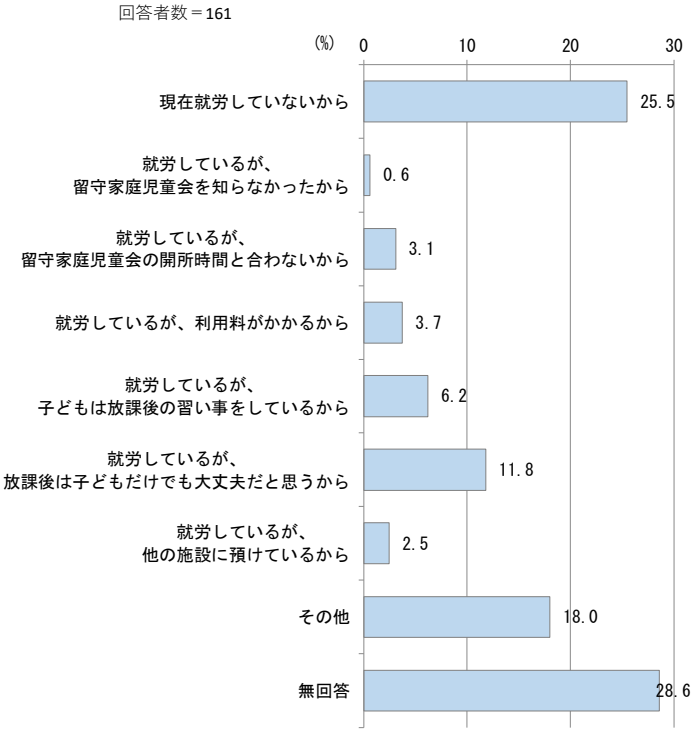
「特になし」の割合が37.3％と最も高く、次いで「施設・設備を改善してほしい」の割合が35.3％、「利用時間を延長してほしい」の割合が15.7％となっています。



問 27 で「４留守家庭児童会」以外を選ばれた方にお伺いします。

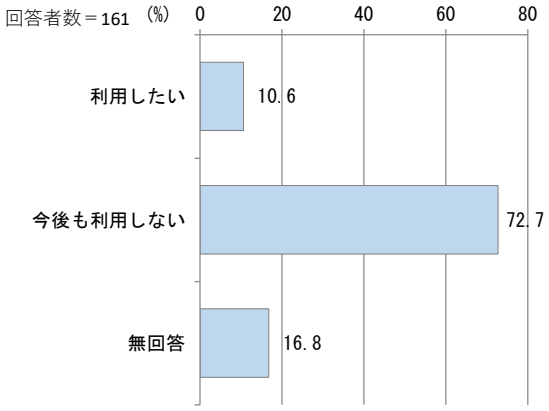
問 30　利用していない理由について、もっともあてはまるものに○をつけてください。

「現在就労していないから」の割合が25.5%と最も高く、次いで「就労しているが、放課後はこどもだけでも大丈夫だと思うから」の割合が11.8%となっています。



問 31　お子さんについて、今後、留守家庭児童会を利用したいとお考えですか。あてはまる番号に○をつけてください。（時間は、必ず 24 時間制で記入してください。）

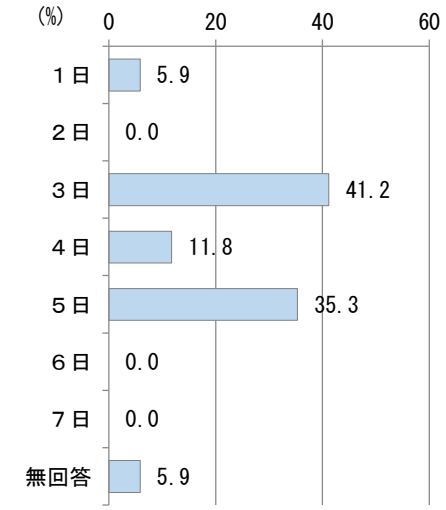
「利用したい」の割合が10.6%、「今後も利用しない」の割合が72.7%となっています。



ア　利用したい　週あたり利用希望日数

「３日」の割合が41.2%と最も高く、次いで「５日」の割合が35.3となっています。

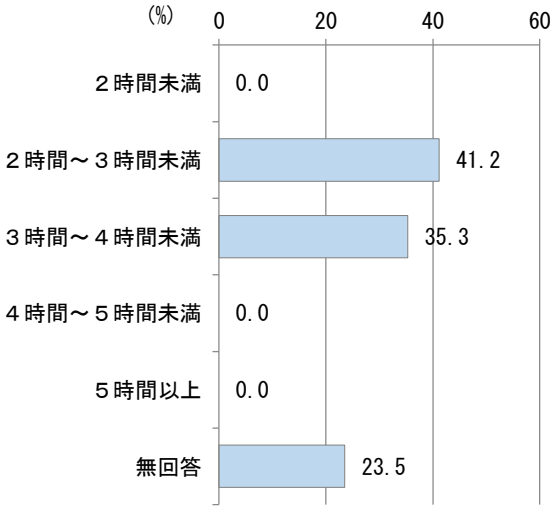
（回答者数＝17）



イ　利用したい１日あたり利用時間

「２時間～３時間未満」の割合が41.2%と最も高く、次いで「３時間～４時間未満」の割合が35.3%となっています。

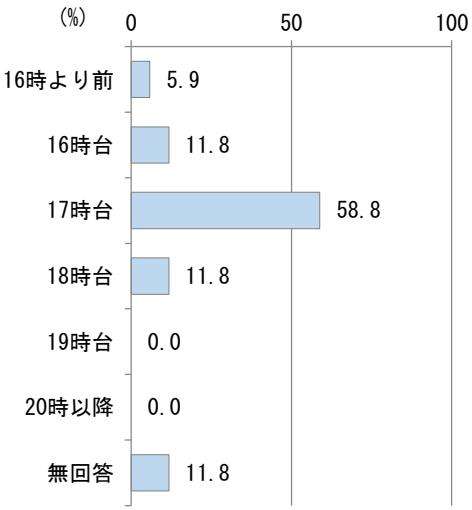
（回答者数＝17）



ウ　利用したい利用開始時刻（下校時から）

「17時台」の割合が58.8%と最も高く、次いで「16時台」「、18時台」の割合がそれぞれ11.8%となっています。

（回答者数＝17）

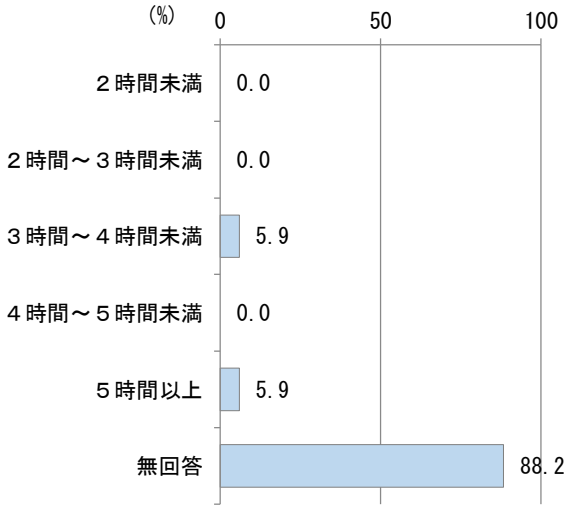


エ　土・日の利用希望

（ア）利用時間

「３時間～４時間未満」の割合が5.9％と最も高くなっています。

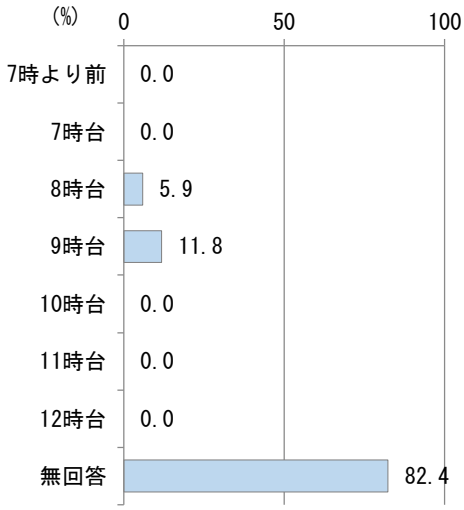
（回答者数＝17）



（イ）利用開始時刻

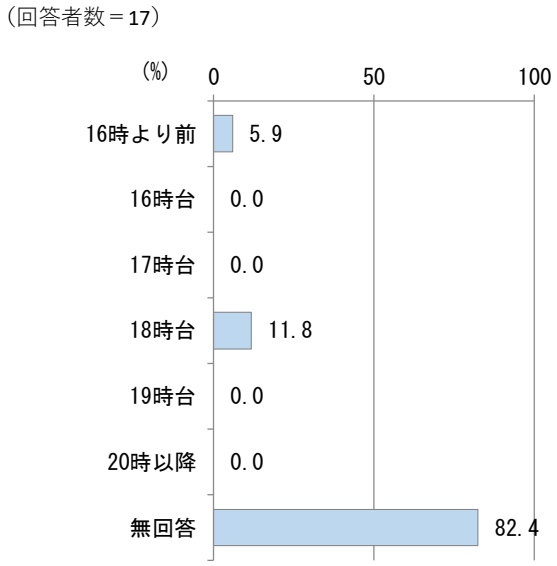
「９時台」の割合が11.8％と最も高くなっています。

（回答者数＝17）



（ウ）利用終了時刻

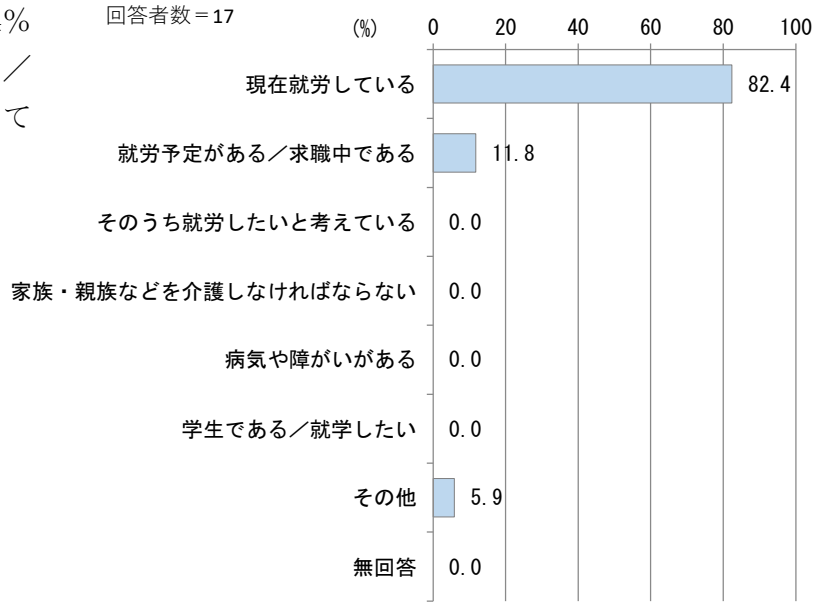
「18時台」の割合が11.8%と最も高くなっています。



問31で「１　利用したい」を選ばれた方にお伺いします。

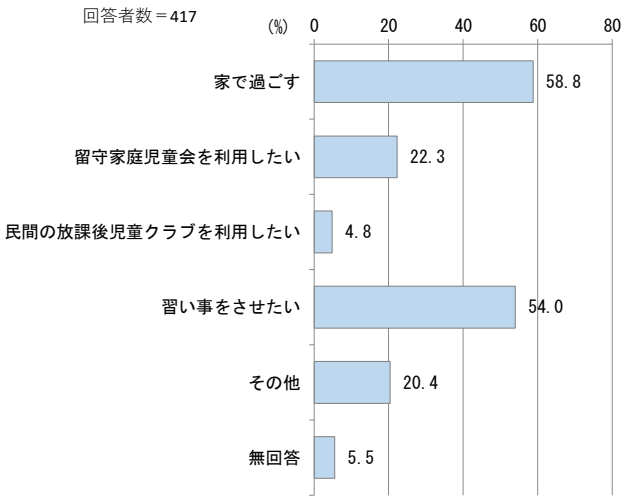
問31-１　利用したい理由について、もっともあてはまる答えの番号に○をつけてください。

「現在就労している」の割合が82.4%と最も高く、次いで「就労予定がある／求職中である」の割合が11.8%となっています。



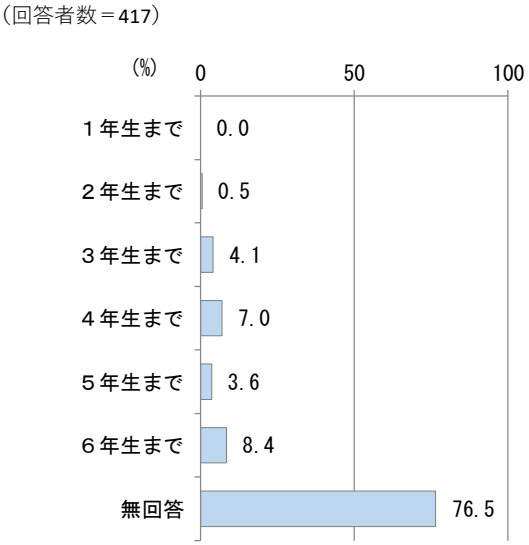
問 32　すべての方にお伺いします。宛名のお子さんについてお伺いします。放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

「家で過ごす」の割合が58.8％と最も高く、次いで「習い事をさせたい」の割合が54.0％、「留守家庭児童会を利用したい」の割合が22.3％となっています。



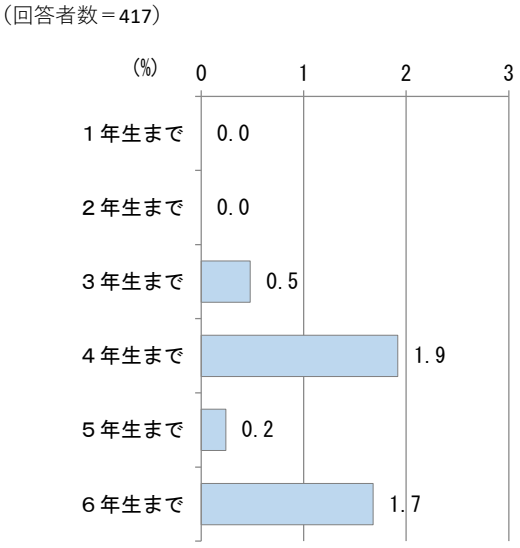
・　留守家庭児童会の利用したい学年

「６年生まで」の割合が8.4％と最も高く、次いで「４年生まで」の割合が7.0％、「３年生まで」の割合が4.1％となっています。



・民間の放課後児童クラブの利用したい学年

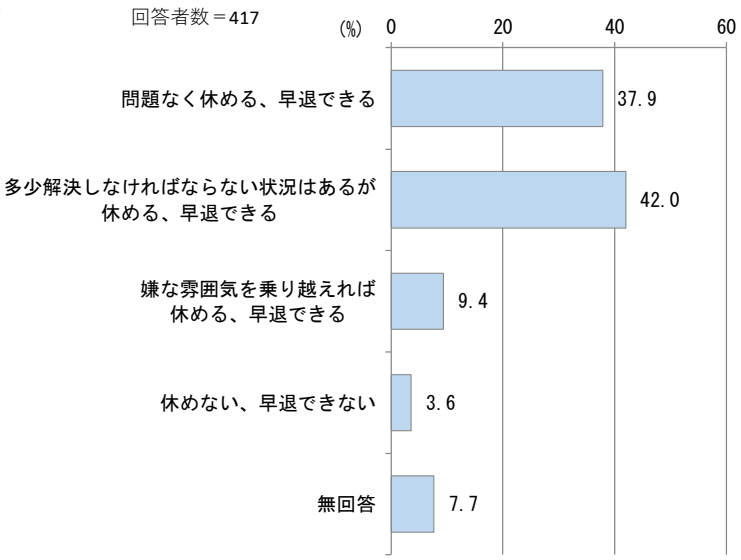
「４年生まで」の割合が1.9％と最も高く、次いで「６年生まで」の割合が1.7％、「３年生まで」の割合が0.5％となっています。



（５）お子さんの病気の際の対応について

問 33　こどもが病気の際、それを理由に仕事を休めたり、早退できますか。当てはまる番号に○をつけてください。

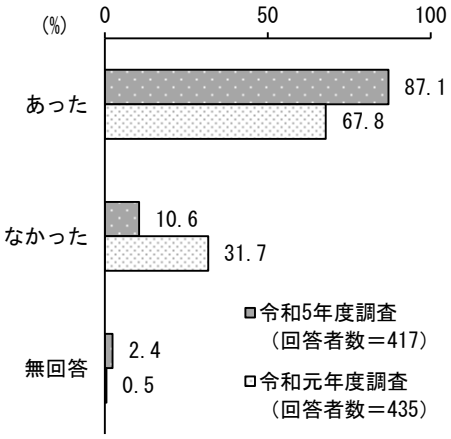
「多少解決しなければならない状況はあるが休める、早退できる」の割合が42.0%と最も高く、次いで「問題なく休める、早退できる」の割合が37.9%となっています。



問 34　この１年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。

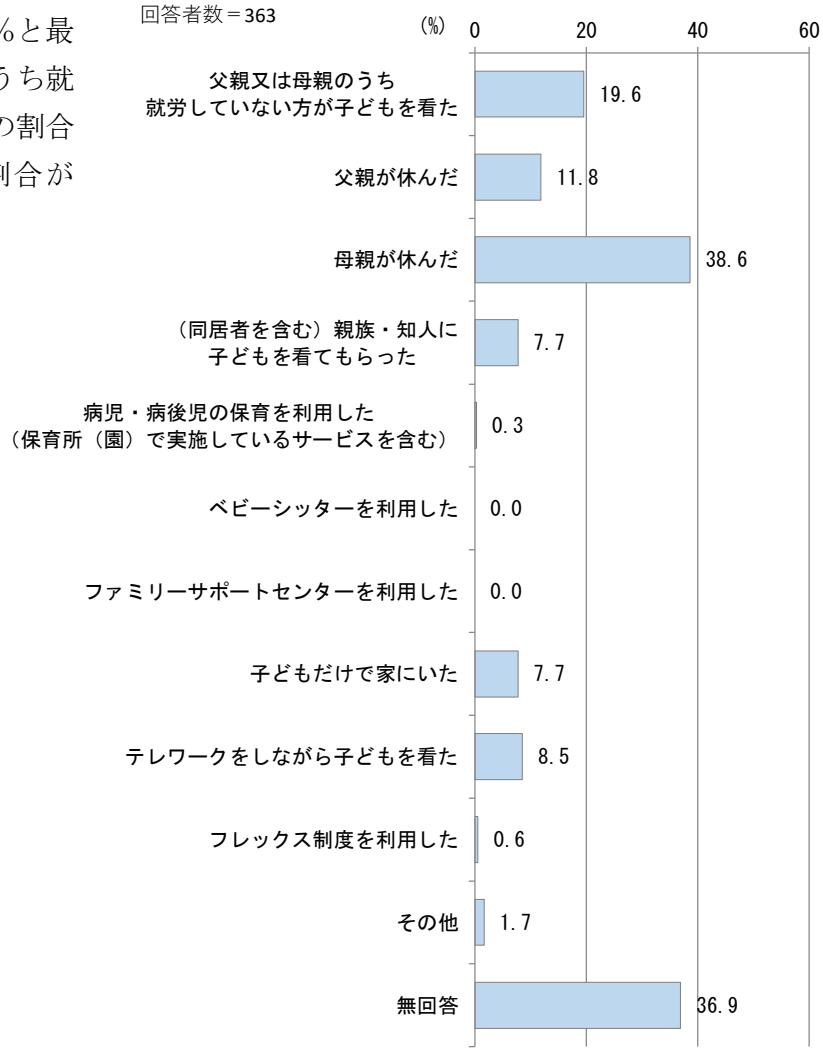
「あった」の割合が87.1%、「なかった」の割合が10.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「あった」の割合が 19.3%増加しています。一方、「なかった」の割合が 21.1%減少しています。



問34－１　お子さんが病気やけがで学校を休んだ場合に、この１年間に行った対応として当てはまる記号に〇をつけ、それぞれのおおよその日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。数字は一枠に一字。）（複数回答可）

「母親が休んだ」の割合が38.6%と最も高く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方がこどもをみた」の割合が19.6%、「父親が休んだ」の割合が11.8%となっています。



【１年間の対応日数】

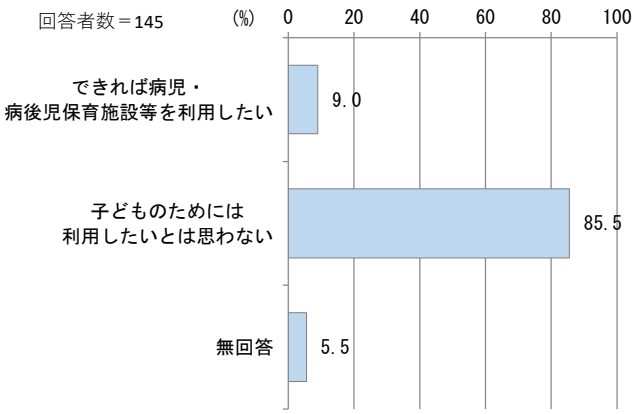
単位（%）

区分（回答者数＝363）	１日	２日	３日	４日	５日	６日～10日	11日～15日	16日～20日	21日以上	無回答
(ア)父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た	2.5	3.0	3.0	0.3	5.2	12.1	0.6	1.7	0.6	71.1
(イ)父親が休んだ	3.3	6.9	2.5	1.4	3.0	1.9	0.0	0.6	0.3	80.2
(ウ)母親が休んだ	6.3	11.6	10.2	2.5	11.6	13.2	1.4	2.5	1.1	39.7
(エ)（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった	2.2	3.3	2.8	0.3	3.0	1.1	0.6	0.0	0.0	86.8
(オ)病児・病後児の保育を利用した（保育所（園）で実施しているサービスを含む）	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	99.2
(カ)ベビーシッターを利用した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
(キ)ファミリーサポートセンターを利用した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
(ク)子どもだけで家にいた	4.1	2.8	1.9	0.6	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	89.0
(ケ)テレワークをしながら子どもを看た	2.5	2.2	2.8	0.3	3.0	1.7	0.3	0.8	0.0	86.5
(コ)フレックス制度を利用した	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	99.4
(サ)その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3	99.4

問 34－１で「イ」「ウ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問34－２　その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号に○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

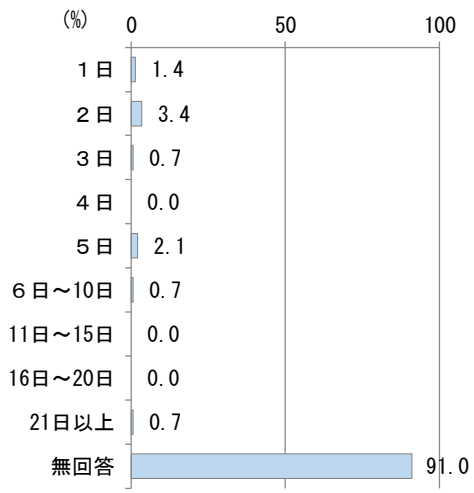
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が9.0%、「こどものためには利用したいとは思わない」の割合が85.5%となっています。



病児・病後児保育を利用したい日数

「２日」の割合が3.4％と最も高く、次いで「５日」の割合が2.1％となっています。

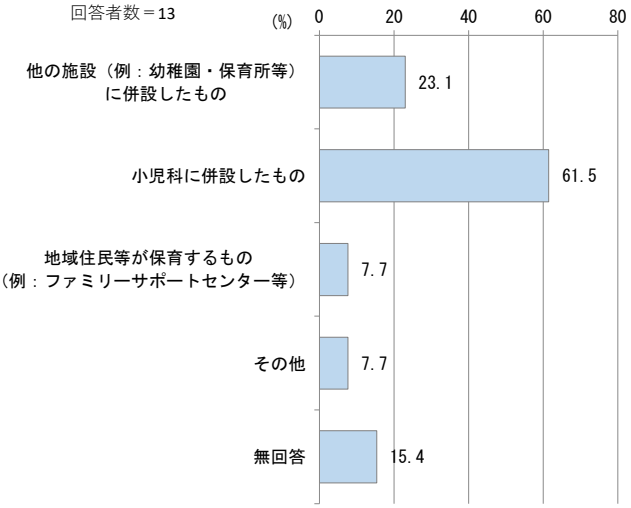
（回答者数＝145）



問34－３　問34－２で「１　できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的でこどもを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

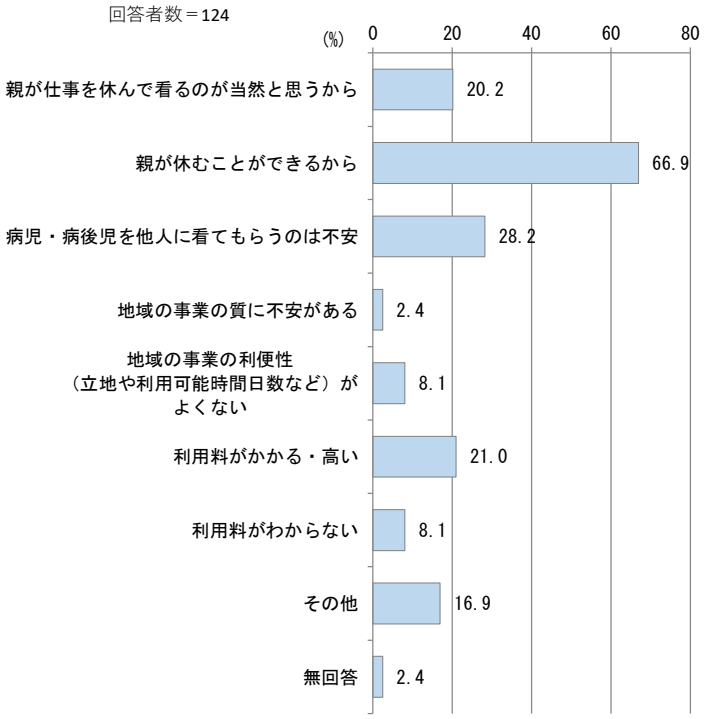
「小児科に併設したもの」の割合が61.5％と最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設したもの」の割合が23.1％、「地域住民等が保育するもの（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が7.7％となっています。

回答者数＝13



問34－４　問34－２で「こどものためには利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

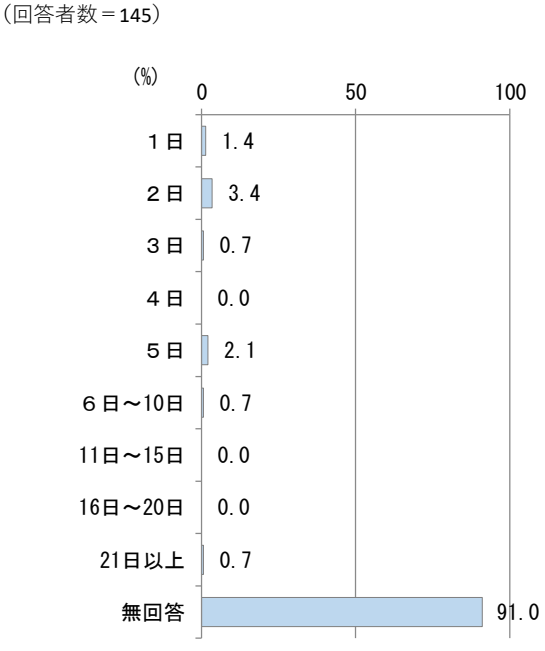
「親が休むことができるから」の割合が66.9%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が28.2%、「親が仕事を休んで看るのが当然と思うから」の割合が20.2%となっています。



問 34－１で「エ」から「サ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

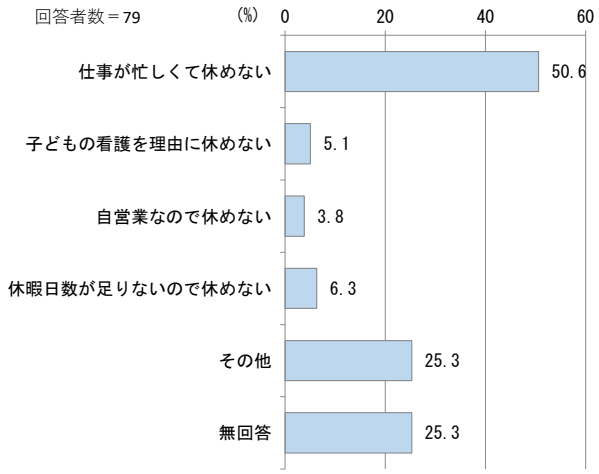
問34－５　その際、仕事が休めたら、何日仕事を休んで看たいと思われましたか。「エ」から「サ」の日数のうち仕事を休んで看たかったおおよその日数について数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「２日」の割合が3.4%と最も高く、次いで「５日」の割合が2.1%となっています。



問34－６　休んで看ることができなかった理由について当てはまる番号に〇をつけてください。（複数回答可）

「仕事が忙しくて休めない」の割合が50.6％と最も高く、次いで「その他」の割合が25.3％となっています。

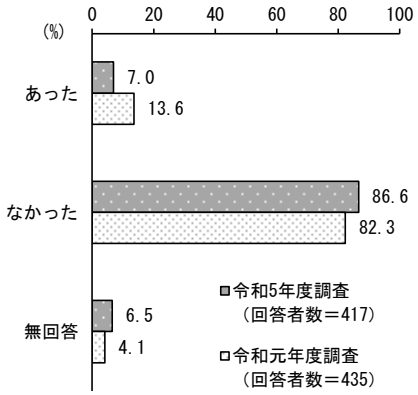


（６）宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 35　この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対応として当てはまる番号に○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）（複数回答可）。

「あった」の割合が7.0%、「なかった」の割合が86.6%となっています。

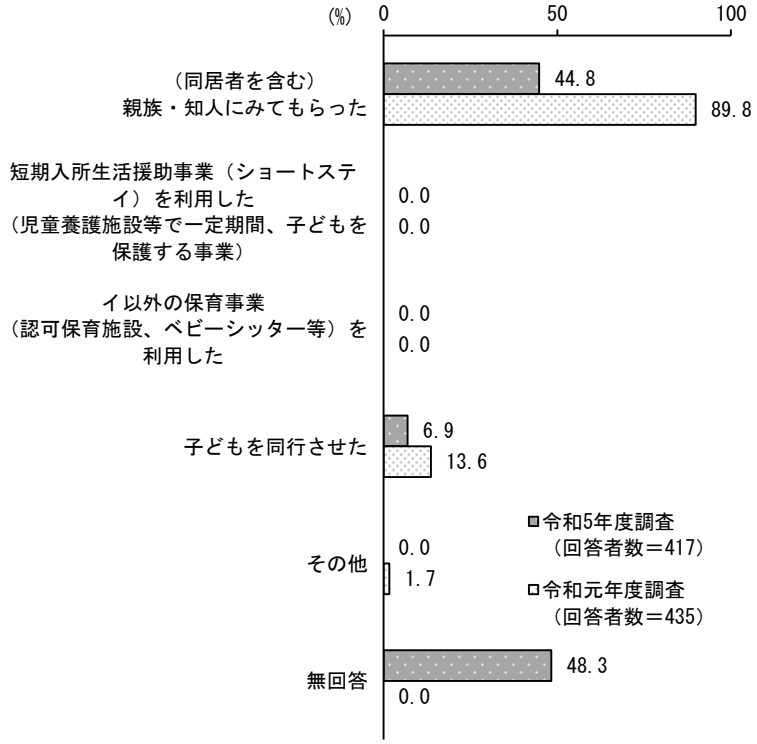
令和元年度調査と比較すると、「あった」の割合が 6.6%減少し、「なかった」の割合が 4.3%増加しています。



１　あった（内訳）

「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」の割合が44.8%と最も高く、次いで「こどもを同行させた」の割合が6.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」の割合が 45.0%減少しています。



【１年間の対応日数】

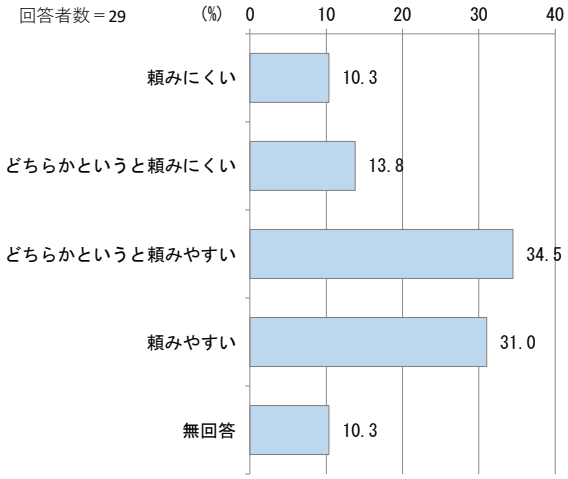
単位（%）

区分	回答者	１日	２日	３日	４日	５日	6日～10日	11日～15日	16日～20日	21日以上	無回答
㋐（同居人含む）親族・知人にみてもらった	13	30.8	23.1	0.0	7.7	7.7	23.1	0.0	0.0	7.7	0.0
㋑短期入所生活事業（ショートステイ）を利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
㋒「㋑」 以外の保育事業を利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
㋓仕方なく子どもたちを同行させた	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
㋔その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 35 で「１　あった　ア（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

問35－１　その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号に○をつけてください。

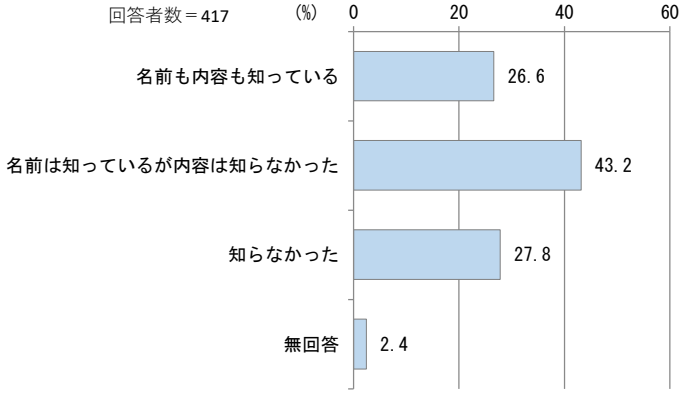
「どちらかというと頼みやすい」の割合が34.5%と最も高く、次いで「頼みやすい」の割合が31.0%となっています。



（７）こどもの権利等について

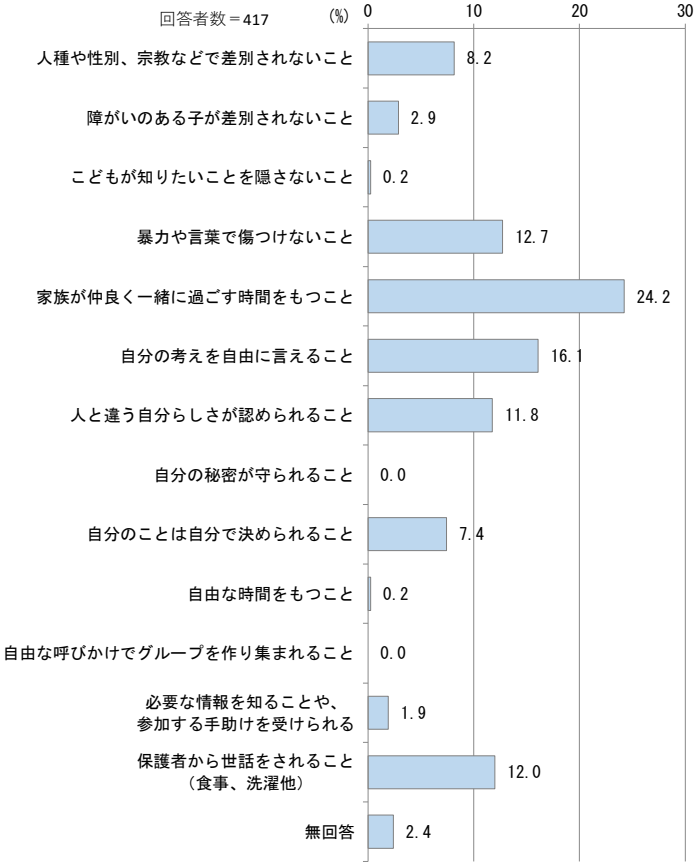
問 36　あなたは『こどもの権利』を知っていますすか。あてはまるものに○をつけてください。

「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が43.2%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が27.8%、「名前も内容も知っている」の割合が26.6%となっています。



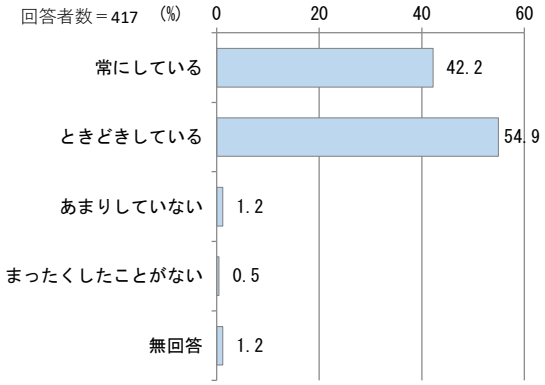
問 36-１　こどもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。あてはまるものに○をつけてください。

「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」の割合が24.2%と最も高く、次いで「自分の考えを自由に言えること」の割合が16.1%、「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が12.7%となっています。



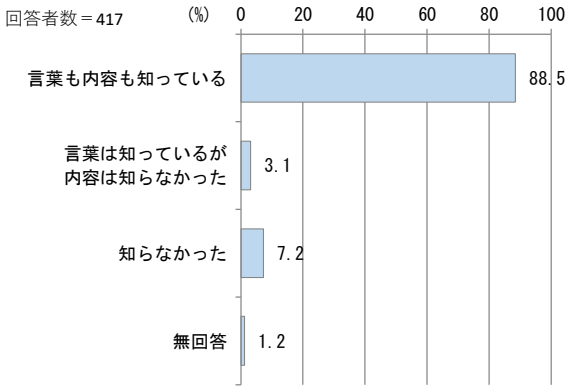
問 36-２　あなたは、子育てをしていて、こどもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識したことはありますか。あてはまるものに○をつけてください。

「ときどきしている」の割合が54.9%と最も高く、次いで「常にしている」の割合が42.2%、「あまりしていない」の割合が1.2%となっています。



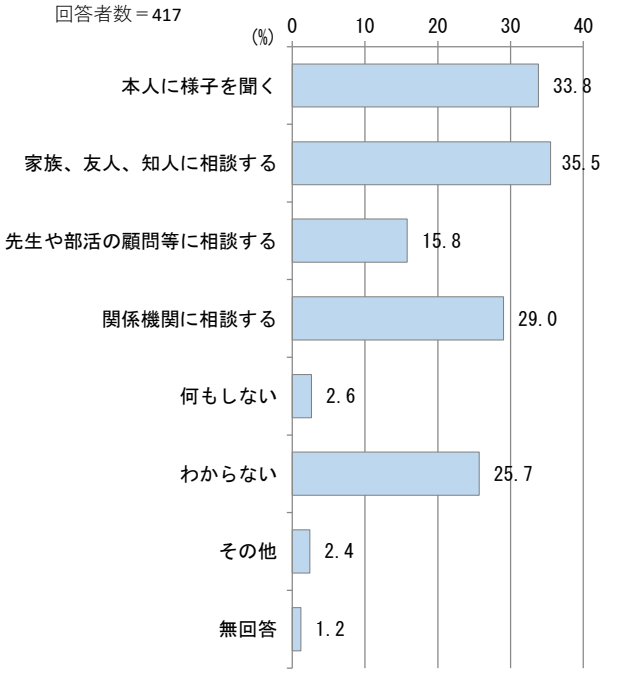
問 36-３　あなたは、ヤングケアラーという言葉を知っていますか。あてはまるものに○をつけてください。

「言葉も内容も知っている」の割合が88.5%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が7.2%、「言葉は知っているが内容は知らなかった」の割合が3.1%となっています。



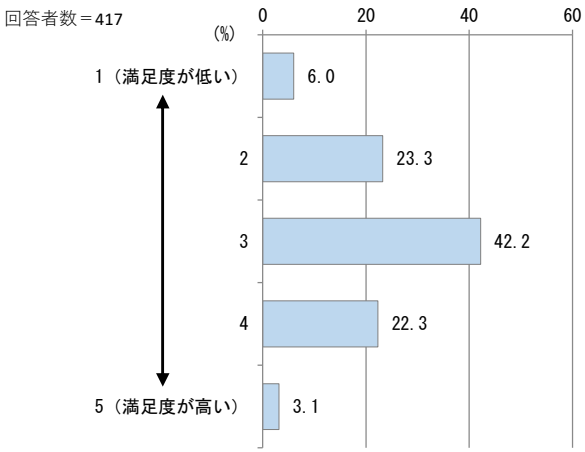
問 36-４　あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応しますか。あてはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

「家族、友人、知人に相談する」の割合が35.5%と最も高く、次いで「本人に様子を聞く」の割合が33.8%、「関係機関に相談する」の割合が29.0%となっています。



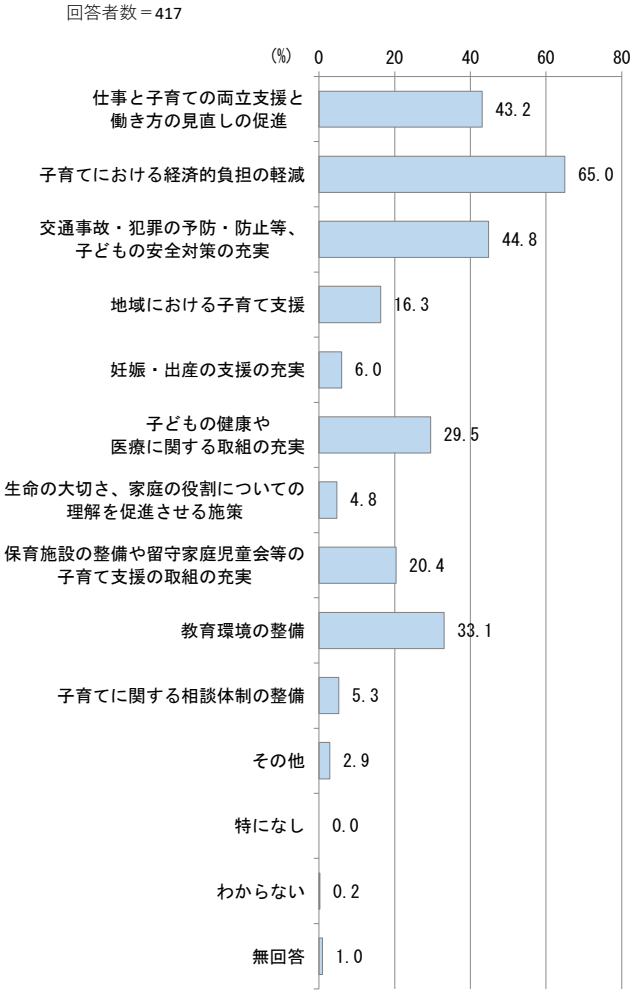
問 37　お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に○をつけてください。

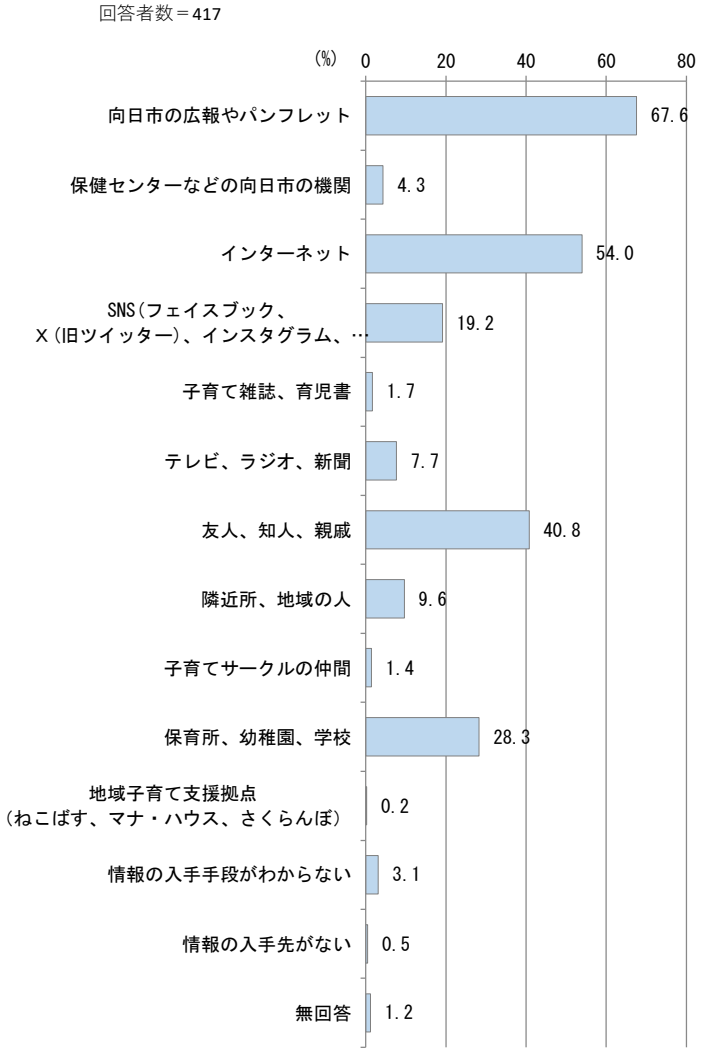
「３」の割合が42.2％と最も高く、次いで「２」の割合が23.3％、「４」の割合が22.3％となっています。



問 38　あなたにとって望ましい子育て支援施策は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。（３つまで）

「子育てにおける経済的負担の軽減」の割合が65.0％と最も高く、次いで「交通事故・犯罪の予防・防止等、こどもの安全対策の充実」の割合が44.8％、「仕事と子育ての両立支援と働き方の見直しの促進」の割合が43.2％となっています。



問 39　子育てに必要な施策などの情報をどのように入手されていますか。あてはまるものに○をつけてください。（３つまで）

「向日市の広報やパンフレット」の割合が67.6%と最も高く、次いで「インターネット」の割合が54.0%、「友人、知人、親戚」の割合が40.8%となっています。